男女ハートフル共生プラン
～茂原市男女共同参画計画（第３次）～

令和元年度事業評価報告書

茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会
茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会

目次

◆ はじめに　・・・１

◆ １．茂原市男女共同参画計画（第３次）推進体制　・・・１

◆ ２．茂原市男女共同参画計画（第３次）の評価の方法　・・・３

◆ ３．事業評価スケジュール　・・・４

◆ ４．茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会からの提言・要望　・・・５

◆ 令和元年度事業一覧　・・・６

◆ 事業評価シートNo.１～６０　・・・９

はじめに

今日、少子高齢化が過去に例を見ないほどのスピードで進展し、また、市民生活を取り巻く社会経済環境は目まぐるしく変化しています。労働形態や家族形態も様変わりし、個々のライフスタイル・価値観も多様化しています。このような中、性別にとらわれずお互いを尊重し合い、一人ひとりが職場・家庭・地域等において責任と喜びを分かち合う「男女共同参画社会」の実現は、わが国における最重要課題の一つとされています。

茂原市では、平成２８年３月に「男女ハートフル共生プラン～茂原市男女共同参画計画（第３次）～」を策定し、男女共同参画施策の推進に取り組んでおります。

計画の進行管理については、毎年度、事業の進ちょく状況について、担当課による１次評価（自己評価）、庁内組織である「茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会（以下、「推進委員会」という）」による２次評価及び市民で構成される「茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会（以下、「協議会」という）」による３次評価（外部評価）を実施しています。

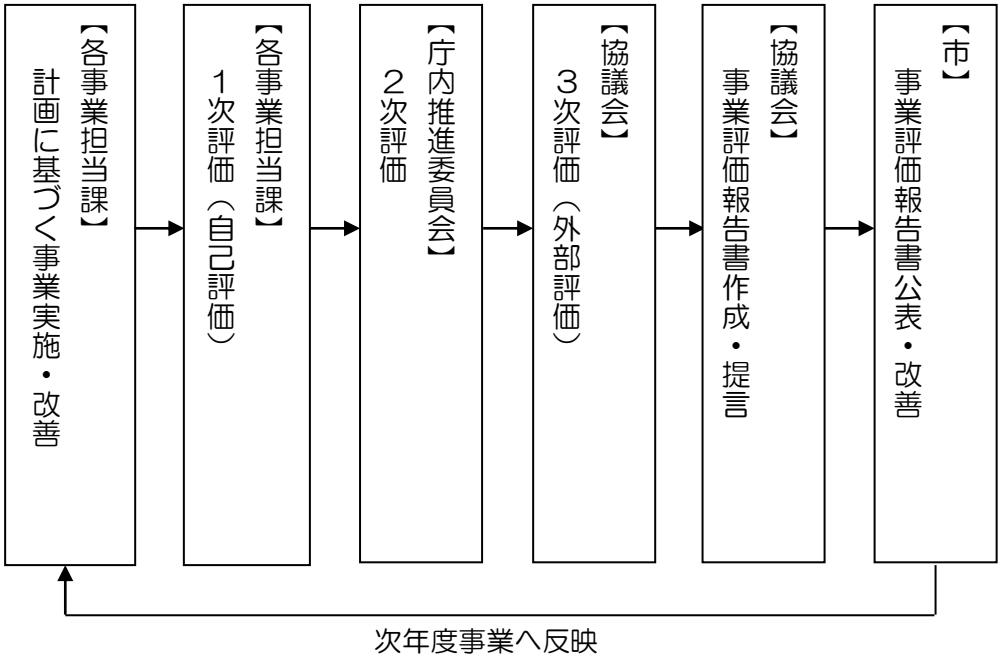
外部評価を行うことにより、評価の透明性が確保され、市民目線も取り入れた男女共同参画施策がさらに効果的に推進されることが期待できます。

令和元年度の事業評価にあたり、２次評価では全６０事業を、３次評価（外部評価）では６０事業のうちの２２の重点評価事業について、重点的に評価を行いました。

この「令和元年度　事業評価報告書」は、計画に掲げる施策を推進するため、プランに掲げた各事業の「実施結果及び次年度の取り組み」とともに推進委員会及び協議会が行った事業評価を一体的に掲載したものであり、各事業担当課において施策の見直しや方向性について協議・検討を行い、次年度以降の取り組みに反映できるようにすることを目指し提言するものです。

１．茂原市男女共同参画計画推進体制

◆　茂原市男女共同参画計画　推進体制連携図



◆「茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会」（庁内組織）１６名

茂原市男女共同参画計画（第３次）に基づく施策の進行管理と男女共同参画に関する意識啓発を行う、市役所内各部から男女１名ずつ選出された委員で構成される委員会

＜茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会委員＞

氏　名	所　属	役　職
鈴木　優友	総務部	委員
関野　優子		委員
岡澤　佑樹	企画財政部	委員
田村　理恵		委員
佐藤　啓一	市民部	委員
山本　恵理子		委員長
関　大輝	福祉部	委員
根本　亮子		委員
大多和　政勝	経済環境部	委員
山西　久美子		委員
松﨑　睦	都市建設部	委員
鶴岡　誉之		委員
石井　杏奈	教育部	委員
太田　智弘		委員
東間　典子	議会・農業委員会・選挙管理	委員
御園　健一	委員会・監査委員　事務局	副委員長

【任期１年：令和２年４月１日～令和３年３月 31 日】

◆「茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会」（外部組織）１０名

茂原市における男女共同参画社会の実現を目指し、男女共同参画の総合的推進を図る組織として市民で構成された協議会

＜茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員＞

氏　名	役　職	区　分
大塚　節子	会長	学識経験者
丸嶋　輝夫	副会長	一般公募
小久保　とも子	委員	市議会議員
内山　明治	委員	一般公募
及川　哲子	委員	一般公募
織本　厚子	委員	一般公募
白土　和子	委員	一般公募
永沼　洋子	委員	一般公募
丸岡　一人	委員	一般公募
森川　礼子	委員	関係諸団体の代表者

【任期２年：平成３１年４月１日～令和３年３月 31 日】

２．茂原市男女共同参画計画（第３次）の評価の方法

「茂原市男女共同参画計画（第３次）」では、男女共同参画を推進するため、市が取り組むべき事業として６０事業を掲げ、５０事業について指標（数値目標）を設けています。基本計画の進捗状況の評価にあたっては、事業担当課による１次評価（自己評価）、庁内組織の「男女共同参画社会づくり推進委員会」による２次評価を行い、続いて全事業のうちから抽出された重点評価事業について、外部組織である「茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会」が３次評価（外部評価）を行い、「令和元年度事業評価報告書」としてまとめました。

①評価の方法

評価者	判定区分
1 次評価（総合評価） 【各事業担当課】 茂原市男女共同参画計画（第３次）に掲げられた事業について、「事業評価シート」により 1 次評価（自己評価）を実施 ⇩ 2 次評価（総合評価） 【茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会】（市役所内組織） 全事業について、事業担当課から提出された「事業評価シート」により 2 次評価を実施 ⇩ 3次評価（総合評価・項目評価） 【茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会】（外部組織） 推進委員会の評価後、重点評価事業について、「事業評価シート」により3次評価を実施	【総合評価基準】 A：十分な成果を上げた （達成度８割以上） B：ある程度の成果を上げた （達成度４割～7 割） C：事業の見直しが必要 （達成度３割以下） 【項目評価基準】 4：十分達成している （90%以上） 3：概ね達成されている （70%以上） 2：達成が半ばであり改善を要する （50%以上） 1：不十分である （50%未満）
⇩ 事業評価報告書を作成し、市へ提出	

３．事業評価スケジュール

茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会

◆第１回（令和２年４月２７日開催）
- 委員長、副委員長の選出
- 茂原市における男女共同参画の取り組みについての研修
- 令和元年度事業評価

◆第２回（令和２年５月１日開催）
- 令和元年度事業評価

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会

◆第１回（令和２年６月２５日開催）
- 令和元年度事業評価

◆第２回（令和２年７月１４日開催）
- 令和元年度事業評価

４．茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会からの提言・要望

（１）事業評価結果と今後について

令和元年度は９月から 10 月にかけて台風･豪雨災害による甚大な被害を受けたことにより、行政、市民生活等に大きな影響がありました。その為に、計画されていた様々な事業が実行できませんでした。また、令和２年２月からは新型コロナウイルスの感染拡大により集会や講演会等も中止となり、達成できなかった事業もありました。年々増加している災害や感染症の影響も踏まえて事業の見直しが必要とされています。

令和元年度事業評価については、その結果を公表するとともに、各事業担当課において施策の見直しや方向性について協議・検討を行い、次年度以降の各課の事業実施に反映するようにお願いします。

令和３年度からの「男女共同参画計画（第４次）」実施に向けて、令和２年度は計画の検討及び策定をしています。これらの状況や社会情勢の変化を鑑み、計画の基本的な考え方や該当事業の見直しをして、第４次の計画に反映したいと考えます。

（２）茂原市におけるさらなる男女共同参画の推進について

少子高齢化が加速する中、社会の一員としての女性の役割は増えています。それに対応できるよう女性を育て、女性が意思決定過程に加わることができるような仕組みを作ることが早急に望まれています。

人口減少が進む中、性別にとらわれず誰もが活躍できる社会の実現が重要となっています。女性も男性も働きやすい社会環境、家庭環境を整えることで仕事や家庭、地域活動をも両立させることができます。また、男性も家事に参加する機会を増やせるような働き方に変わる仕組み、ワーク・ライフ・バランスを整えることで少子化を抑えることができます。

現在、コロナ禍の中、家庭内暴力（DV）や児童虐待等が増加し、貧困はより進み、社会問題となっています。様々な相談が子育て支援課に集中することも懸念されます。

これらすべての問題に対し、関係する課が連携してスムーズに対処できるよう、各課を繋ぐ役割をする「男女共同参画推進室」の設置をお願いします。

「男女共同参画社会」は生き方の基本です。真に理解することにより市民の意識も変わります。強力に推進していくことを要望します。

令和元年度事業一覧

評価指標
A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）
B:ある程度の成果を上げた（達成度4割～7割）
C:事業の見直しが必要（達成度3割以下）

事業No.	事業名	担当課	重点評価事業	基本目標	主要課題	施策の方向	1次評価	2次評価	3次評価
1	人権に関する教育および意識啓発の推進	生活課		Ⅰ　人権の尊重	Ⅰ－1　人権尊重意識の啓発	Ⅰ－1(1)人権を守るための社会づくり	A	A	
2	職場におけるセクハラ・パワハラ等防止の促進	企画政策課		Ⅰ　人権の尊重	Ⅰ－1　人権尊重意識の啓発	Ⅰ－1(1)人権を守るための社会づくり	B	B	
2	職場におけるセクハラ・パワハラ等防止の促進	商工観光課	○	Ⅰ　人権の尊重	Ⅰ－1　人権尊重意識の啓発	Ⅰ－1(1)人権を守るための社会づくり	C	B	B
3	人権を守るための職員研修の実施および職員の研修参加機会の確保	職員課		Ⅰ　人権の尊重	Ⅰ－1　人権尊重意識の啓発	Ⅰ－1(1)人権を守るための社会づくり	A	A	
4	市民相談・人権相談に対する適切な対応	生活課		Ⅰ　人権の尊重	Ⅰ－1　人権尊重意識の啓発	Ⅰ－1(2)相談体制の拡充	B	A	
5	児童生徒の悩みに対する相談体制の充実	学校教育課		Ⅰ　人権の尊重	Ⅰ－1　人権尊重意識の啓発	Ⅰ－1(2)相談体制の拡充	A	A	
6	男女共同参画に関する講演会や講座等の開催	企画政策課		Ⅰ　人権の尊重	Ⅰ－2　男女平等の意識づくり	Ⅰ－2(1)男女平等意識啓発の推進	A	A	
7	男女共同参画に関する意識啓発	企画政策課		Ⅰ　人権の尊重	Ⅰ－2　男女平等の意識づくり	Ⅰ－2(1)男女平等意識啓発の推進	A	A	
8	男女共同参画に関する市職員研修の実施	職員課		Ⅰ　人権の尊重	Ⅰ－2　男女平等の意識づくり	Ⅰ－2(1)男女平等意識啓発の推進	B	B	
9	男女共同参画の視点による表現ガイドラインの周知	企画政策課		Ⅰ　人権の尊重	Ⅰ－2　男女平等の意識づくり	Ⅰ－2(1)男女平等意識啓発の推進	B	B	
10	男女平等意識を育むための家庭教育学級の開催	生涯学習課		Ⅰ　人権の尊重	Ⅰ－2　男女平等の意識づくり	Ⅰ－2(2)地域・家庭・職場における男女平等意識啓発の推進	B	B	
11	地域活動における男女共同参画の促進	生活課	○	Ⅰ　人権の尊重	Ⅰ－2　男女平等の意識づくり	Ⅰ－2(2)地域・家庭・職場における男女平等意識啓発の推進	B	C	C
12	乳幼児・児童・生徒の発達段階に応じた人権尊重・男女平等に関する保育・教育の推進	子育て支援課		Ⅰ　人権の尊重	Ⅰ－3　男女平等の視点に立った教育・学習の推進	Ⅰ－3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進	A	A	
12	乳幼児・児童・生徒の発達段階に応じた人権尊重・男女平等に関する保育・教育の推進	学校教育課		Ⅰ　人権の尊重	Ⅰ－3　男女平等の視点に立った教育・学習の推進	Ⅰ－3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進	B	A	
13	教職員等に対する男女共同参画に関する研修の実施	子育て支援課		Ⅰ　人権の尊重	Ⅰ－3　男女平等の視点に立った教育・学習の推進	Ⅰ－3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進	A	B	
13	教職員等に対する男女共同参画に関する研修の実施	学校教育課		Ⅰ　人権の尊重	Ⅰ－3　男女平等の視点に立った教育・学習の推進	Ⅰ－3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進	B	A	
14	個性を生かした性別にとらわれない進路指導の推進	学校教育課		Ⅰ　人権の尊重	Ⅰ－3　男女平等の視点に立った教育・学習の推進	Ⅰ－3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進	B	A	
15	学校における国際理解教育の推進	学校教育課		Ⅰ　人権の尊重	Ⅰ－3　男女平等の視点に立った教育・学習の推進	Ⅰ－3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進	B	A	
16	DVに関する相談窓口等の充実と周知徹底	子育て支援課		Ⅱ　あらゆる暴力の根絶	Ⅱ－1　暴力の防止と被害者支援の充実	Ⅱ－1(1)DV、虐待防止啓発の推進	B	A	
16	DVに関する相談窓口等の充実と周知徹底	生活課		Ⅱ　あらゆる暴力の根絶	Ⅱ－1　暴力の防止と被害者支援の充実	Ⅱ－1(1)DV、虐待防止啓発の推進	B	A	
16	DVに関する相談窓口等の充実と周知徹底	企画政策課		Ⅱ　あらゆる暴力の根絶	Ⅱ－1　暴力の防止と被害者支援の充実	Ⅱ－1(1)DV、虐待防止啓発の推進	A	A	
17	相談員のDV等に関する相談技術の向上	子育て支援課		Ⅱ　あらゆる暴力の根絶	Ⅱ－1　暴力の防止と被害者支援の充実	Ⅱ－1(1)DV、虐待防止啓発の推進	B	A	
18	DV防止に関する意識啓発	子育て支援課		Ⅱ　あらゆる暴力の根絶	Ⅱ－1　暴力の防止と被害者支援の充実	Ⅱ－1(1)DV、虐待防止啓発の推進	B	A	

事業No.	事業名（具体的取り組み）	担当課	重点評価事業	基本目標	主要課題	施策の方向	1次評価	2次評価	3次評価
18	DV防止に関する意識啓発	企画政策課		Ⅱ　あらゆる暴力の根絶	Ⅱ－１　暴力の防止と被害者支援の充実	Ⅱ－１(1)DV、虐待防止啓発の推進	A	A	
19	障害者（児）の虐待防止	障害福祉課		Ⅱ　あらゆる暴力の根絶	Ⅱ－１　暴力の防止と被害者支援の充実	Ⅱ－１(1)DV、虐待防止啓発の推進	A	A	
20	DV対策について関係機関との連携の強化	子育て支援課		Ⅱ　あらゆる暴力の根絶	Ⅱ－１　暴力の防止と被害者支援の充実	Ⅱ－１(2)被害者に対する支援、相談の充実	B	B	
21	DV被害者のプライバシーに配慮した対応	国保年金課		Ⅱ　あらゆる暴力の根絶	Ⅱ－１　暴力の防止と被害者支援の充実	Ⅱ－１(2)被害者に対する支援、相談の充実	A	A	
22	DV被害者等における住民基本台帳等の閲覧等の制限	市民課		Ⅱ　あらゆる暴力の根絶	Ⅱ－１　暴力の防止と被害者支援の充実	Ⅱ－１(2)被害者に対する支援、相談の充実	A	A	
23	男女共同参画によるまちづくりの推進と審議会等委員への女性参画の拡大	企画政策課		Ⅲ　様々な分野における男女共同参画	Ⅲ－１　政策・方針決定過程における男女共同参画	Ⅲ－１(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	B	B	
24	広聴活動における女性の意見聴取機会の確保	秘書広報課		Ⅲ　様々な分野における男女共同参画	Ⅲ－１　政策・方針決定過程における男女共同参画	Ⅲ－１(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	A	A	
25	市女性職員の登用の推進	職員課		Ⅲ　様々な分野における男女共同参画	Ⅲ－１　政策・方針決定過程における男女共同参画	Ⅲ－１(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	B	B	
26	市女性職員の能力開発のための研修への参加機会の確保・拡大	職員課		Ⅲ　様々な分野における男女共同参画	Ⅲ－１　政策・方針決定過程における男女共同参画	Ⅲ－１(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	B	B	
27	男女雇用機会均等や育児・介護休業に係る法制度の周知と積極的取り組み（ポジティブ･アクション）の促進	商工観光課	○	Ⅲ　様々な分野における男女共同参画	Ⅲ－１　政策・方針決定過程における男女共同参画	Ⅲ－１(2)企業や団体における方針決定過程への男女共同参画の促進	C	B	C
28	就労を希望する女性の再チャレンジ支援	商工観光課		Ⅲ　様々な分野における男女共同参画	Ⅲ－１　政策・方針決定過程における男女共同参画	Ⅲ－１(2)企業や団体における方針決定過程への男女共同参画の促進	B	A	
29	国際的視野に立った男女共同参画の推進	企画政策課		Ⅲ　様々な分野における男女共同参画	Ⅲ－２　地域社会における男女共同参画	Ⅲ－２(1)地域における男女共同参画の促進	A	A	
30	環境保全における男女共同参画の促進	環境保全課		Ⅲ　様々な分野における男女共同参画	Ⅲ－２　地域社会における男女共同参画	Ⅲ－２(1)地域における男女共同参画の促進	A	A	
31	父親の子育てに関する学習機会の提供	生涯学習課	○	Ⅳ　ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ－１　家庭における男女共同参画	Ⅳ－１(1)家庭生活における男女共同参画の促進	B	B	B
32	妊娠期の健康管理・育児に関する学習機会の提供	健康管理課	○	Ⅳ　ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ－１　家庭における男女共同参画	Ⅳ－１(1)家庭生活における男女共同参画の促進	A	A	A
33	男性の家庭参画を促す講座等の実施	東部台文化会館	○	Ⅳ　ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ－１　家庭における男女共同参画	Ⅳ－１(1)家庭生活における男女共同参画の促進	A	A	B
34	乳幼児相談・検診事業の充実	健康管理課	○	Ⅳ　ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ－１　家庭における男女共同参画	Ⅳ－１(1)家庭生活における男女共同参画の促進	B	B	B
35	子ども・子育て支援事業計画 の推進	子育て支援課	○	Ⅳ　ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ－１　家庭における男女共同参画	Ⅳ－１(2)子育て支援の充実	A	A	A
36	子育て支援に関する情報提供	子育て支援課	○	Ⅳ　ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ－１　家庭における男女共同参画	Ⅳ－１(2)子育て支援の充実	A	A	A
37	子育てに関する相談業務の充実	子育て支援課	○	Ⅳ　ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ－１　家庭における男女共同参画	Ⅳ－１(2)子育て支援の充実	A	A	A
38	多様な働き方を支援するための保育サービスの拡充	子育て支援課	○	Ⅳ　ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ－１　家庭における男女共同参画	Ⅳ－１(2)子育て支援の充実	B	B	B
39	放課後等の子どもの居場所づくり	子育て支援課	○	Ⅳ　ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ－１　家庭における男女共同参画	Ⅳ－１(2)子育て支援の充実	A	B	B
39	放課後等の子どもの居場所づくり	生涯学習課	○	Ⅳ　ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ－１　家庭における男女共同参画	Ⅳ－１(2)子育て支援の充実	A	A	A
40	公立幼稚園・保育所における子育て支援と地域開放の充実	子育て支援課	○	Ⅳ　ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ－１　家庭における男女共同参画	Ⅳ－１(2)子育て支援の充実	A	A	B
40	公立幼稚園・保育所における子育て支援と地域開放の充実	学校教育課	○	Ⅳ　ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ－１　家庭における男女共同参画	Ⅳ－１(2)子育て支援の充実	B	B	B

事業No.	事業名（具体的取り組み）	担当課	重点評価事業	基本目標	主要課題	施策の方向	1次評価	2次評価	3次評価
41	高齢者の総合相談窓口の充実	高齢者支援課	○	Ⅳ　ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ－１　家庭における男女共同参画	Ⅳ－１(3)介護支援の充実	A	A	A
42	認知症高齢者と家族等への支援の充実	高齢者支援課	○	Ⅳ　ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ－１　家庭における男女共同参画	Ⅳ－１(3)介護支援の充実	B	B	B
43	市民へのワーク･ライフ･バランスの推進	企画政策課	○	Ⅳ　ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ－２　労働の場における男女共同参画	Ⅳ－２(1)ワーク・ライフ・バランス意識の浸透	C	C	C
44	事業所へのワーク･ライフ･バランスの推進	商工観光課	○	Ⅳ　ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ－２　労働の場における男女共同参画	Ⅳ－２(1)ワーク・ライフ・バランス意識の浸透	C	C	C
45	市職員へのワーク･ライフ･バランスの推進	職員課	○	Ⅳ　ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ－２　労働の場における男女共同参画	Ⅳ－２(1)ワーク・ライフ・バランス意識の浸透	B	B	B
46	農業における女性グループ活動の支援と女性起業の育成	農政課	○	Ⅳ　ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ－２　労働の場における男女共同参画	Ⅳ－２(4)農業・自営業等における男女共同参画の促進	C	C	C
47	農業における家族経営協定締結の促進	農政課	○	Ⅳ　ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ－２　労働の場における男女共同参画	Ⅳ－２(4)農業・自営業等における男女共同参画の促進	C	C	C
48	高齢者の自主活動への支援	高齢者支援課		Ⅴ　男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ－１　安心して活動できる環境の整備	Ⅴ－１(1)高齢者・障害者施策の充実	B	B	
49	障害者（児）の地域生活支援の充実	障害福祉課		Ⅴ　男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ－１　安心して活動できる環境の整備	Ⅴ－１(1)高齢者・障害者施策の充実	A	A	
50	障害者（児）の相談事業の充実および社会復帰の促進	障害福祉課		Ⅴ　男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ－１　安心して活動できる環境の整備	Ⅴ－１(1)高齢者・障害者施策の充実	A	A	
51	精神保健相談の実施および社会復帰の支援	健康管理課		Ⅴ　男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ－１　安心して活動できる環境の整備	Ⅴ－１(1)高齢者・障害者施策の充実	A	A	
52	男女共同参画の視点を取り入れた防災対策の充実	防災対策課		Ⅴ　男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ－１　安心して活動できる環境の整備	Ⅴ－１(2)防災・防犯における男女共同参画の促進	A	A	
53	自主防災組織の育成	防災対策課		Ⅴ　男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ－１　安心して活動できる環境の整備	Ⅴ－１(2)防災・防犯における男女共同参画の促進	B	B	
54	地域防犯体制の充実	生活課		Ⅴ　男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ－１　安心して活動できる環境の整備	Ⅴ－１(2)防災・防犯における男女共同参画の促進	A	A	
54	地域防犯体制の充実	学校教育課		Ⅴ　男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ－１　安心して活動できる環境の整備	Ⅴ－１(2)防災・防犯における男女共同参画の促進	B	A	
55	自らの健康を自ら管理する意識づくりについての啓発	健康管理課		Ⅴ　男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ－２　健やかに安心して暮らせる環境の整備	Ⅴ－２(1)生涯を通じた健康支援	B	B	
56	人生の各段階に応じた健康相談と家庭訪問の実施	健康管理課		Ⅴ　男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ－２　健やかに安心して暮らせる環境の整備	Ⅴ－２(1)生涯を通じた健康支援	A	A	
57	市民参加の健康づくりの推進	健康管理課		Ⅴ　男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ－２　健やかに安心して暮らせる環境の整備	Ⅴ－２(1)生涯を通じた健康支援	A	A	
58	スポーツを通じての健康増進	体育課		Ⅴ　男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ－２　健やかに安心して暮らせる環境の整備	Ⅴ－２(1)生涯を通じた健康支援	B	B	
59	勤労妊婦の母性健康管理対策の推進	健康管理課		Ⅴ　男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ－２　健やかに安心して暮らせる環境の整備	Ⅴ－２(2)安心して妊娠・出産できる環境づくり	A	A	
60	安心して妊娠・出産するための支援	健康管理課		Ⅴ　男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ－２　健やかに安心して暮らせる環境の整備	Ⅴ－２(2)安心して妊娠・出産できる環境づくり	A	A	

	1次評価	2次評価	3次評価
A 十分な成果を上げた （達成度8割以上）	33	42	6
B ある程度の成果を上げた （達成度4割～7割）	30	22	10
C 事業の見直しが必要 （達成度3割以下）	6	5	6

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	1	基本目標	Ⅰ　人権の尊重
事業名	人権に関する教育および意識啓発の推進	主要課題	Ⅰ－1　人権尊重意識の啓発
課係名	生活課	施策の方向	Ⅰ－1(1)人権を守るための社会づくり

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

子どもたちに思いやりやいたわりの大切さを伝えるため、引き続き、人権教室、人権紙芝居を実施し、人権尊重意識の教育や啓発に努める。中学生対象の人権教室を検討する。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

人権擁護委員による街頭啓発活動を行うとともに、小学校において人権教室を開催し、他人への思いやりやいたわりの大切さ等を伝える。また、小・中学生には人権に関する作品づくりを通じ豊かな人権感覚を身に付けてもらうとともに、児童生徒の作品展示を通して市民の人権尊重意識の啓発に努める。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①市内小学校における人権教室の実施
②小中学校への人権ポスター原画・人権作文の依頼
③夏期学童クラブへの人権「紙芝居」の実施
④市内中学校での人権教室の開催検討

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）

DO（実施）

R1年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①人権教室：VTRを視聴後、話合い形式による授業を実施 11/19（火）鶴枝小学校（参加：1年生26人）、9/24（火）萩原小学校（参加：1年生92人）、11/20(水）中の島小学校（参加：1年生53人） ②人権ポスター(小学校14校：178点参加、中学校1校：2点参加）・人権作文(中学校5校：268点応募） ③人権紙芝居：「ぼくのきもち、きみのきもち」他の実演 8/7東郷第2学童クラブ(参加38人）、8/9二宮学童クラブ（参加19人）、8/5夏期茂原学童クラブ(参加35人） ④中学校における人権教室実施10/30(水）早野中学校（参加：1年生69人）	7回	332人

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
0	0	0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A：十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B：ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C：事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 人権擁護委員が直接小学校・中学校及び学童クラブに出向き、子どもたちに啓発ビデオや紙芝居を通して、他者への思いやりやいたわり、生命の大切さを伝えることができた。

（課題・問題点） 中学校の人権教室を始めたが、今後、中学生に受入れやすい内容となるよう調査・研究する。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

子どもたちに思いやりやいたわりの大切さを伝えるため、引き続き、小・中学校の人権教室、人権紙芝居を実施し、人権尊重意識の教育や啓発に努める。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 計画通り実施されている。

（課題・問題点） 人権教室について、アンケート調査等を参考に、中学生に受け入れられやすい内容にするよう努められたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	2(企)	基本目標	Ⅰ　人権の尊重
事業名	職場におけるセクハラ・パワハラ等防止の促進	主要課題	Ⅰ－1　人権尊重意識の啓発
課係名	企画政策課	施策の方向	Ⅰ－1(1)人権を守るための社会づくり

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

セクハラ等ハラスメント防止に関する相談窓口について、引き続き周知を図る。茂原商工会議所及び市内事業所に対する働きかけについては、啓発パンフレットや講座・研修等のチラシ配布等、情報提供に努めるとともに、セミナー・講演会の開催について要請する。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

職場におけるセクハラ等防止について茂原商工会議所等の関係機関に要請するとともに、千葉労働局雇用環境・均等室や千葉県男女共同参画センター等の相談窓口について、情報提供を行う。また、市内事業所に対し、セクハラ等防止のための講座・研修等への参加を促進する。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①セクハラ等ハラスメント防止に関する相談窓口について、市公式ウェブサイトやチラシ配布を通じて広く周知する。
②セクハラ等ハラスメント防止に関する講座・研修等のチラシを広く配布する。
③茂原商工会議所に、市内事業所を対象としてセクハラ等ハラスメント防止に関するセミナーの開催を要請する。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
相談窓口についての情報提供　年1回以上			年1回以上	

DO（実施）

R1年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①セクハラ等ハラスメント防止に関する相談窓口について市公式ウェブサイトに掲載した内容を更新した。 ②国や県、他自治体や団体からのセクハラ等ハラスメント防止に関する講座・研修等のチラシについて随時配布し、周知協力した。 ③茂原商工会議所に、市内事業所を対象としてセクハラ等ハラスメント防止に関するセミナーの開催を要請した。令和2年1月21日(火)「快適な職場を保ち、経営力強化を目指す～ハラスメントの防止～」講師：加藤美香保氏（弁護士）	①1回 ②3回以上 ③1回	③12人（男7人、女5人）

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
相談窓口についての情報提供　年1回			年1回	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
0		0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 相談窓口についての情報提供は数値目標を達成している。茂原商工会議所主催のセミナーについて、セクハラ等ハラスメント防止をテーマに取り上げてもらうことができた。

（課題・問題点） 市内事業所に対し、直接セクハラ等防止のための講座・研修等への参加を促進することは難しい。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

昨年度の茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会からの提言に従い、セクハラ等ハラスメント防止に関する講座・研修等のチラシの配布数（設置したチラシの減少数）及び市公式ウェブサイトのアクセス数を数える。企業向けセミナーについては、引き続き商工観光課や商工会議所に開催を要請する。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 相談窓口についての情報提供について、計画通り実施されている。

（課題・問題点） 引き続き茂原市商工会議所と連携しセミナーを開催し、参加者数増加に努められたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	2(商)	基本目標	Ⅰ　人権の尊重
事業名	職場におけるセクハラ・パワハラ等防止の促進	主要課題	Ⅰ－1　人権尊重意識の啓発
課係名	商工観光課	施策の方向	Ⅰ－1(1)人権を守るための社会づくり

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

国・県等の施策に関する情報を、市公式ウェブサイト上でさらに充実させ効果的に発信する。また、積極的に取り組む企業名や、その取り組み等を公式HP上で発信する。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

職場におけるセクハラ等防止について茂原商工会議所等の関係機関に要請するとともに、千葉労働局雇用環境・均等室や千葉県男女共同参画センター等の相談窓口について情報提供を行う。また、市内事業所に対し、セクハラ等防止のための講座・研修等への参加を促進する。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　※箇条書きで具体的に記入

①国や県の関係機関と連携を図り、茂原商工会議所等の関係機関に対し、セクハラ・パワハラ等防止のためのパンフレット等を配布し、周知に努める。
②セクハラ・パワハラ等防止に関する情報提供のため、市公式ウェブサイトや広報誌を活用し、周知に努める。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
・各種セミナー・講習会等を活用した周知機会の創出　年3回以上			年5回	

DO（実施）

R1年度の実施結果　※箇条書きで具体的に記入　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①ハロワーク茂原と市が共催するセミナーにおいて、参加者に対し意識の啓発に努めた。 ②市公式ウェブサイトを体系的に整理し、施策等の情報発信に努めると共に、パンフレット等の配布やポスターの掲示により周知に努めた。	①4回	①200名（男112名・女88名）

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
・各種セミナー・講習会等を活用した周知機会の創出　年4回			年5回	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
0		0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☑ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）　国や県の施策の周知を市公式ウェブサイトにおいて、一元的に掲載した。

（課題・問題点）　事業所に対してより実効的な働きかけを検討する必要がある。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

国・県等の施策に関する情報を、市公式ウェブサイト上でさらに充実させ効果的に発信する。また、事業所に対し、効果的な情報発信を行う。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 周知機会の創出については、数値目標を達成している。

（課題・問題点） 事業所に対する周知について、より実効性のある方法を検討されたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	3
(d)適切な数値目標が提示されているか	3

【項目評価基準】

4…十分達成している	【90%以上】
3…概ね達成されている	【70%以上】
2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

・各種セミナー・講演会等を活用した周知機会の創出については、数値目標を達成している。
・ハローワーク茂原と市が共催するセミナーにおいて、一定の啓発が実施されているが、事業所に対してはできていない。

改善策等の提言

・国の施策等が市公式ウェブサイトからリンクされており効果が期待される一方で、ページの削除やアドレスが変更されている箇所があるため、確認し修正されたい。
・商工観光課と商工会議所と共催でセミナーの開催を検討してほしい。
・次年度の取り組みにある「積極的に取り組む企業名や、その取り組み等を公式HPで発信する」に関する計画、実施、目標が含まれていない。ぜひ取り込んでほしい。
・国や県の施策を発信は良いが、茂原市独自の施策もあってもよいのではないか。

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	3	基本目標	Ⅰ　人権の尊重
事業名	人権を守るための職員研修の実施および職員の研修参加機会の確保	主要課題	Ⅰ－1　人権尊重意識の啓発
課係名	職員課	施策の方向	Ⅰ－1(1)人権を守るための社会づくり

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

実情に合ったテーマを取り上げ、人権問題に対する職員の意識啓発を促進する。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

あらゆる人権問題について、職員の人権意識の高揚を図る研修を実施するとともに、関係機関で実施される研修への参加を促進する。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(1) 市職員を対象とした人権に関する研修の実施・参加　5回以上（年1回以上）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①人権問題に関する内容をテーマとして階層別職員研修を実施する。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(1) 市職員を対象とした人権に関する研修の実施・参加　年1回	(1)年1回	(1)年1回	(1)年1回	

DO（実施）

R1年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①全職員対象の特別研修 令和元年8月2日「ゲートキーパー（命の門番）養成講座」 講師：健康管理課職員 ②6級以上職員対象の管理職研修 令和2年1月30日「ハラスメント防止研修」 講師：(株)インソース　小川道弘氏 ③新規採用職員対象のフォローアップ研修 令和元年10月9日「メンタルヘルス研修～こころの健康を守るために～」 講師：健康管理課職員	年3回	①36人（男20人、女16人） ②52人（男43人、女9人） ③22人（男11人、女11人） 合計110人（男74人、女36人）

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(1) 市職員を対象とした人権に関する研修の実施・参加　年3回	(1)年2回	(1)年4回	(1)年3回	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
305		98	305

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 自殺予防につなげるゲートキーパー養成講座では、悩みを抱える市民や職場の同僚の相談にのる際の職員の対応方法を確認することができた。管理職が受講したハラスメント防止研修では、法改正からアンガーマネジメントまで幅広い研修内容であり、管理職と若年層の職員の思考の相違を知ることで、ハラスメントグレーゾーンへの理解を深めることができた。
（課題・問題点） 職場におけるハラスメント防止にあたり、管理職のみならず若年層の職員へ、ハラスメントと指導の違い等基本的な事項について理解を深める機会が必要である。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

幅広い世代の職員を対象に、職場の人権問題であるハラスメント防止、こころの健康に関する研修参加機会の確保をする。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 計画通り、階層別の職員研修が実施されている。

（課題・問題点） 実績に基づいた数値目標の設定に努められたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	4	基本目標	Ⅰ　人権の尊重
事業名	市民相談・人権相談に対する適切な対応	主要課題	Ⅰ－1　人権尊重意識の啓発
課係名	生活課	施策の方向	Ⅰ－1(2)相談体制の拡充

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

毎日実施している市民相談に加え、人権擁護委員による月2回の人権相談所の更なる周知・啓発に努める。
また、毎日実施している法務局の人権相談にもうまく繋げる。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

市民から寄せられる相談は、年々増加するとともにその内容も複雑多様化していることから、人権相談をはじめとする各種相談について、関係各課及び国・県とも連携を図りながら、より迅速かつ適切に相談内容の解決に向けた取り組みの強化に努める。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①地域住民に利用しやすい人権相談所の開設と周知。
②関係部署と連携し、相談窓口の充実を図る。
③相談員や担当職員の資質の向上のため研修等に積極的に参加し、相談業務の充実を図る。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）

DO（実施）

R1年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①人権相談所の開設(市役所12回、ほのおか館12回) ②広報への掲載(相談日案内12回、特設人権週間1回、女性の人権ホットライン1回) ③研修等の実施(茂原人権擁護委員協議会主催の定期総会（5月）、第1・2部会合同部会（6月）、全委員研修会（11月）、合同部会（2月） ④市民相談（平日毎日） ⑤人権週間のポスター掲示及びチラシの配布、女性の人権ホットライン等のポスターの掲示	24回	2件（法務局・人権ホットラインは不明）

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
1,180		1,180	1,179

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 人権擁護委員や担当職員が、積極的に会議や研修会に参加し、相談業務の充実に努めた。
また、相談窓口等の案内を定期的に広報・市公式ウェブサイトに掲載した。

（課題・問題点） 人権相談については、専門的な知識等が必要なため、スムーズに法務局の人権相談に結びつけるのが難しい。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

毎日実施している市民相談に加え、人権擁護委員による月2回の相談、毎日実施している法務局の人権相談、電話による人権相談等の周知に努める。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 研修への参加、相談窓口、周知等、計画通り実施されている。

（課題・問題点） 引き続き、研修等の積極的参加で相談員及び職員の資質向上に努められたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	5	基本目標	Ⅰ　人権の尊重
事業名	児童生徒の悩みに対する相談体制の充実	主要課題	Ⅰ－1　人権尊重意識の啓発
課係名	学校教育課	施策の方向	Ⅰ－1(2)相談体制の拡充

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

スクールカウンセラーについては、今年度相談件数がかなり増加する見込みである。各中学校の生徒の状況に応じた配置及び小学校における配置校の増を件に要望し、男女共同参画を踏まえた相談体制の充実を図る。心の教室相談員は、現状の相談体制で効果を上げているが、さらに相談員間の情報交換等により、対応の共通理解を図る等して、充実させていきたい。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

スクールカウンセラー(県事業)や心の教室相談員の配置により、学校内における児童・生徒の悩みに対する相談体制について、男女共同参画の視点に配慮しながら整備充実を図る。また、中学校は、学校の状況と要望をふまえながら、毎年連続して同性のカウンセラーとならないように努める。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(2) スクールカウンセラー配置校　10校
(3) 心の教室相談員配置校　4校

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①スクールカウンセラーの配置（全中学校7校、小学校4校(東郷・茂原・五郷・本納)）【県事業】
②心の教育相談員の配置（小学校4校(豊田・萩原・中の島・東部)）

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(2) スクールカウンセラー配置校　11校 (3) 心の教室相談員配置校　4校	(2) 中学2校 小学2校 (3) 小学4校	(2) 中学7校 小学3校 (3) 小学4校	(2) 中学7校 小学3校 (3) 小学4校	

DO（実施）

R1年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　無　）

内容	回数
①児童・生徒からの相談に対して傾聴し、一人一人の心に寄り添いながら個に応じた対応を心がけた。 ②相談体制の充実のために、在校日を児童生徒及び保護者に知らせ、相談活動の充実を図った。 ③小学校の未配置校において、相談の必要性が生じた場合は、中学校区で連携するとともに、サポート体制を強化した。	令和元年度相談回数 (1)4月～7月 小学校計　202件　319人 中学校計　484件　549人 小中合計　686件　868人 (2)8月～12月 小学校計　264件　360人 中学校計　509件　627人 小中合計　773件　987人

R1年度の数値成果	H28（参考）		H30（参考）	R2（参考）
(2)スクールカウンセラー配置校　11校 (3)心の教室相談員配置校　4校	(2) 小中学9校 (3) 小学4校	(2) 小中学10校 (3) 小学4校	(2) 小中学11校 (3) 小学4校	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
916		916	916

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）
・小学校における相談回数（4月～12月466件）
・中学校における相談回数（4月～12月993件）
・配置人数　前年と合計人数は変わらないが、児童生徒及び保護者のニーズにきちんと答えている。

（課題・問題点）　児童生徒の精神的なケアの観点から在校日を増やすことが必要である。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

・実際の相談回数から、児童生徒及び保護者のニーズは非常に高く、今後もその存在が児童生徒の心のよりどころとなることは確かであるため、未配置校の解消に向けて取り組む。
・心の教育相談員間での連携を図り、男女共同参画を踏まえた相談体制をさらに構築する。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 計画通り実施されている。

（課題・問題点） スクールカウンセラー、心の相談員の在校日を増やし、相談活動の充実を図られたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	6	基本目標	Ⅰ　人権の尊重
事業名	男女共同参画に関する講演会や講座等の開催	主要課題	Ⅰ－2　男女平等の意識づくり
課係名	企画政策課	施策の方向	Ⅰ－2(1)男女平等意識啓発の推進

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

男女共同参画に関する意識啓発のための講演会・講座等を開催するにあたり、幅広い年代、性別に参加してもらえるよう、親しみやすいテーマを設定する等工夫する。また、広報、自治会回覧、市公式ウェブサイト及びFacebook、公共施設でのチラシ配布等、幅広い周知を図る。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

男女共同参画に関する意識啓発、ワーク･ライフ･バランス（仕事と生活の調和）の推進等をテーマとした講演会や講座等を開催するとともに、県や関係各課との連携を図り、市民に対する意識啓発を図る。
講演会や講座の開催にあたっては、開催日時やテーマ・託児等に配慮し、幅広い年代の、より多くの方に参加していただけるよう努める。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(4) 講演会・講座等の開催回数　5回以上（年1回以上）
(5) 参加者数 500人以上（年100人以上）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　※箇条書きで具体的に記入

①茂原市ハートフルフェスタ実行委員会と協働し、男女共同参画に関する講演会・講座等を開催する。
②講演会・講座等の開催にあたり、幅広い年代に参加してもらうため、働く世代も参加しやすい土日の開催や、子育て世代への配慮として無料託児を実施する。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(4) 講演会・講座等の開催回数　年2回 (5) 参加者数 500人以上　年200人	(4)年2回 (5)年200人	(4)年2回 (5)年200人	(4)年2回 (5)年200人	

DO（実施）

R1年度の実施結果　※箇条書きで具体的に記入　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①ハートフルフェスタ実行委員会と協働し、男女共同参画に関する講演会・講座等を開催した。 (1)令和元年7月22日（月）演題「備えるべき防災対策とは？～自助・共助・公助～」 講師：水嶋達人（防災対策課 副主幹） (2)令和元年10月20日（日）演題「共助でつくる災害に強い地域づくり」講師：萩原なつ子氏（立教大学教授）無料託児実施 (3)令和2年1月18日（土）演題「現代に活かすブッダの知恵～『七不衰法』と人権」講師：千葉公慈氏（宝林寺住職） (4)令和2年1月27日（月）演題「茂原市の子育て施策について」講師：岡沢佳昭（子育て支援課　子育て家庭相談室長） (5)令和2年2月17日（月）演題「40年ぶりの民法(相続)大改正を知る」講師：二階堂高史氏（千葉県行政書士会 会員） ②講演会・講座等の開催にあたり、幅広い年代に参加してもらうため、働く世代も参加しやすい土日の開催や、子育て世代への配慮として無料託児を実施した。	①5回 ②土日開催2回、うち無料託児実施1回	①(1)15人（男5人、女10人）、(2)76人（男28人、女48人）、(3)195人（男69人、女126人）、(4)9人（男2人、女7人）、(5)71人（男35人、女36人）、 ②託児利用者3人（左記(2)講演会）

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(4) 講演会・講座等の開催回数　年5回 (5) 参加者数 年366人	(4)年2回 (5)年229人	(4)年4回 (5)年239人	(4)年4回 (5)年296人	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
83		83	83

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 防災、人権、子育て等、様々な分野における男女共同参画について学ぶことのできる機会を提供した。数値目標も達成している。
（課題・問題点） 参加者の多くが60歳以上の女性であるため、より若い世代や男性の参加が増えるよう、テーマや開催日時等の工夫が必要。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

男女共同参画について普段考えたことのない人にも興味を持ってもらい、初参加の人が増えるよう、身近で親しみやすいテーマから男女共同参画についてアプローチした講演会・講座を開催する。また、今年度同様、幅広い世代に参加してもらえるよう、働く世代へ配慮した土日の開催や、子育て世代へ配慮した無料託児を実施する。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 数値目標を達成している。

（課題・問題点） 実績に基づいた数値目標の設定に努められたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	7	基本目標	Ⅰ　人権の尊重
事業名	男女共同参画に関する意識啓発	主要課題	Ⅰ－2　男女平等の意識づくり
課係名	企画政策課	施策の方向	Ⅰ－2(1)男女平等意識啓発の推進

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

引き続き、国や県の作成する男女共同参画に関する意識啓発のための情報紙やパンフレットを広く配布するとともに、茂原市ハートフルフェスタ実行委員会の取り組む各種講座・講演会やコスモスサロンの開催について幅広い周知に努める。また、茂原市ハートフルフェスタ実行委員会と協働し、男女共同参画に関する意識啓発のためのパンフレットを作成する。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

男女共同参画に関する意識啓発のため、わかりやすく手にとっていただけるような情報紙やパンフレット等を作成し、あらゆる機会に配布するとともに、広報・市公式ウェブサイト等を活用して定期的な情報発信に努める。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(6) 意識啓発リーフレット等の作成・配布枚数　　目標：30,000部（年6,000部）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　※箇条書きで具体的に記入

①広報・市公式ウェブサイトやチラシ配布を通じて男女共同参画に関する情報発信を行う。
②茂原市ハートフルフェスタ実行委員会と協働し、DVに関する意識啓発リーフレットを作成し、広く配布する。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(6) 意識啓発リーフレット等の作成・配布枚数　年2回(年6,000部)	(6)年2回 (6,000部)	(6)年2回 (6,000部)	(6)年2回 (6,000部)	

DO（実施）

R1年度の実施結果　※箇条書きで具体的に記入　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①コスモスサロンのチラシ及び茂原市ハートフルフェスタのチラシに男女共同参画に関する啓発の情報を含めて記載し、自治会回覧及び公共施設への設置を行った。デートDVについての啓発チラシを県から取り寄せ、成人式で配布した。市公式ウェブサイトの男女共同参画に関するページについて内容を更新した。また、広報もばら11月1日号に「女性に対する暴力をなくす運動」期間（11/12～11/25）と相談窓口について、「女性の人権ホットライン」及び「児童虐待防止推進月間」と一緒に掲載した。（子育て支援課）広報もばら毎月1日号はDV相談（子育て家庭相談室及び長生健康福祉センター）等男女共同参画に関する相談窓口の情報を掲載した。（子育て支援課） ②茂原市ハートフルフェスタ実行委員会と協働し、DVに関する啓発パンフレットを作成した（A4カラー3つ折り）。市役所他公共施設に設置するとともに、講演会で配布した。	①6回 ②2回	

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(6) 意識啓発リーフレット等の作成・配布枚数　年5回(6,500部)	(6)年4回 (5,600部)	(6)年5回 (13,500部)	(6)年4回 (8,400部)	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
0		0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）　数値目標を達成している。

（課題・問題点）

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

今年度作成したDVに関する啓発パンフレットについては引き続き機会あるごとに配布する。昨年度茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会から提言のあった男女共同参画に関するパンフレット作成の予算については獲得できず、また、国や県等が作成しているパンフレットと内容が重複するため、市独自のパンフレットは作成しないが、引き続きコスモスサロンや茂原市ハートフルフェスタ等の市主催行事のチラシに男女共同参画に関する啓発の情報を含めるようにし、広く配布する。デートDVについての啓発チラシについても引き続き機会あるごとに配布する。市公式ウェブサイトの男女共同参画に関するページについても随時更新する。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 積極的に情報発信を行っている。

（課題・問題点） 引き続き、あらゆる機会での周知に努められたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	8	基本目標	Ⅰ　人権の尊重
事業名	男女共同参画に関する市職員研修の実施	主要課題	Ⅰ－2　男女平等の意識づくり
課係名	職員課	施策の方向	Ⅰ－2(1)男女平等意識啓発の推進

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

新規採用職員に対しては、引き続きフォローアップ研修時に茂原市における男女共同参画の取り組みについて理解する機会を設ける。他の研修の中においても「男女共同参画」についてペーパー等で意識啓発の機会を設けたい。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

階層別職員研修のテーマに取り入れて男女共同参画の意識の啓発と理解の充実を図る。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(7) 市職員対象の男女共同参画に関する研修の実施　5回以上（年1回以上）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

幅広い年齢層の職員に対して、男女共同参画の意識啓発を推進する研修を行う。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(7) 市職員対象の男女共同参画に関する研修の実施　年1回	(7)年1回	(7)年1回	(7)年1回	

DO（実施）

R1年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
6級以上職員対象の管理職研修 令和2年1月30日 「ハラスメント防止研修」 講師：(株)インソース　小川道弘氏 内容：セクシャル・ハラスメント マタニティ・ハラスメントとパタニティ・ハラスメント ケア・ハラスメント LGBT等性的少数者の多様性への認識について	年1回	52人（男43人、女9人）

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(7) 市職員対象の男女共同参画に関する研修の実施　年1回	(7)年1回	(7)年1回	(7)年1回	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
0		0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 男女共同参画社会の実現に向けて、管理職へのハラスメント防止研修において、セクシャルハラスメントをはじめとする性差による各種ハラスメントへの理解を深めた。また、マタニティ・ハラスメントの事例について、解決策を検討するケーススタディでは、参加者同士意見交換をした。

（課題・問題点） 講師の確保ができず、新規採用職員への男女共同参画の取り組みについての研修を実施することができなかった。また、チラシ配布については、研修の趣旨から離れることが多く、配付だけでは効果が期待できないと判断し実施しなかった。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

職員の研修については、職員の通常業務の妨げにならない頻度で効果が大きいものに絞って実施する必要がある。男女共同参画に関する研修については、時代のテーマに沿った内容で実施できるよう改善するため、当事業に固執せず他事業と統合して計画をする方がよいと考える。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 6級以上の職員対象の研修は実施できている。

（課題・問題点） 5級以下の職員対象の研修の実施にも努められたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	9	基本目標	Ⅰ　人権の尊重
事業名	男女共同参画の視点による表現ガイドラインの周知	主要課題	Ⅰ－2　男女平等の意識づくり
課係名	企画政策課	施策の方向	Ⅰ－2(1)男女平等意識啓発の推進

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

表現ガイドラインを改訂し、市職員に配布するとともに、新規採用職員研修等、職員向け研修のなかで説明の時間を取る。市公式ウェブサイトに掲載し、公表する。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

市の刊行物にとどまらず、すべての表現（文章・写真・イラスト等）において男女共同参画の視点による表現ガイドラインを遵守するよう、周知に努める。また、内容についても、適宜見直しを図る。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(8) 表現ガイドラインに関する研修の実施 5回以上（年1回以上）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①男女共同参画社会づくり推進委員会及び茂原市ハートフルフェスタ実行委員会と協働し、表現ガイドラインを改訂する。
②新規採用職員研修等、職員向け研修のなかで説明会を行う。
③市公式ウェブサイトに掲載し、公表する。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(8) 表現ガイドラインに関する研修の実施　年1回	(8)年1回	(8)年1回	(8)年1回	

DO（実施）

R1年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　有　・　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①男女共同参画社会づくり推進委員会と協働し、表現ガイドラインを改訂した。 ②職員向け研修は実施できていない。庁内メール及び庁内システム電子書庫で職員に共有した。 ③市公式ウェブサイトに掲載し、公表した。	①1回 ②0回 ③1回	

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(8) 表現ガイドラインに関する研修の実施　年0回	(8)年2回	(8)年2回	(8)年0回	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
0		0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 表現ガイドラインを改訂し、市公式ウェブサイトに掲載し、庁内メール及び庁内システム電子書庫で職員に共有した。

（課題・問題点） 職員向け研修は実施できていない。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

昨年度茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会から提案のあった広報もばらへの隔月掲載については、広報紙の文字制限等により実現が難しい。一般向けの研修会を茂原市ハートフルフェスタ実行委員会のコスモスサロンの取り組みの一環として開催することについては、茂原市ハートフルフェスタ実行委員会の中で検討してもらう。職員向け研修については新人研修の中でできるよう職員課に提案する。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 計画通り、表現ガイドラインを改訂した。

（課題・問題点） 職員向け研修の実施に努められたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	10	基本目標	Ⅰ　人権の尊重
事業名	男女平等意識を育むための家庭教育学級の開催	主要課題	Ⅰ－２　男女平等の意識づくり
課係名	生涯学習課	施策の方向	Ⅰ－2(2)地域・家庭・職場における男女平等意識啓発の推進

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

各家庭教育学級の更なる充実を図る。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

集団学習の場を通して、家庭教育に対する家庭や地域の関心を高めるため、3歳児・就学前児童・幼稚園・小学校の保護者等を対象に、講演会・講習会・研修視察を開催し、男女平等の意識高揚を図る。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(9) 家庭教育学級の開催　375回（年75回）
(10) 家庭教育学級の参加者　延べ14,000人以上(年2,800人以上)

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　※箇条書きで具体的に記入

・幼児期家庭教育学級の開催
・就学時子育て講座
・幼稚園・小学校家庭教育学級の開催

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(9) 家庭教育学級の開催　　年75回 (10) 家庭教育学級の参加者　年2,800人	(9)年75回 (10)年2,800人	(9)年75回 (10)年2,800人	(9)年75回 (10)年2,800人	

DO（実施）

R1年度の実施結果　※箇条書きで具体的に記入　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①　幼児期家庭教育学級 ②　就学時子育て講座 ③　幼稚園・小学校家庭教育学級	①5回 ②14回 ③52回	①74人 （男7人・女67人） ②609人 （男32人・女577人） ③1,813人 （男449人・ 女1,364人）

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(9) 家庭教育学級の開催　年71回 (10) 家庭教育学級の参加者　年2,496人	(9)年86回 (10)年3,327人	(9)年86回 (10)年3,090人	(9)年79回 (10)年3,044人	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
583		490	650

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）　台風や豪雨被害により実施回数や参加者が数値目標を下回ったが、概ね計画どおりに実施することができた。

（課題・問題点）　今後、学校再編が計画されており、実施回数や参加者数について新たな数値目標を設定する必要がある。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

各家庭教育学級の更なる充実に努める。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 数値目標を概ね達成している。

（課題・問題点） 実施内容が計画に馴染んでいないように思われるため、評価の対象から外しても良いと考える。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	11	基本目標	Ⅰ　人権の尊重
事業名	地域活動における男女共同参画の促進	主要課題	Ⅰ－２　男女平等の意識づくり
課係名	生活課	施策の方向	Ⅰ－2(2)地域・家庭・職場における男女平等意識啓発の推進

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

講演会や講座の開催により、引き続き、地域におけるまちづくりへの理解を深め、性別を問わず、より多くの市民が参加できるよう、意識の醸成に努めるとともに、意思決定過程における男女共同参画の促進に努める。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

自治会長連合会や社会福祉協議会と連携し、男女が共に地域活動に参画することの意義について理解を深めるようあらゆる機会を通じて意識啓発を図る。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

男女がともに自治会活動や地域でのボランティア活動に参加できるよう、さまざまな機会を捉えて地域活動における男女共同参画についての周知を図る

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）

DO（実施）

R1年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①自治会長連合会主催により、総務省地域情報化アドバイザーの高橋明子氏を講師に招き、「ICT活用による地域づくり講座」と題した講演会を開催した。 ②地域まちづくり協議会設立支援講座を開催し、地域まちづくり協議会の設立の機運の醸成を図ろうとしたが、台風災害により延期となり、再度企画したものの、感染症予防の観点から中止となった。	①1	①60人（男57人、女3人）

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
1,567		1,556	1,556

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 講演会や講座の開催により、地域におけるまちづくりへの理解を深め、性別を問わず、より多くの市民が参加できるよう、意識の醸成に努めた。

（課題・問題点） 以前に比べて、地域におけるまちづくりに男女がともに参加する機運は高まっているが、依然として主導的立場の女性が少なく、意思決定過程における男女共同参画が進んでいないのが実情である。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

講演会や講座の開催により、引き続き、地域におけるまちづくりへの理解を深め、性別を問わず、より多くの市民が参加できるよう、意識の醸成に努めるとともに、意思決定過程における男女共同参画の促進に努める。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☑ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 女性の参加者が少なく、また、講座の開催ができていない。

（課題・問題点） 地域活動に女性が参加できるような環境づくりに努められたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	2
(d)適切な数値目標が提示されているか	－

【項目評価基準】

4…十分達成している	【90%以上】
3…概ね達成されている	【70%以上】
2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☑ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

・講演会における女性の参加が少ない。
・計画内容が具体的でない。

改善策等の提言

・数値目標を立ててほしい。
・女性の参加が増えるよう、講座内容の検討が必要。
・地域活動に女性が参画できる環境づくりに努められたい。
・どうしたら女性が意思決定過程に積極的に加わることができるのか、講演会等の参加者にアンケートを実施してはどうか。

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	12（子）	基本目標	Ⅰ　人権の尊重
事業名	乳幼児・児童・生徒の発達段階に応じた人権尊重・男女平等に関する保育・教育の推進	主要課題	Ⅰ－3　男女平等の視点に立った教育・学習の推進
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅰ－3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

引き続き、日常の保育や行事において、保育士が男女平等の意識に立った保育に努める。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

（保育所・幼稚園）　乳幼児の保育や幼児教育において、男女平等の視点に配慮した保育及び教育を実施し、男女平等の意識を高める。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①性別による固定的な役割分担や、性格、服装、色使い等において必要以上に男女の区別をしないよう配慮する。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）

DO（実施）

R1年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
保育所では保育所保育指針（厚労省告示）に基づき保育を実施しており、指針中の「子どもの性差や個人差にも留意しつつ、性別等による固定的な意識を植え付けることがないようにすること。」を遵守して保育を実施している。		

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
0		0	0

CHECK（評価）

【1次評価】　担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）　男女平等の視点に配慮した保育を行っているが、定量的又は定性的に達成度を測り評価することは困難である。

（課題・問題点）　保育所での取り組みがあることを示すために計画に載せる必要はあると思うが、評価の対象からは外せないか。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

引き続き、日常の保育や行事において、保育士が男女平等の意識に立った保育に努める。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 計画通り実施されている。

（課題・問題点） 担当課に同じ。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	12（学）	基本目標	Ⅰ　人権の尊重
事業名	乳幼児・児童・生徒の発達段階に応じた人権尊重・男女平等に関する保育・教育の推進	主要課題	Ⅰ－3　男女平等の視点に立った教育・学習の推進
課係名	学校教育課	施策の方向	Ⅰ－3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

本年度と同様に、
①社会科の学習をとおして人権や男女平等について学ばせる。
②中学校技術・家庭科の保育所訪問をとおして、幼児の特性や接し方について学ばせる。
③思春期健康教室を開催し、児童生徒に命の大切さを学ばせる。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

（保育所・幼稚園）乳幼児の保育や幼児教育において、男女平等の視点に配慮した保育及び教育を実施し、男女平等の意識を高める。
（小中学校）児童・生徒の発達段階に応じ、社会科、技術・家庭科等の教科や道徳、特別活動および総合的な学習の時間での教育活動等を通じて、男女平等の意識を高める教育等を実施する。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　※箇条書きで具体的に記入

①幼児期においては、友達や教師との関わりの中で道徳性の芽生えが培われるように意図的に活動させたり援助したりする。
②小中学校においては、社会科、道徳科、特別活動等の学習を通して、男女平等の意識を高める教育等を実施する。
③思春期健康教室において、生命の大切さを学ばせる。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
①思春期健康教室の開催　年1回/校			①年1回	

DO（実施）

R1年度の実施結果　※箇条書きで具体的に記入　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①幼児教育において、男女の区別なく友達や教師と関わりながら活動する楽しさを味わわせ、信頼を持てるようにした。 ②社会科や道徳科において人権的な視点から学習を進めた。特別活動において男女の区別なく協力する活動を行った。 ③思春期健康教室を行った。	1回（各校）	小学校14校、中学校7校

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
①思春期健康教室の開催　1回（各校）			①年1回（各校）	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
0		0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

- ☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）
- ☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）
- ☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）
各幼稚園、各小中学校において、幼稚園教育要領や学習指導要領に基づいた指導計画を作成し、学習の中で男女平等の意識を高めることができた。
（課題・問題点）
男女共同参画の視点のみで、授業展開することや、数値で評価するのは難しい。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

①各幼稚園、各小中学校においては、男女平等を含む人権教育について、各教科等の中で指導していく。
②思春期健康教室の開催。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 数値目標を達成している。

（課題・問題点） 担当課に同じ。評価の対象から外しても良いと考える。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	13（子）	基本目標	Ⅰ　人権の尊重
事業名	教職員等に対する男女共同参画に関する研修の実施	主要課題	Ⅰ－3　男女平等の視点に立った教育・学習の推進
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅰ－3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

引き続き、男女共同参画の視点に立った研修に積極的に参加させるよう努める。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

（保育所・幼稚園）保育所・幼稚園に勤務する職員に対して、男女平等教育に関する内容を盛り込んだ研修を実施する。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(11) 保育所職員を対象とした男女共同参画に関する研修の実施・参加　5回以上（年1回以上）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　※箇条書きで具体的に記入

男女共同参画の視点に立った研修に保育士を積極的に参加させるよう努める。
（年1回、各保育所1人）

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(11) 保育所職員を対象とした男女共同参画に関する研修の実施・参加　年1回	(11)年1回	(11)年1回	(11)年1回	

DO（実施）

R1年度の実施結果　※箇条書きで具体的に記入　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①初級職員研修「男女共同参画について」に保育士6人が参加した。 ②研修内容について回覧等により保育所内で共有を図った。	①1回	①6人（男1人、女5人）

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(11) 保育所職員を対象とした男女共同参画に関する研修の実施・参加　年1回	(11)年2回	(11)年1回	(11)年1回	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
0		0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）　目標に掲げた回数、研修へ参加させることができた。

（課題・問題点）　待機児童解消のため、定員の限度近くまで園児を預かっており、保育士を保育から外して研修へ参加させることが難しいが、所長・主任保育士が代替に入ることでフォローしている。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

本事業については「男女共同参画に関する市職員研修の実施」と統合できないか。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 各保育所から1人研修に参加するという計画は、達成できていない。

（課題・問題点） 初級以外の職員も研修に参加するよう努められたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	13（学）	基本目標	Ⅰ　人権の尊重
事業名	教職員等に対する男女共同参画に関する研修の実施	主要課題	Ⅰ－3　男女平等の視点に立った教育・学習の推進
課係名	学校教育課	施策の方向	Ⅰ－3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

・市教育研究協議会の各部研修会の充実を図っていく。
・男女共同参画という視点で各種研修会の内容を見直す必要がある。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

（保育所・幼稚園）保育所・幼稚園に勤務する職員に対して、男女平等教育に関する内容を盛り込んだ研修を実施する。
（小中学校）児童・生徒一人ひとりの個性を尊重し、固定的な性別役割分担意識を植え付けることのないよう、男女共同参画に関する教職員の研修を実施するとともに、関係機関で実施される研修への参加を促進する。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(12) 教職員等を対象とした男女共同参画に関する研修の実施・参加　15回以上（年3回以上）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　※箇条書きで具体的に記入

①市教育研究協議会、若年層教員育成研修、初任者研修（地域の特色ある研修）に参加し、男女平等教育を推進する。
②学校人権教育研究協議会に参加し、研修で得た成果を幼稚園、小・中学校に普及する。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(12) 教職員等を対象とした男女共同参画に関する研修の実施・参加　年3回	(12)年3回	(12)年3回	(12)年3回	

DO（実施）

R1年度の実施結果　※箇条書きで具体的に記入　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①市教育研究協議会、若年層教員育成研修を実施し、男女平等教育の意識向上を図った。 ②学校人権教地区別協議会にて研修を受けた。	①市教研各部研修3回、若年層教員育成研修3回 ②県主催の研修会各幼小中	①市教育研究協議会年間3回実施　17部会、若年層教員育成研修　年3回実施 ②24名

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(12) 教職員等を対象とした男女共同参画に関する研修の実施・参加　年1回	(12)年3回	(12)年3回	(12)年3回	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
0		0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）　幼小中の管理職が研修を受けることで、組織的な意識の高まりが期待できる。学校1名が受けた研修を校内で啓発することで、研修が生かされる。

（課題・問題点）　教職員の働き方改革の面から、市として新規に研修を設けるのは難しい。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

県等からの情報の発信や道徳科の研修を行い、教職員の男女共同参画意識を高める。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 計画通り実施されている。

（課題・問題点） 引き続き、研修の積極的参加に努められたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	14	基本目標	Ⅰ　人権の尊重
事業名	個性を生かした性別にとらわれない進路指導の推進	主要課題	Ⅰ－３　男女平等の視点に立った教育・学習の推進
課係名	学校教育課	施策の方向	Ⅰ－3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

職場見学や職場体験では、グループの構成に留意し、男女がお互いを認め協力する活動となるように計画的に進める。思春期教室は、実施拡大と発達段階に応じた内容の検討を図る。租税教室も行っている学校があり、キャリア教育に位置付けていきたい。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

学校教育全体を通じて、人権の尊重、男女の平等、相互理解・協力についての指導の充実を図るとともに、教科書等の教材においても適切な配慮がなされるよう留意する。また、自立の意識を育む教育、一人ひとりの個性や能力を尊重し、園児・児童生徒が主体的に学び、考え、行動する姿勢を育む教育を推進する。中学校においては、固定的な性別役割分担意識にとらわれずに、主体的に進路を選択できるような進路指導に努める。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　※箇条書きで具体的に記入

①小学校においては職場見学、中学校においては職場体験学習を中心にキャリア教育を行う。
②稲作体験や野菜作り、鯛ちょうちんや絵馬、野鳥観察等の体験活動を全小学校で充実させる。
③思春期の男女の発達についての理解の講話（思春期健康教室等）を行う。
④宿泊学習による体験活動を全中学校で行う。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）

DO（実施）

R1年度の実施結果　※箇条書きで具体的に記入　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数等
①小学校における職場見学では、予め質問事項を考えるなど計画的に行っていた。また、それ以外の学校では職場を訪ねるのではなく、企業の方をゲストチーチャーとしてお招きして学習するなどの形態で行っている。 ②中学校にける職場体験学習では、興味・関心のある職場において、多種多様の経験をさせてもらっている中で、男女がそれぞれの役割を自覚し、責任ある仕事をしている様子などから、男女共同参画の意識も高まっている。 ③各小学校において、講師を招き多種の体験験活動を行っている。 ④男女の相互理解に向けた思春期健康教室を実施している。指導する学年も学習のねらいによって分かれている。	①小学校職場見学 ②中学校職場体験学習 ③小学校体験活動 ④思春期健康教室	①7校334人 ②6校545人 ③12校実施（稲作、野菜作りなど） ④小学校11校実施、中学校6校実施

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
4,202		4,202	3,943

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 実施校数、参加者数から、引き続き各学校で年間指導計画に位置付け取り組んでいることが分かる。

（課題・問題点） 指導者側により工夫・改善があると、児童生徒の興味・関心が大きく向上する。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

・職場見学や職場体験学習では、キャリア教育充実の観点から、実施形態を工夫するなどし、より児童生徒が目標を持って取り組めるようにする。
・外部講師をお勤めいただく地元の方々へより積極的に働きかけ、体験活動を充実させる。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 計画通り実施されている。

（課題・問題点） 数値での評価が難しいため、評価の対象から外しても良いと考える。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	15	基本目標	Ⅰ　人権の尊重
事業名	学校における国際理解教育の推進	主要課題	Ⅰ－３　男女平等の視点に立った教育・学習の推進
課係名	学校教育課	施策の方向	Ⅰ－3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

・海外派遣については、今年度同様、中学生28人・教員3人で10日間の研修実施を継続する。
・外国語研修については、小学校は今年度同様の内容で実施する。加えて、中学校教諭を対象に夏季休業中にオールイングリッシュの研修を1日行う予定である。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

男女ともに学生のうちから国際理解教育を受け、姉妹都市ソルズベリー市をはじめとする各国との交流を通じ、今後世界に羽ばたける人材を育成する。また、学校において多様な言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーション能力の向上を図る。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(13) 中学生海外派遣参加者数　155人（年31人）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①海外派遣事業において、出発前研修や派遣後の報告書作成を行い、日豪の互いの文化や習慣に関する理解を深める。
②小学校の外国語活動、外国語科についての研修を行う。
③中学校の英語科の研修を行う。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(13) 中学生海外派遣参加者数　31人（中学生28人、教員3人）	(13)年31人	(13)年31人	(13)年31人	

DO（実施）

R1年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①中学生27名の参加があった。前年同様、事前研修を1回増やし、準備の充実を図った。 ②教職員向けに小学校の外国語活動、外国語学科についての研修を実施した。 ③教職員向けに中学校の英語科の研修を実施した。	①6回 ②2回 ③1回	①27名（男7名・女20名） ②63名（男27名・女36名） ③9名（男3名・女6名）

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(13) 中学生海外派遣参加者数　27人	(13)年31人	(13)年30人	(13)年31人	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
52,750		3,700	3,700

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 海外派遣には中学生27人（男子7人・女子20人）が参加し、10日間の研修で姉妹都市であるソルズベリー市の学校等での研修をとおし、国際理解の視点を広げることができた。各中学校では、文化祭等での学校行事で研修参加者が報告会を行うなど、研修の成果を広める取り組みも実施された。

（課題・問題点） 外国語に関する研修では、小学校では充実した研修を実施することができた。今後は中学校での研修充実を図る必要がある。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

・海外派遣については、今年度同様、中学生28人教員3人で10日間の研修実施を継続する。
・外国語研修については、小学校は今年度同様の内容で実施する。加えて、中学校教諭を対象に夏季休業中にオールイングリッシュの研修を1日行う予定である。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 計画通り実施されている。

（課題・問題点） 広く関心を持ってもらえるよう、参加者募集時に周知の方法を工夫されたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	16（子）	基本目標	Ⅱ　あらゆる暴力の根絶
事業名	DVに関する相談窓口等の充実と周知徹底	主要課題	Ⅱ－1　暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅱ－1(1)DV、虐待防止啓発の推進

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

①DV相談窓口に関する広報もばらへの掲載
②公共施設の女子トイレにDV相談ステッカーを設置
③DV相談カードの配布

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

国・県等の関係機関、庁内の関係各課との連携により、被害者の保護や情報収集に努める。また、家庭児童相談員を配置し、相談窓口の充実を図るとともに、広報もばらや市公式ウェブサイト、パンフレット、ポスター、啓発物資の配布等により周知を図る。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(14) 相談窓口の周知・啓発回数　5回以上（年1回以上）
(15) DVカード配布枚数　2,500枚（年500枚以上）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①庁内におけるDV支援の連携・強化を図るため、関係課による会議を開催する。
②広報もばら、市公式ウェブサイトの掲載やポスターの掲示、パンフレット、啓発物資の配布等により周知を図る。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(14) 相談窓口の周知・啓発回数　12回 (15) DVカード配布枚数　500枚	(14)年1回 (15)年500枚	(14)年1回 (15)年500枚	(14)年12回 (15)年500枚	

DO（実施）

R1年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①DV相談窓口に関する広報もばらへの掲載（毎月掲載） ②公共施設の女子トイレにDV相談ステッカーを設置（市庁舎、本納支所等、計16か所の公共施設に設置） ③DV相談カードの配布（子育て支援課、本納支所、保健センター窓口に配布 ④DV防止に関する記事を市公式ウェブサイトに随時掲載 ⑤11月の「女性に対する暴力をなくす運動」推進月間時に周知用のチラシを各自治会に回覧	①12回	

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(14) 相談窓口の周知・啓発回数　成果：年12回 (15) DVカード配布枚数　成果：年500枚	(14)年1回 (15)年600枚	(14)年1回 (15)年500枚	(14)年12回 (15)年500枚	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
0		0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 概ね計画どおりに実行できた。

（課題・問題点） 相談体制の充実に向けた専門的知識を持った人員の配置。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

①DV相談窓口に関する広報もばらへの掲載
②公共施設の男女トイレにDV相談ステッカーを設置
③DV相談カードの配布

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 周知活動について、計画通り実施されている。

（課題・問題点） 家庭児童相談員の実績を明記されたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	16（生）	基本目標	Ⅱ　あらゆる暴力の根絶
事業名	DVに関する相談窓口等の充実と周知徹底	主要課題	Ⅱ－1　暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	生活課	施策の方向	Ⅱ－1(1)DV、虐待防止啓発の推進

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

関係各課と連携し、情報の共有を図ることで、適切な相談窓口に案内する等、相談業務の充実に努める。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

国・県等の関係機関、庁内の関係各課との連携により、被害者の保護や情報収集に努める。また、家庭児童相談員を配置し、相談窓口の充実を図るとともに、広報もばらや市公式ウェブサイト、パンフレット、ポスター、啓発物資の配布等により周知を図る。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(14) 相談窓口の周知・啓発回数　5回以上（年1回以上）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

関係部署と連携し、情報の共有を図り、適切な相談窓口を案内する。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(14) 相談窓口の周知・啓発回数　5回以上（年1回以上）	(14) 年5回以上	(14) 年5回以上	(14) 年1回以上	

DO（実施）

R1年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①市民相談において、DV・虐待等の相談があった場合、関係部署と連携し、適切に対応した。 ②啓発ポスターやチラシを活用し、意識啓発の推進を図った。		

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(14) 相談窓口の周知・啓発回数　年12回	(14) 年12回	(14) 年12回	(14) 年12回	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
0	0	0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 市民相談において、DV等の相談があった場合には、担当窓口にスムーズにつなげられるよう連携に努めている。

（課題・問題点） 関係部署と連携し、情報の共有を図るため、今後も庁内会議等により、情報交換が必要である。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

関係各課と連携し、情報の共有を図ることで、適切な相談窓口に案内する等、相談業務の充実に努める。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 相談窓口の周知・啓発を積極的に行っている。

（課題・問題点） 周知について、担当課をまとめられないか。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	16（企）	基本目標	Ⅱ　あらゆる暴力の根絶
事業名	DVに関する相談窓口等の充実と周知徹底	主要課題	Ⅱ－1　暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	企画政策課	施策の方向	Ⅱ－1(1)DV、虐待防止啓発の推進

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

引き続き、国・県等の関係機関や関係各課が開催する研修へ積極的に参加し情報収集に努めるとともに、国・県等の関係機関や庁内の関係各課との連携を図りながら、相談体制の整備及び相談窓口の周知に努める。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

国・県等の関係機関、庁内の関係各課との連携により、被害者の保護や情報収集に努める。また、家庭児童相談員を配置し、相談窓口の充実を図るとともに、広報や市公式ウェブサイト、パンフレット、ポスター、啓発物資の配布等により周知を図る。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(14)相談窓口の周知・啓発回数　5回以上（年1回以上）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　※箇条書きで具体的に記入

相談窓口について、市公式ウェブサイトへの掲載や国・県等のパンフレットの配布を通じて広く周知する。
①国・県等の関係機関等が開催する研修へ参加する。
②庁内の関係各課との連携のための会議への出席する。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(14) 相談窓口の周知・啓発回数　年1回以上 ①国・県等の関係機関等が開催する研修への参加　年1回 ②庁内の関係各課との連携のための会議への出席　年1回	(14)年1回	(14)年1回	①年1回以上 ②年1回以上 (14)年1回以上	

DO（実施）

R1年度の実施結果　※箇条書きで具体的に記入　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
(14) 相談窓口の周知・啓発については、茂原市ハートフルフェスタ実行委員会と協働し、DV防止のための啓発パンフレットを作成し、相談窓口についても記載。パンフレットは茂原市ハートフルフェスタ実行委員会主催講演会で配布するとともに、公共施設に設置した。また、デートDVについての啓発チラシを県から取り寄せ、成人式で配布した。広報もばら11月1日号に「女性に対する暴力をなくす運動」期間（11/12～11/25）と相談窓口について、「女性の人権ホットライン」及び「児童虐待防止推進月間」と一緒に掲載している。広報もばら毎月1日号はDV相談（子育て家庭相談室及び長生健康福祉センター）等男女共同参画に関する相談窓口の情報を掲載している（子育て支援課）市公式ウェブサイトには相談窓口についての情報を掲載し、トップページからすぐ閲覧できるようバナーを掲載している。 ①国・県等の関係機関等が開催する研修へは参加していない。 ②庁内の関係各課との連携のための会議（管理職対象1回、係長・主査級以下1回）に出席し、研修内容については出席者が復命書にまとめ、課内で共有した。	(14)6回 ①0回 ②2回	①0人 ②2人（男1人、女1人）

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(14) 相談窓口の周知・啓発回数　年6回 ①国・県等の関係機関等が開催する研修への参加　年0回 ②庁内の関係各課との連携のための会議への出席　年2回	(14)年1回	(14)年1回	(14)年1回 ①年1回 ②年2回	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
0		0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 相談窓口について掲載したDV防止のための啓発パンフレットを作成し、配布した。若年層向けのデートDVについてもチラシを配布し、啓発を行った。広報や市公式ウェブサイトを通じて情報発信を行った。国・県等の関係機関等が開催する研修への参加については、周知担当である企画政策課として参加できる研修が、日程の都合のつく日に開催がなかったため、参加できなかった。
（課題・問題点）

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

引き続き、DV防止のためのパンフレットを講演会や公共施設等で配布する。市公式ウェブサイト掲載の内容についても、リンク切れ等ないように随時更新する。国・県・庁内で開催される研修に出席し、研修内容について課内で共有する。昨年度茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会から提案のあった、男性が受けるDVの割合や内容を広報等に掲載することについても検討する。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 積極的に周知、啓発を行っている。

（課題・問題点） 引き続き周知活動に努められたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	17	基本目標	Ⅱ　あらゆる暴力の根絶
事業名	相談員のDV等に関する相談技術の向上	主要課題	Ⅱ－1　暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅱ－1(1)DV、虐待防止啓発の推進

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

引き続き積極的に研修に参加し、スキルアップを図る。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

被害者からの申出に対し迅速かつ適切に対応するため、国・県・関係機関等が開催する研修事業に積極的に参加し、相談員の資質や相談技術の向上を図る。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(16) DV等に関する研修参加　10回以上（年2回以上）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①国、県、関係機関が実施する会議や研修に対し積極的に参加し、担当職員の専門的な知識の向上を図る。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(16) DV等に関する研修参加　4回	(16)年2回	(16)年2回	(16)年3回	

DO（実施）

R1年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①平成31年4月19日　市町村男女共同参画担当課長及びDV対策担当課長会議 ②令和元年5月8日　DV・児童虐待相談新任職員研修（Ⅰ部） ③令和元年度5月9日　市町村DV対策担当課長会議（佐久間課長） ④令和元年6月18日　DV・児童虐待相談新任職員研修（Ⅱ部）	①1回 ②1回 ③1回 ④1回	①1名（男1人） ②1名（男1人） ③1名（男1人） ④1名（男1人）

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(16) DV等に関する研修参加　成果：4回	(16)年5回	(16)年4回	(16)年5回	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
0		0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

- ☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）
- ☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）
- ☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）　新任1人が各種研修会に参加した。

（課題・問題点）　相談体制の充実に向けた専門的知識を持った人員の配置

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

引き続き積極的に研修に参加し、スキルアップを図る。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 研修に参加し、相談員の資質や相談技術向上に努めている。

（課題・問題点） 相談体制の充実のため、人員配置について人事に働きかけられたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	18（子）	基本目標	Ⅱ　あらゆる暴力の根絶
事業名	DV防止に関する意識啓発	主要課題	Ⅱ－1　暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅱ－1(1)DV、虐待防止啓発の推進

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

様々な機会を通じ、DVに関する正しい理解や認識を図るため、講演等を実施する。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

DVが人権侵害であるという観点から、女性に対する暴力を許さない社会づくりをテーマとした講演会等への参加を促進する。また、若年層向けにデートDVに関する正しい理解を促進するための啓発に努める。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(17) 女性に対する暴力をなくす運動の周知　5回以上（年1回以上）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①被害者に対し、県が主催している「DV被害者のための自立支援講座」への参加を促進する。
②毎年11月の「女性に対する暴力をなくす運動」にあわせ、街頭啓発を実施する。
③若年層向けにデートDVに関する正しい理解を促進するため、チラシを配布する。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(17) 女性に対する暴力をなくす運動の周知　1回	(17)年1回	(17)年1回	(17)年1回	

DO（実施）

R1年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①男女共同参画社会づくり推進協議会にて、DV支援に関する講演を実施。 ②茂原市職員出前講座にて、ハートフルフェスタ実行委員会にて、DV支援に関する講演を実施。 ③11月の女性に対する暴力をなくす運動月間時に広報もばらに掲載し周知を図った。	①1回 ②1回	①6人（男1人、女5人） ②9人（男2人、女7人）

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(17) 女性に対する暴力をなくす運動の周知　成果：1回	(17)年1回	(17)年1回	(17)年1回	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
0			

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 関係機関の会議等に出席し、周知・啓発を図った。

（課題・問題点） 若年層に対する啓発の取り組み

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

引き続き様々な機会を通じ、DVに関する正しい理解や認識を図るため、講演等を実施する。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 周知について、計画通り実施されている。

（課題・問題点） 周知・啓発の担当課をまとめられないか。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	18（企）	基本目標	Ⅱ　あらゆる暴力の根絶
事業名	DV防止に関する意識啓発	主要課題	Ⅱ－1　暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	企画政策課	施策の方向	Ⅱ－1(1)DV、虐待防止啓発の推進

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

引き続き、DV問題についての関係機関の啓発パンフレットや講演会のチラシ等を窓口や公共施設、会議等で配布し、周知啓蒙に努める。若年層向けのデートDVに関する正しい理解を促進するための啓発について、取組方法を考える。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

DVが人権侵害であるという観点から、女性に対する暴力を許さない社会づくりをテーマとした講演会等への参加を促進する。また、若年層向けにデートDVに関する正しい理解を促進するための啓発に努める。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(17) 女性に対する暴力をなくす運動の周知　5回以上（年1回以上）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

DV問題についての啓発パンフレットや関係機関の行事等のチラシを配布し、意識啓発に努める。若年層向けのデートDV防止のための啓発パンフレットを配布する。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(17) 女性に対する暴力をなくす運動の周知　年1回以上 ①DV問題についての啓発パンフレットやチラシ等の配布　年2回 ②若年層向けの啓発パンフレット配布　年1回	(17)年1回	(17)年1回	(17)年1回	

DO（実施）

R1年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
(17) 広報もばら11月1日号に「女性に対する暴力をなくす運動」期間（11/12～11/25）と相談窓口について、「女性の人権ホットライン」及び「児童虐待防止推進月間」と一緒に掲載している。 ①茂原市ハートフルフェスタ実行委員会と協働し、DV防止のための啓発パンフレットを作成し、茂原市ハートフルフェスタ実行委員会主催講演会で配布するとともに、公共施設に設置した。関係機関のパンフレットや行事のチラシについては、市役所1階情報公開コーナー及び4階企画政策課窓口に設置するとともに、男女共同参画に関する会議時に配布する等、随時周知した。 ②デートDVについての啓発チラシを県から取り寄せ、成人式で配布した。	(17)年1回 ①年3回 ②年1回	

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(17) 女性に対する暴力をなくす運動の周知　年1回 ①DV問題についての啓発パンフレットやチラシ等の配布　年3回 ②若年層向けの啓発パンフレット配布　年1回	(17)年1回	(17)年3回	(17)年1回	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
0		0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）　数値目標を達成している。広報掲載やパンフレット配布を通じて意識啓発に努めた。

（課題・問題点）

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

引き続き、広報やパンフレット配布等を通じて意識啓発に努める。昨年度茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会から提言のあった、中高生向けのデートDV防止をテーマにした出前講座については、教育委員会及び法務局（人権教室）に提案をする。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 数値目標を達成している。

（課題・問題点） 周知・啓発の担当課をまとめられないか。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	19	基本目標	Ⅱ　あらゆる暴力の根絶
事業名	障害者（児）の虐待防止	主要課題	Ⅱ－1　暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	障害福祉課	施策の方向	Ⅱ－1(1)DV、虐待防止啓発の推進

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

平成30年度同様、関係各課及び関係機関と連携し、障害のある方へ養護者への支援を行っていく。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

障害のある人が尊厳を保ち、安心して暮らしていけるよう、虐待に係る通報・届出の受理、相談・指導・援助を行う。また、障害者虐待の相談窓口及び通報義務について広報誌、パンフレット、ホームページを用いて周知する。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①担当職員の資質向上のため、県主催の障害者虐待防止担当者連絡会議及び障害者虐待防止・権利擁護研修に積極的に参加する。
②障害者虐待の相談窓口や通報義務があることを市民に周知するため、市ウェブサイトへの掲載や、窓口でのパンフレットの設置等を行う。
③虐待通報、発見があった場合に、早急に事実確認をし、警察・関係各課・中核支援センター等の機関と連携し、障害のある人への支援や、成年後見の申立て、養護者への支援を行う。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）

DO（実施）

R1年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①県主催の障害者虐待防止担当者連絡会議及び障害者虐待防止・権利擁護研修（年4回開催）に2回参加し、虐待にかかる相談・指導・援助についての対応技能を習得した。 ②障害者虐待の相談窓口や通報義務があることを市民に周知するため、窓口でのポスターの掲示やパンフレットの設置等を行った。 ③虐待通報については、事実を確認し、警察・関係各課・中核支援センター等の機関と連携し、障害のある人への支援や養護者の支援を行った。	①2回	

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
0		0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 職員のスキルアップのための研修への参加、通報義務等の市民への周知を行い、被害者支援の充実と障害者虐待防止の推進が図れた。

（課題・問題点）

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

今後も虐待にかかる通報等があった場合は、関係各課及び関係機関と連携し、障害のある人への支援や養護者への支援を行っていく。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 計画通り実施されている。

（課題・問題点） 引き続き周知活動に努められたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	20	基本目標	Ⅱ　あらゆる暴力の根絶
事業名	DV対策について関係機関との連携の強化	主要課題	Ⅱ－1　暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅱ－1(2)被害者に対する支援、相談の充実

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

引き続き、庁内支援体制の強化を図り、被害者の安全確保に努めるとともに、自立に向けた支援を実施する。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

地域配偶者暴力相談支援センター（長生健康センター）、女性サポートセンター、警察、母子生活支援センター、中核地域支援センター等の関係機関との連携を強化し、シェルター への避難等緊急的対応の充実を図る。また、外国人や高齢者、障害者等のDV被害者の対応について、庁内支援体制の強化を図るとともに、情報の共有や漏洩防止に努める。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(18) DV等に関する庁内連携会議開催　5回以上（年1回以上）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①関係機関との情報共有、連携を図り支援に努める。
②被害者の安全確保や支援に努める。
③DV支援の連携・強化を図るため、支援会議を開催する。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(18) DV等に関する庁内連携会議開催　成果：1回	年1回	年1回	年2回	

DO（実施）

R1年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①令和元年8月19日　管理職向けDV等に関する庁内連携会議 ②DV被害者に対するシェルター支援実績（新規）	①1回 ②1回	①17人（男16人、女1人） ②2人（男0人、女2人）

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(18) DV等に関する庁内連携会議開催　成果：1回	年1回	年1回	年2回	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
8,898		8,620	9,950

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 計画では、管理職と一般職員の2回の研修の開催を予定していたが、大雨被害対応等のため、管理
職を対象とした研修の1回のみの実施であったため。

（課題・問題点） 個人情報の保護への充分な配慮と関係機関との情報共有のとり方

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

今後も引き続き、庁内支援体制の強化を図り、被害者の安全確保に努めると共に、自立に向けた支援を実施する。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 数値目標は達成している。

（課題・問題点） 庁内連携会議の開催について、管理職と一般職員の各1回ではなく、回数を増やせるか検討されたい。引き続き、関係機関と連携し支援を実施されたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	21	基本目標	Ⅱ　あらゆる暴力の根絶
事業名	DV被害者のプライバシーに配慮した対応	主要課題	Ⅱ－1　暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	国保年金課	施策の方向	Ⅱ－1(2)被害者に対する支援、相談の充実

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

DV被害者から国民健康保険の加入の相談があった場合、迅速かつ適切に対応できるように、資格管理を徹底する。また、被害者情報を適切に管理するため、関係部署との情報共有を行う。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

DV防止法に基づき、配偶者からの暴力を受けている被害者および子について、関係各課及び職員間の情報共有を図り、情報漏洩等のないよう努める。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①DV被害者からの相談があった場合に迅速に対応できるよう、担当事務の引継ぎを綿密に行う。
②女性サポートセンター等関係機関及び庁内関係部署と連携を図り適切な対応に努める。
③被保険者証を交付しているDV被害者の把握をして、資格管理に遺漏のないようにする。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）

DO（実施）

R1年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①担当事務の変更にあわせて、事務の引継ぎを行った。 ②関係部署から被害者や加害者の最新の情報をもらい課内で情報共有をし適切に対応した。 ③DV被害者の情報が漏洩しないようにシステム上に注意事項として入力して資格管理の徹底を行った。		

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
0			

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） DV被害者に対して、外部機関及び庁内関係部署と連携をはかりながら、迅速かつ適切に諸手続きができた。

（課題・問題点） 今後もDV被害者に対しての適切な資格管理のために、担当が変更する場合は事務の引継ぎを綿密に行う必要がある。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

DV被害者から国民健康保険の加入の相談があった場合、迅速かつ適切に対応できるように、資格管理を徹底する。また、被害者情報を適切に管理するため、関係部署からの情報をシステムに入力し、課内で情報共有を行う。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 適切な対応がなされている。

（課題・問題点） 引き続き、管理を徹底し、関係機関および庁内関係部署との連携をさらに強化されたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	22	基本目標	Ⅱ　あらゆる暴力の根絶
事業名	DV被害者等における住民基本台帳等の閲覧等の制限	主要課題	Ⅱ－1　暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	市民課	施策の方向	Ⅱ－1(2)被害者に対する支援、相談の充実

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

今年度と同様、引き続き相談内容に沿った支援を行っていく。支援対象者の情報管理を徹底し、庁内関係課と情報の共有、連携を行っていく。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

DV被害者等からの申出により、住民基本台帳等の閲覧・交付の制限を行います。関係各課にて支援情報を共有することで、個人情報の漏洩を防ぐ。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①支援措置の相談は、できる限り女性職員2名体制で行うようにし、内容によっては担当課と連携する。
②引き続き、支援決定者の情報について庁舎内関係各課へ文書配布し、情報の共有、連携を行い、慎重に取り扱う。
③市民課内の研修で、支援措置の概要、対応（証明書交付等）等を周知、再確認してもらう。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）

DO（実施）

R1年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①令和2年3月13日現在で100件の支援措置を実施している。（うち当市の支援受付件数：50件）前年同様、支援に該当するしないに関わらず、相談内容によって庁内担当課（子育て支援課等）、外部相談機関(警察等）へ相談を勧め、適切な支援がなされるよう対応した。 ②現住所が市内にある支援対象者については、庁内関係部署へ通知を行った。他課で支援対象者に関わる証明書請求等の事務が発生した場合は、市民課へ連絡を頂き、内容を慎重に審査し、担当課と相談した上で対応した。 ③研修を実施したことで、課内職員の支援措置制度についての理解が進み、支援者に対する窓口での対応がスムーズに行うことができるようになった。		

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
0		0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 実施内容のとおり。支援措置申出者は年々増加傾向にあり、被害状況も多様である為、申出者の状況を2名以上の職員で詳しく聞き取り、個々の相談内容に合った相談機関への案内を適切に行った。

（課題・問題点） 被害が無いにも関わらず、安易に支援措置申出を行うケースが増加している。聞き取りを十分に行い、本当に支援が必要となる対象者かどうかを慎重に判断する必要があると考えている。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

令和元年と同様に、引き続き申出者の相談内容に沿った適切な支援措置の決定、案内を行っていく。支援対象者の情報管理を徹底し、庁内関係課と情報の共有、連携を行っていく。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 適切な対応がなされている。

（課題・問題点） 引き続き、関係機関および庁内関係部署との連携を強化されたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	23	基本目標	Ⅲ　様々な分野における男女共同参画
事業名	男女共同参画によるまちづくりの推進と審議会等委員への女性参画の拡大	主要課題	Ⅲ－１　政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	企画政策課	施策の方向	Ⅲ－1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

引き続き、審議会等における女性の登用について調査し、女性の積極的な登用を依頼する。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

市民協働によるまちづくり推進を担う各団体において、意思決定過程における男女共同参画を促進するとともに、審議会等委員の選定にあたっては公募枠の拡大、代表者に限定しない適任者の推薦等を依頼し女性の登用を促進する。特に女性委員のいない団体や審議会等をなくすことを目指し女性の参画拡大を図る。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(19) 審議会等における女性委員の登用率　平成32年度までに30%以上

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　※箇条書きで具体的に記入

①審議会等における女性の登用率について調査する。
②女性委員の少ない審議会等については、女性委員の積極的な登用を依頼するとともに、難しい場合はその理由をヒヤリングする。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(19) 審議会等における女性委員の登用率　平成32年度までに30%以上 ①審議会等における女性の登用率についての調査　年1回 ②審議会等における女性の参加促進についての依頼　年1回			(19) － ①年1回 ②年1回	

DO（実施）

R1年度の実施結果　※箇条書きで具体的に記入　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①審議会等における女性の登用率について調査した。 ②女性委員の少ない審議会等については、女性委員の積極的な登用を依頼した。	①年1回 ②年1回	

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(19) 審議会等における女性委員の登用率　22.0% ①審議会等における女性の登用率についての調査　年1回 ②審議会等における女性の参加促進についての依頼　年1回	(19)19.0%	(19)20.9%	(19)22.2% ①年1回 ②年1回	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
0		0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 審議会等における女性の登用率について調査及び依頼を行ったが、登用率の上昇には至らなかった。

（課題・問題点） 企画政策課から審議会等の担当課へ女性委員の積極的な登用依頼をしても、登用できそうな女性の当てがなかったり、公募しても女性から応募がなく、結果に結びつけることが難しい。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

引き続き、審議会等における女性の登用について調査し、女性の積極的な登用を依頼する。昨年度茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会から提言された、広報で、「女性委員を求めている」、というような特集を組むことについては、審議会ごとに任期及び募集時期が異なるため難しいが、各審議会が委員募集する際、女性がよく集まる場により積極的に情報発信することについては、各担当課に提案する。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 登用率は上がらなかったものの、積極的な依頼によりほぼ横ばいの結果である。

（課題・問題点） 引き続き、審議会等の担当課に女性の積極的な登用を依頼されたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	24	基本目標	Ⅲ　様々な分野における男女共同参画
事業名	広聴活動における女性の意見聴取機会の確保	主要課題	Ⅲ－１　政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	秘書広報課	施策の方向	Ⅲ－1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

引き続き、「市長と話し合う会」の記録や「市長への手紙」の内容を公開していくことで、興味喚起を行う。
また、広報や市公式ウェブサイトだけでなく、Facebookやマチイロ等の媒体を活用し、周知に努める。
開催回数・時間は未定。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

「市長と話し合う会」や「市民ふれあいミーティング」、「公共施設見学会」等、広聴事業に女性参加者を増やす方策を講じ、女性の意見聴取機会の増加を図る。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　※箇条書きで具体的に記入

①「市長と話し合う会」を11月17日（日）に開催。記録を市公式ウェブサイトに掲載、行政情報コーナー・本納支所・図書館にも設置し、興味喚起を行う。
②「市民ふれあいミーティング」は、昨年同様、5人以上の団体・グループからの申込制とし、申込者からテーマ・日時設定をしてもらい、女性同士でも気軽に参加しやすくなるように工夫。
③「市長への手紙」で寄せられた意見等や回答を市公式ウェブサイトに掲載し、興味喚起を行う。
④「公共施設見学会」を10月21日（月）に開催。公共施設の見学を通じて市政への理解を深めてもらう。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）

DO（実施）

R1年度の実施結果　※箇条書きで具体的に記入　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①「市長と話し合う会」災害対応のため中止 ②「市民ふれあいミーティング」 ③「市長への手紙」（回答したもの） ④「公共施設見学会」	①中止 ②1回 ③61件 ④1回	①中止 ②5人（男1人、女4人） ③60人（男37人、女23人、不明1人） ④27人（男16人、女11人）

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
80		11	84

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）　男女問わず広く市民から意見が出されている。特に「市長への手紙」や「市民ふれあいミーティング」、「公共施設見学会」は、女性からの提案・質問・参加等も多く、意見聴取の機会は確保されている。（市長と話し合う会は災害対応のため中止）

（課題・問題点）　「市長と話し合う会」や「市民ふれあいミーティング」について、女性参加者は増加傾向にあるが、若年層の参加が少ないため、広報もばらや市公式ウェブサイトだけでなく、他の周知手段を考える必要がある。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

引き続き、「市長と話し合う会」の会議録や「市長への手紙」の内容を公開していくことで、興味喚起を行う。
また、広報や市公式ウェブサイトだけでなく、Facebookやマチイロ等の媒体を活用し、周知に努める。
開催回数・時間は未定。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 男女問わず意見聴取の機会が確保されている。

（課題・問題点） 参加が少ない若年層への周知方法を検討するとともに、参加しやすい日程等の配慮に努められたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	25	基本目標	Ⅲ　様々な分野における男女共同参画
事業名	市女性職員の登用の推進	主要課題	Ⅲ－１　政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	職員課	施策の方向	Ⅲ－1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

今後も積極的に、女性の登用をはかる。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

男女を問わず採用・登用し、性別にとらわれない人事配置を行う。また、女性職員がその能力特性を十分発揮し、政策・方針決定過程への参画を通して管理職へ積極的に登用されるよう、人材育成の方策について検討する。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(20)管理職における女性の割合　平成32年度までに30%以上

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①適材適所の人員配置をして、積極的な女性の登用を図る。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(20)管理職における女性の割合増加　平成32年度までに30%以上				

DO（実施）

R1年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
令和元年度管理職への登用状況（H31.4.1現在） 管理職に占める女性の割合　19.82% 9級（部長職）　1人/8人 8級（次長職）　1人/9人 7級（課長級）　4人/37人 6級（補佐級）　16人/57人	19.82%	111人（男89人、女22人）

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(20)管理職における女性の割合　19.82%	(20)17.5%	(20)19.0%	(20)20.3%	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
0		0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 積極的な登用は行っているが、目標数値には達していない。しかし、今年度は部長職に女性を登用している。退職により割合の減少はあるものの、昨年度と比較すると女性職員を上位の職へ登用しており、政策・方針決定等に参画し、実力を発揮している。

（課題・問題点） 女性の登用にあたっては、本人の意欲や責任感の醸成が必要であるとともに、長期的視点にたって対応を図る必要がある。研修参加のみならず、人事評価制度を活かし登用を図る必要がある。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

今後も積極的に女性の登用を図る。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 数値目標は達成していないが、積極的な登用を行っている。

（課題・問題点） 担当課に同じ。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	26	基本目標	Ⅲ　様々な分野における男女共同参画
事業名	市女性職員の能力開発のための研修への参加機会の確保・拡大	主要課題	Ⅲ－１　政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	職員課	施策の方向	Ⅲ－1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

引き続き研修に積極的に派遣するとともに、自発的に参加しようとする職員の育成に努める。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

女性職員の人材育成の観点から、関係機関での研修を活用する等、能力開発のための研修等への参加機会の確保・拡充を図る。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(21) 市女性職員の能力開発のための研修への参加人数　延べ25人以上

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①千葉県自治センター及び民間の研修機関が実施する女性職員のための研修に職員を派遣する。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(21) 市女性職員の能力開発のための研修への参加人数　年5人	(21)年5人	(21)年5人	(21)年5人	

DO（実施）

R1年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
令和元年度は2名の女性職員が能力開発のための研修に参加した。 ・千葉県自治研修センター「女性職員スキルアップ研修」（1日間）2名	年2人	2人（男0人、女2人）

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(21) 市女性職員の能力開発のための研修への参加人数　年2人	(21)年5人	(21)年5人	(21)年4人	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
80		9	50

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 係長相当職の職員を派遣したので、女性リーダーの育成に有効であったと考える。研修で学んだことを活かし各所属で活用している。

（課題・問題点） その他女性職員の能力開発のための研修に参加する予定ではあったが、災害対応のための研修に参加することができなかった。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

引き続き研修に積極的に派遣するとともに、自発的に参加しようとする職員の育成に努める。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 災害対応により研修に参加できず数値目標は達成できていないが、概ね計画通り実施されている。

（課題・問題点） 引き続き、積極的に女性職員を派遣するとともに、意欲のある女性職員が自発的に参加できるように工夫し、女性リーダー育成に努められたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	27	基本目標	Ⅲ　様々な分野における男女共同参画
事業名	男女雇用機会均等や育児・介護休業に係る法制度の周知と積極的取り組み（ポジティブ・アクション）の促進	主要課題	Ⅲ－１　政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	商工観光課	施策の方向	Ⅲ－1(2)企業や団体における方針決定過程への男女共同参画の促進

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

国・県等の施策に関する情報を、市公式ウェブサイト上でさらに充実させるとともに、「次世代育成支援対策推進法」及び「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」の周知に努め、一般事業主行動計画の策定を促進する。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

男女ともに仕事と育児・介護が両立できる職場環境を整備するため、男女雇用機会均等や育児・介護休業に係る法制度の周知を図る。また、商工会議所等の関係機関と連携し、企業・団体におけるポジティブ・アクション（積極的改善措置）の実行等を通じ、積極的に女性を指導的地位へ登用するよう促す。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①男女雇用機会均等や育児・介護休業に係る法制度、ポジティブアクション関連の情報提供のため、市公式ウェブサイトを活用し、市及び茂原商工会議所等の関係団体の広報誌への掲載やパンフレット等の配付により、周知に努める。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
			①年2回	

DO（実施）

R1年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①関係機関主催によるセミナーや法制度に関するチラシ等の案内を市窓口、公共施設で配布した。また、市公式ウェブサイトを活用し、情報発信に努めた。	①0回	

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
			①未回答	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
0		0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☑ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 国や県の施策の周知を市公式ウェブサイトにおいて、一元的に掲載した。

（課題・問題点） 国・県等の情報提供のみとなっている。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

国・県等の施策を市公式ウェブサイトを活用し、情報提供に努める。また、「次世代育成支援対策推進法」及び「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」の周知に努め、一般事業主行動計画の策定を促進する。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 国や県の施策の周知を市公式ウェブサイトに一元的に掲載するなど、周知には努めている。

（課題・問題点） 引き続き、情報の周知に努められたい。また、数値目標を設定できないか検討されたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	2
(d)適切な数値目標が提示されているか	1

【項目評価基準】

4…十分達成している	【90%以上】
3…概ね達成されている	【70%以上】
2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☑ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

・制度周知に努められているが情報提供のみである。
・市内事業所や団体等においてポジティブアクションの取り組みがなされているか確認ができない。

改善策等の提言

・国・県等の施策の情報提供を企業に発信し、一般事業行動計画の策定を促進するためには、商工会議所と連携して説明会・セミナー等の開催が必要。
・自治会回覧等で市民に広く周知する必要がある。関心を持つ人が多くなるかもしれない。
・他自治体の工夫がされた見やすいウェブサイトを参考に、他市の事例を十分に発信してほしい。

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	28	基本目標	Ⅲ　様々な分野における男女共同参画
事業名	就労を希望する女性の再チャレンジ支援	主要課題	Ⅲ－１　政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	商工観光課	施策の方向	Ⅲ－1(2)企業や団体における方針決定過程への男女共同参画の促進

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

千葉県ジョブサポートセンターと連携し、ニーズに応じた再就職支援セミナーを継続して開催する。また、マザーズハローワークや千葉県ジョブサポートセンター等の就職支援機関と支援業務の情報発信をさらに強化する。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

県及び関係機関と連携し、女性の職業能力の向上のための講座や再就職を支援するための情報提供を実施する。
広報紙・ホームページを利用し、就業相談窓口の情報を提供するとともに、女性の就職・再就職等のための相談事業の支援を実施する。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　※箇条書きで具体的に記入

①千葉県ジョブサポートセンターと連携し、女性の再チャレンジ支援のセミナー開催等の情報を市公式ウェブサイトや市広及び商工会議所広報誌への掲載及びパンフレット等の配付により、周知に努める。
②千葉県ジョブサポートセンターと連携したセミナー、講習会の開催支援

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
・セミナー・講習会等の相談事業の開催支援　年1回以上				

DO（実施）

R1年度の実施結果　※箇条書きで具体的に記入　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①本年度においても「千葉県ジョブサポートセンター」の講師派遣事業を活用し、女性のみでは、参加者が少ないため、全年齢対象の再就職支援セミナーを開催した。 ②市ウェブページの構成を施策体系に沿って整理し、「マザーズハローワーク」や「千葉県ジョブサポートセンター」等の就職支援機関及び就業相談・就職支援セミナー等の情報発信を強化した。	①1回	②9人（男5人、女4人）

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
・セミナー・講習会等の相談事業の開催支援　年1回				

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
0		0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）　性別年齢による区分けにない再就職セミナーの開催を開催し、4人の女性の参加があった。

（課題・問題点）　再就職支援については、ハローワークと更なる連携を図る必要がある。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

千葉県ジョブサポートセンター事業を活用し、再就職支援セミナーを継続して開催する。開催にあたり、ハローワーク等の関係機関と更なる連携を図る。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 数値目標は達成している。

（課題・問題点） 再就職支援のための情報提供やセミナー、講習会の開催にあたり、関係機関とさらなる連携を図られたい。また、開催支援回数の増加を検討されたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	29	基本目標	Ⅲ　様々な分野における男女共同参画
事業名	国際的視野に立った男女共同参画の推進	主要課題	Ⅲ－２　地域社会における男女共同参画
課係名	企画政策課	施策の方向	Ⅲ－2(1)地域における男女共同参画の促進

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

姉妹都市交流事業及び国際交流協会事業について、男女共に企画立案から積極的に参画してもらうよう、幅広い周知を図る。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

男女を問わず国際社会に柔軟に対応できる人材を育成するため、国際交流を通じて異文化理解と友好親善を深める機会の充実に努める。
また、茂原市国際交流協会と協力し、性別・国籍を問わずすべての住民が安心して暮らせる多文化共生社会の実現を目指す。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(22) 国際交流イベントの開催　10回以上（年2回以上）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①姉妹都市より訪問団を受け入れ、男女を問わず市民交流の機会を提供する。
②茂原市国際交流協会の事業において、男女を問わず企画立案への参画、イベントへの参加を促す。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(22) 国際交流イベントの開催　年5回	(22)年3回	(22)年3回	(22)年5回	

DO（実施）

R1年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①姉妹都市事業　(1)ティンデイルクリスチャンスクール受入(表敬訪問、市内中学生との交流、本納絵馬体験、大多喜城訪問、ホームステイ等)、(2)エンデバーカレッジ受入(茂原中学校で学生交流、琴体験等) ②茂原市国際交流協会事業　(1)茂原桜まつりでの呈茶、(2)講座「外国人の在留資格について知ろう！」講師：金城吉輝氏(行政書士)、(3)国際交流バーベキュー、(4)国際交流バスツアー、(5)アメリカ大学生ホームステイ受入、(6)中国家庭料理教室	①2回 ②6回	①(1)受入学生数7人（男1人、女6人）、ホストファミリー7家庭、(2)受入学生数11人（男2人、女9人） ②(1)40人（男女別不明）、(2)46人（男17人、女29人）、(3)52人（男22人、女30人）、(4)53人（男16人、女37人）、(5)受入学生数24人（男6人、女18人）、ホストファミリー19家庭、(6)22人（男6人、女16人）

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(22) 国際交流イベントの開催　年6回	(22)年5回	(22)年7回	(22)年6回	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
姉妹都市：367 協会：100（補助金）		姉妹都市：139 協会：100（補助金）	姉妹都市：367 協会：100（補助金）

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 数値目標を達成している。
（課題・問題点） 国際交流及び多文化共生は、国籍・人種・民族・言語・文化等の違いの相互理解と共存を目指すものであるので、そこにさらに男女共同参画の視点を盛り込むことは無理がある。茂原市国際交流協会事業も姉妹都市事業も性別に関わらず参加の機会が開かれており、実際に男女問わず希望者は企画から参加できており、性別に起因する問題は生じていない。計画として何を問題として、何をゴールにしているのか不明である。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

引き続き、茂原市国際交流協会事業及び姉妹都市事業について性別を問わず参加できる機会を提供する。
昨年度茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会より提言のあった、諸外国の役所・議会への職員派遣については、費用対効果の点から実現は難しいため、諸外国の取り組みについては、書籍やインターネットで情報収集を行う。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 数値目標を達成している。

（課題・問題点） 担当課に同じ。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	30	基本目標	Ⅲ　様々な分野における男女共同参画
事業名	環境保全における男女共同参画の促進	主要課題	Ⅲ－２　地域社会における男女共同参画
課係名	環境保全課	施策の方向	Ⅲ－2(1)地域における男女共同参画の促進

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

ゴミゼロ運動を継続していくことで市民の環境美化に対する意識の高揚を図る。茂原市花いっぱい運動推進協議会と協働により第68回茂原市花いっぱいコンクールを開催し多くの市民に参加してもらえるよう呼びかけていく。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

公共施設への花の植栽や花いっぱい運動を通じて緑や花を育てる市民意識の高揚を図るとともに、ゴミゼロ運動等環境保全のための地域活動に男女がともに参画する環境づくりを目指す。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(23) 花いっぱいコンクールの参加者数　延べ200組（年40組）
(24) ゴミゼロ運動の参加者数　延べ7万5,000人（年1万5,000人）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　※箇条書きで具体的に記入

(23)花いっぱいコンクール（春の審査会・秋の審査会）の開催
(24)ゴミゼロ運動の実施（5月26日）

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(23) 花いっぱいコンクールの参加者数　年40組 (24) ゴミゼロ運動の参加者数　年15,000人	(23)年40組 (24)年15,000人	(23)年40組 (24)年15,000人	(23)年40組 (24)年15,000人	

DO（実施）

R1年度の実施結果　※箇条書きで具体的に記入　（添付書類　　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
(23)花いっぱいコンクールの実施　春（4月17日、18日）　秋（9月17日、20日） (24)ゴミゼロ運動の実施（5月26日）	(23)2回 (24)1回	(23)年33組 (24)年12,581人

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(23) 花いっぱいコンクールの参加者数　年33組 (24) ゴミゼロ運動の参加者数　年12,581人	(23)年37組 (24)年12,498人	(23)年38組 (24)年12,186人	(23)年34組 (24)年12,345人	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
2,639		2,635	2,672

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）（23）花いっぱいコンクールは男女共に小学生から高齢者まで幅広い年齢の参加があった。
(24)ゴミゼロ運動は男女問わず幅広い年齢層の市民が参加した。

（課題・問題点）（23）（24）参加者の増加に努める。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

(23)茂原市花いっぱい運動推進協議会と協働によりコンクールを開催し多くの市民参加を募る。
(24)ゴミゼロ運動を継続していくことで市民の環境美化に対する意識の高揚を図る。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 担当課と同じ。

（課題・問題点） 花いっぱい運動もゴミゼロ運動も性別に関わらず希望者は参加できている。事業目標はすでに達成していると思われる。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	31	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進
事業名	父親の子育てに関する学習機会の提供	主要課題	Ⅳ－１ 家庭における男女共同参画
課係名	生涯学習課	施策の方向	Ⅳ－1(1)家庭生活における男女共同参画の促進

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定） ※H30年度報告書より再掲

引き続き、家庭教育学級を通じて、家庭生活における男女共同参画の意識啓発を図る。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

家庭教育学級等において、父親の子育ての意識を高める内容を取り入れる等、父親の積極的な子育ての参加を促進するための学習機会を提供し、子育てを共にする意識の啓発を図る。
また、父親が参加しやすいよう、講座・講習会・研修視察等を土日にも開催し、男女共同参画の高揚を図る。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(25) 家庭教育学級の開催回数 375回（年75回）
(26) 家庭教育学級の父親参加者 延べ1,700人以上（年340人以上）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画） **※箇条書きで具体的に記入**

・幼児期家庭教育学級の開催
・就学時子育て講座
・幼稚園・小学校家庭教育学級の開催

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(25) 家庭教育学級の開催回数 年75回 (26) 家庭教育学級の父親参加者 年450人	(25)年75回 (26)年450人	(25)年75回 (26)年450人	(25)年75回 (26)年450人	

DO（実施）

R1年度の実施結果 **※箇条書きで具体的に記入** （添付書類 無 ）

内容	回数	参加者数（男女別）
① 幼児期家庭教育学級 ② 就学時子育て講座 ③ 幼稚園・小学校家庭教育学級	①5回 ②14回 ③52回	①74人 （男7人・女67人） ②609人 （男32人・女577人） ③1,813人 （男449人・ 女1,364人）

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(25) 家庭教育学級の開催回数 年71回 (26) 家庭教育学級の父親参加者 年488人	(25)年86回 (26)年591人	(25)年86回 (26)年554人	(25)年79回 (26)年519人	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
583		490	650

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）
☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）
☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 台風や豪雨被害、幼稚園の閉園により実施回数については数値目標を下回ったが、参加者数は上回っているため。

（課題・問題点） 今後、学校再編が計画されており、実施回数や参加者数について新たな数値目標を設定する必要がある。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

引き続き、各家庭教育学級を通じて、家庭生活における男女共同参画の意識の啓発を図る。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 台風被害等があったため、数値は前年より下回ったが、概ね計画通り実行されている。

（課題・問題点） 担当課に同じ。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	3
(d)適切な数値目標が提示されているか	3

【項目評価基準】

4…十分達成している	【90%以上】
3…概ね達成されている	【70%以上】
2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

・台風や豪雨被害等により数値目標を下回ったが、参加者数は上回っている。
・各家庭教育学級の男性の参加者が少ない。

改善策等の提言

・幼児期家庭教育学級と就学時子育て講座の男性の参加割合が低い原因を確認し、参加者割合を上げるよう努められたい。
・父親を意識した内容の検討も必要。
・幼児期家庭教育学級について、豊田福祉センターだけではなく、他の場所でも開催できないか。

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	32	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進
事業名	妊娠期の健康管理・育児に関する学習機会の提供	主要課題	Ⅳ－１ 家庭における男女共同参画
課係名	健康管理課	施策の方向	Ⅳ－1(1)家庭生活における男女共同参画の促進

ＡＣＴ（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定） ※H30年度報告書より再掲

妊婦及びその夫が共に協力して育児ができるよう、先輩ママ・パパから体験談を聞く機会を設けたり、調乳指導等夫にもできる育児手技が体験できる機会等も盛り込み、4回目の教室として追加する。また、防災や受動喫煙、夫婦間トラブルの予防に関する内容についても取り入れ、妊娠期より子どもの健やかな成長を育むための環境づくりを支援していきたい。

ＰＬＡＮ（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

妊娠期から夫婦で積極的に健康管理・育児の知識の普及と技術の習得を行うことで、出産後育児が不安なく行われ、愛情を持って子どもを養育できるよう「ママ・パパ教室 」等を実施する。開催にあたっては父親も参加しやすいよう土曜日にも実施する。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(27) ママ・パパ教室の初妊婦参加率 50%
(28) ママ・パパ教室のパートナー参加率 70%

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画） ※箇条書きで具体的に記入

①4コース実施、各コース4回（平日2コース、土曜日2コース）実施する。
・1回目：出産準備編… 妊娠・陣痛・お産中の過ごし方。ママと赤ちゃんの歯のお話（歯科衛生士）
・2回目：産後育児編…母乳育児のお話、おむつ交換体験、ママと赤ちゃんの栄養のお話（栄養士）
・3回目：沐浴編…沐浴体験、パパ“力”アップミニ講座
・4回目：先輩ママ・パパ交流編…交流会、赤ちゃんの心をはぐくむポイント、調乳体験、先輩ママ・パパはベビーマッサージ体験
②4回目は、育児パパおとこ塾で実施していた内容を盛り込み、先輩ママ・パパと交流する場を設けたり、調乳指導等夫にもできる育児手技が体験できる内容とする。
③受動喫煙や防災、夫婦間トラブルの予防に関する内容を取り入れる。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(27) ママ・パパ教室の初妊婦参加率 50% (28) ママ・パパ教室のパートナー参加率 70%	(27)50% (28)70%	(27)50% (28)70%	(27)50% (28)70%	

ＤＯ（実施）

R1年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 （添付書類 無 ）

内容	回数	参加者数（男女別）
①1回目：出産準備編、2回目：産後育児編、3回目：沐浴編、4回目：先輩ママ・パパ交流編 ②4回目は、育児パパおとこ塾で実施していた内容を盛り込み、先輩ママ・パパと交流する場を設けたり、調乳指導等夫にもできる育児手技が体験できる内容とした。 ③受動喫煙や防災、夫婦間トラブルの予防に関する内容を取り入れた講話を実施	①②1回目：平日2回・土2回、2回目：平日2回、土2回、3回目：平日2回、土1回、4回目：土2回	①1回目：妊婦57人、夫34人、他2（内女2人）、2回目：妊婦62人、夫49人、他2（内女1人、男1人）、3回目：妊婦48人、夫41人、他2（内女2人）、4回目：妊婦19人、夫15人、他1（内女1

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(27) ママ・パパ教室の初妊婦参加率 55.9% (28) ママ・パパ教室のパートナー参加率 74.7%	(27)52.4% (28)62.4%	(27)52% (28)69%	(27)40.9% (28)68.6%	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
193		190	217

ＣＨＥＣＫ（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）
☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）
☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 妊婦体験や沐浴体験、おむつ交換体験等の体験を多く盛り込み、妊娠中～産後の身体の変化を講義で触れることで、育児や家事等を夫婦で協力して行えるよう働きかけ、アンケートでも満足度が高く、効果が得られている。
（課題・問題点） 育児パパおとこ塾の参加者が少なく、今年度より男性の参加が多いママ・パパ教室の4回目にその内容を盛り込み、「先輩ママ・パパ交流会」して実施した。結果、参加者には大変好評だったものの、実施回数が他の回より少なかったことや「交流会」としたことで敬遠されてしまい、集客が少なかった。次年度は、内容を吟味して全4回から全3回とし、先輩ママ・パパとの交流も敬遠されないように工夫して組み込んでいく。

ＡＣＴ（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

・3コース実施、各コース4回（1回目・2回目…平日2回、土曜日2回。3回目…平日1回、土曜日3回）実施する。
1回目：出産準備編…妊娠・陣痛・お産中の時の過ごし方、パパが行う陣痛時のマッサージ体験、歯・栄養のお話（歯科衛生士・栄養士） 他
2回目：沐浴・妊婦体験編…赤ちゃんのお風呂入れ体験、パパが行う臨月の重さ体験、パパ“力”アップミニ講座 他
3回目 ：授乳・抱っこ・ベビーマッサージ体験編…母乳育児・調乳（ミルク作り）体験、赤ちゃんの「泣き」について考えよう、先輩ママ・パパと交流、赤ちゃんの抱っこ体験 他
・次年度は、4回目に実施していた内容を3回目に盛り込み、また夫も参加しやすい土曜日開催を増やしていく。また、防災や受動喫煙、夫婦間トラブルの予防に関する内容を取り入れ、妊娠期より子どもの健やかな成長を育むための環境づくりを支援していきたい。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 初妊婦参加率およびパートナー参加率も上がっており、十分に成果を上げている。

（課題・問題点） 引き続き、育児手法体験の実施、先輩ママ・パパや参加者同士との交流機会を提供し、夫婦が協力して育児が出来るよう支援されたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	4
(d)適切な数値目標が提示されているか	4

【項目評価基準】

4…十分達成している	【90%以上】
3…概ね達成されている	【70%以上】
2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

・少ない予算の中でも様々努力をされている。
・着実に参加者が増え、担当者の努力を感じる。
・その年の結果を踏まえて次年度に活かしているところが良い。

改善策等の提言

・災害時を視野に入れた内容を取り込んで、パパ・ママ教室を計画していくことも必要。
・With(after)coronaのもとで、家庭での事例をもっと収集し、ふさわしい啓発活動を求めていく必要がある。
・おばあさん、おじいさん世代の子育ての話も聞ける機会があると良いと思う。

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	33	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進
事業名	男性の家庭参画を促す講座等の実施	主要課題	Ⅳ－１ 家庭における男女共同参画
課係名	東部台文化会館	施策の方向	Ⅳ－1(1)家庭生活における男女共同参画の促進

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定） ※H30年度報告書より再掲

「男の料理教室」「太巻き寿司教室」を実施し、家事に親しんでもらう機会を設け、男性の家庭参画を促進する。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

男女が対等な家族の構成員として互いに尊重し協力し合えるよう、男性も参加しやすい料理教室やその他生活に根ざした実践的な講座・生きがい講座等を開催し、男性の家庭参画を促進する。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(29) 男性の家庭参画を促す講座の開催 45回以上（年10回以上）
(30) 男性の家庭参画を促す講座の参加者 900人以上（年180人以上）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画） **※箇条書きで具体的に記入**

①「男の料理教室」は毎月第2又は第1金曜日とする。（6～7月、9～11の年5回） 「太巻き寿司教室」は毎月第4又は第3木曜日とする。（6～7月、9～11月の年5回）
②「男の料理教室」：旬の食材を活かし、健康的な家庭料理を習得する。 「太巻き寿司教室」：季節感のある模様を巻き込んだ房総伝統の太巻き寿司の作り方を習得する。
③食生活への関心を高め、健康増進を図るとともに、楽しく家事に参加するよう促す。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(29) 男性の家庭参画を促す講座の開催 年10回 (30) 男性の家庭参画を促す講座の参加者 年180人	(29)年5回 (30)年100人	(29)年10回 (30)年200人	(29)年10回 (30)年180人	

DO（実施）

R1年度の実施結果 **※箇条書きで具体的に記入** （添付書類 無 ）

内容	回数	参加者数（男女別）
①「男の料理教室」講師：佐土邦枝氏 開催日：6月7日、7月12日、9月13日、10月11日、11月8日（金） 「太巻き寿司教室」講師：関野和子氏 開催日：6月27日、7月25日、9月19日、10月24日、11月21日（木） ②季節のものや旬の食材を活かし、健康的な家庭料理を実習した（男の料理教室）。季節感のある模様を巻き込んだ房総伝統の太巻き寿司を楽しく実習できた（太巻き寿司教室）。 ③健康面を考慮したメニューや、家庭でも参考になるアレンジ法等色々な調理方法を実習した。	①全5回 ②全5回	①75人（男75人） ②56人（男15人、女41人）

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(29) 男性の家庭参画を促す講座の開催 年10回 (30) 男性の家庭参画を促す講座の参加者 年131人	(29)年5回 (30)年96人	(29)年10回 (30)年106人	(29)年10回 (30)年181人	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
100		100	100

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 受講生たちの真剣に説明を聞く姿や、調理中に講師に質問をしている姿がよく見られ、食材や調理法等への関心が高いことが伺える。家庭でも参考になる等の意見もあり、家庭参画が促進されていると感じる。

（課題・問題点） 教室の申込み方法を再度見直し、募集定員に達するよう工夫する。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

「男の料理教室」、「太巻き寿司教室」を実施し、家事に親しんでもらう機会を設け、男性の家庭参画を促進する。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 数値目標を達成している。

（課題・問題点） 開催日時等を工夫し、幅広い世代が参加できるように努められたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	3
(d)適切な数値目標が提示されているか	3

【項目評価基準】

4…十分達成している	【90%以上】
3…概ね達成されている	【70%以上】
2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

・数値目標を達成している。
・計画したものに関しては、参加人数が少なかったが、すべて実施されている。

改善策等の提言

・料理はもちろんだが、その他生活に根ざした、掃除や洗濯などの講座も開催されたい。
・幅広い年齢層に参加してもらえるよう、内容の検討が必要。
・独身男性高齢男性向けに、既製品でも栄養バランスを考えた食事を指導したり、昼食会を開くことも必要と考える。
・どのようなニーズがあるのか、参加者にアンケートを取ると今後に役立つ。

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	34	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進
事業名	乳幼児相談・検診事業の充実	主要課題	Ⅳ－１ 家庭における男女共同参画
課係名	健康管理課	施策の方向	Ⅳ－1(1)家庭生活における男女共同参画の促進

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定） ※H30年度報告書より再掲

各種健診については、電話や家庭訪問等による受診勧奨を行い、高い受診率を維持できるよう努める。また、夫婦で協力して育児ができるように、母子保健事業を通じて働きかけ、必要に応じて子育て支援課につないでいく。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

すべての乳児に健康相談、幼児に健康診査を行い、運動機能・視聴覚等の障害、精神発達の遅滞等障害を早期に発見し、適切な指導を行い、心身障害の進行を未然に防止する。また、乳幼児期の親子が健全に成長発達でき、楽しく育児ができるように健康相談、健康診査を通じて男女が共に家庭における役割を担えるよう啓発していく。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画） ※箇条書きで具体的に記入

①相談・健診未受診者に対して、電話・家庭訪問等で再勧奨し、受診率の向上を目指す。
②相談・健診時に発達の遅れのある児に対しては、心理相談や医療機関に繋げ、必要に応じて継続的に支援する。
③育児についての不安や悩みをしっかり聞くことにより育児不安の軽減を図り、家族やパートナーとの関係で悩んでいる方は、関係機関の相談に繋げる。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
①6か月乳児相談受診率 97% ②1歳6か月児健康診査受診率 98% ③3歳児健康診査受診率 97%	①95.6% ②99.2% ③98.2%	①95.6% ②97.3% ③96.8%	①97.1% ②98.7% ③97.5%	

DO（実施）

R1年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 （添付書類 無 ）

内容	回数	参加者数（男女別）
①受診率：6か月乳児相談93.1%、1歳6か月児健診99.8%、3歳児健診96.7% 受診勧奨、精密検査連絡票発行者数：6か月乳児相談2件、1歳6か月児健診24件、3歳児健診延べ91件(令和2年2月末現在) ②発達の遅れにある児に対しては、健診時の心理相談へつなげたり、子育て支援課で実施している親子遊びの教室等を案内し、子どもの特性に合わせた関わりができるように支援した。 ③育児不安等については、電話や訪問等で保健師等が対応したり、関係機関の相談事業に繋げ、不安の軽減に努めた。また、パートナーとの関係に悩んでいる方については子育て支援課の相談に繋げる等した。	①各11回	

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
①6か月乳児相談受診率 93.1% ②1歳6か月児健康診査受診率 99.8% ③3歳児健康診査受診率 96.7%	①95% ②97% ③95%	①95% ②97% ③95%	①95% ②97% ③95%	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
5,459		5,357	5,132

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 1歳6か月児健康診査については数値目標を達成できた。6か月乳児相談、3歳児健康診査については新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、数値目標を達成することができなかったが、未受診者については訪問等で全数把握できている。また、夫婦で協力して育児ができるように各種健診を通じて働きかけた。

（課題・問題点） 6か月乳児相談、3歳児健康診査について数値目標を達成できるよう受診勧奨に努める。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

各種健診については、電話や訪問等による受診勧奨を行い、高い受診率を維持できるように努める。健診時に父親の来所も増えているため、夫婦で協力して育児ができるように働きかけ、必要に応じて関係機関の相談に繋げる。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 概ね数値目標を達成している。

（課題・問題点） 未受診者に対し積極的に受診勧奨し、高い受診率を維持できるよう努められたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	3
(d)適切な数値目標が提示されているか	3

【項目評価基準】

4…十分達成している	【90%以上】
3…概ね達成されている	【70%以上】
2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

・概ね数値目標を達成している。
・災害やコロナ禍で育児相談、健診未受診者の全数把握等努力されている。
・新型コロナウイルスの影響の記述があるのは良い。PDCAに活かしてほしい。

改善策等の提言

・数値目標は100%にするべきではないか。受診の際の父親の同行割合等を把握し、夫婦で協力して育児ができるきっかけづくりができると良い。
・電話や訪問は、回数を増やし継続してほしい。

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	35	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進
事業名	子ども・子育て支援事業計画の推進	主要課題	Ⅳ－１ 家庭における男女共同参画
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅳ－1(2)子育て支援の充実

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定） ※H30年度報告書より再掲

子ども・子育て審議会の意見を聞きながら、第2期茂原市子ども・子育て支援事業計画を策定する。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

「未来に輝く子どもたち みんなで育てるまち もばら」の基本理念をもとに、幼児期の学校教育・保育の充実及び地域子ども・子育て支援事業の充実に加え、「長生郡市次世代育成支援対策地域行動計画 」で掲げてきた各施策について、4つの基本目標を掲げ推進していく。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画） **※箇条書きで具体的に記入**

①子ども・子育て審議会にて、子ども・子育て支援事業計画の進捗状況を報告する。
②子ども・子育て審議会を適宜開催して、第2期茂原市子ども・子育て支援事業計画を策定する。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
①茂原市子ども・子育て審議会の開催（年5回） ②ニーズ調査の回収率 83%（H30年度のみ実施）			①年5回 ②80%以上	

DO（実施）

R1年度の実施結果 **※箇条書きで具体的に記入** （添付書類 無 ）

内容	回数	参加者数（男女別）
・第1回審議会 令和元年年6月25日開催 出席委員12名 ・第2回審議会 令和元年7月25日開催 出席委員11名 ・第3回審議会 令和元年8月22日開催 出席委員11名 ・第4回審議会 令和元年9月26日開催 出席委員11名 ・第5回審議会 令和元年11月12日開催 出席委員14名 ・第6回審議会 令和2年2月6日開催 出席委員10名	計6回	第1回12人（男3人、女9人）、第2回11人（男5人、女6人）、第3回11人（男4人、女7人）、第4回11人（男4人、女7人）、第5回14人（男6人、女8人）、第6回10人（男4人、女6人）

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
茂原市子ども・子育て審議会の開催 目標：年5回 成果：年6回			①年2回 ②83%	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
3,064		355,200	405,000

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 適宜、子ども・子育て審議会を開催して、遅滞なく第2期茂原市子ども・子育て支援事業計画を策定することができた。

（課題・問題点） 各事業の評価方法及び評価基準の検討。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

第2期茂原市子ども・子育て支援事業計画に基づき、各事業の推進を図る。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 担当課に同じ。

（課題・問題点） 「子ども・子育て支援事業計画」に定められている個々の事業については他のシートで評価しているので、「計画」の推進について評価する必要はないのではないか。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	3
(d)適切な数値目標が提示されているか	3

【項目評価基準】

4…十分達成している	【90%以上】
3…概ね達成されている	【70%以上】
2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

・審議会の開催回数は十分数値目標に達している。
・子ども・子育て審議会を開催し、遅滞なく第2期茂原市子ども・子育て支援事業計画を策定できている。

改善策等の提言

・審議会を開催した事実よりも、どれだけ男女共同参画の視点を取り込めたか、どのような努力をしたかという考え方が必要。

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	36	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進
事業名	子育て支援に関する情報提供	主要課題	Ⅳ－１ 家庭における男女共同参画
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅳ－1(2)子育て支援の充実

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定） ※H30年度報告書より再掲

もばらで子育てガイドブックを中心に、子育て支援に関する情報提供を実施する。また、相談員による家庭訪問を積極的に行う。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

男女が協力して子育てできるよう子育てガイドブックの配布、ブックスタートの充実、市公式ウェブサイトの活用による子育て支援に関する情報提供に努める。また、育児や養育に関する不安や、仕事と子育ての両立における問題を解消できるよう、こんにちは赤ちゃん訪問や家庭相談員による家庭訪問等で対応していく。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(31)「もばらで子育てガイドブック」の配布数 10,000部以上（年2,000部以上）
~~(32) ブックスタート手渡し率 100%~~ ※H29年度より保健センターで手渡ししているため

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画） ※箇条書きで具体的に記入

①ガイドブックについて、昨年度に引き続き、官民協働発行事業によりフルカラー印刷で発行する。
②冊子だけでなく、ウェブサイト、スマートフォンでも読めるようなサービスを提供する。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(31)「もばらで子育てガイドブック」の配布数 2,500部	(31)2,000部	(31)2000部	(31)2,500部	

DO（実施）

R1年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 （添付書類 無 ）

内容	回数	参加者数（男女別）
・前年度の修正作業を基に「もばらで子育てガイドブック2019」を発行し、子育て支援課や関係部署の窓口にて配布。また、2020版発行に向けて広告掲載企業の募集や掲載内容の見直し作業を進めた。 ・子育て相談や養育支援訪問、乳児家庭訪問を行い、保育士等から適切に情報提供を行った。	・配布冊数2,500冊 ・子育て相談20回 ・養育支援訪問189回 ・乳児訪問433件	・子育て相談83人（男9人、女74人） ・養育支援24人（全員女性） ・乳児訪問 内訳不明だが大部分が女性

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(31)「もばらで子育てガイドブック」の配布数 2,500部	(31)2,000部	(31)2,500部	(31)2,500部	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
0		0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 当初の計画通りガイドブックの発行、各種相談等を実施することができた。

（課題・問題点） 相談や訪問等はスタッフや受入側も女性に偏りがちになる。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

・「もばらで子育てガイドブック2020」の発行、配布
・各種相談・訪問業務の実施

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 計画通り実施されている。

（課題・問題点） 「もばらで子育てガイドブック」については、更なる内容の充実を図られたい。家庭訪問は子育て支援、養育支援に有効な取り組みであるため、引き続き積極的に実施されたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	4
(d)適切な数値目標が提示されているか	4

【項目評価基準】

4…十分達成している	【90%以上】
3…概ね達成されている	【70%以上】
2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

・計画通り実施されている。
・冊子の配布だけでなく、市公式ウェブサイトから項目別にダウンロードできるようになっており、利活用しやすくなっている。
・ブックスタートは良い試みなので続けてほしい。「もばら子育てハンドブック」も見やすく工夫されている。

改善策等の提言

・相談や訪問等、受入れ側は女性に偏りがちとあるが、なるべく両親のいる場合は別々でもよいので双方と話し合ってもらいたい。
・「もばらで子育てガイドブック」の中に、男性の子育て参加に関する情報を含めてほしい。
・家庭訪問による情報提供はこれからも続けてほしい。

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	37	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進
事業名	子育てに関する相談業務の充実	主要課題	Ⅳ－１ 家庭における男女共同参画
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅳ－1(2)子育て支援の充実

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定） ※H30年度報告書より再掲

引き続き、関係機関との連携・情報共有を密にし、児童虐待対応並びに相談業務の充実を図る。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

夫婦の子育て不安や孤立感を解消できるよう、広報もばらや市公式ウェブサイトを活用して相談事業の周知を図るとともに、子育て支援課（子育て家庭相談室）及び保育所、幼稚園、保健センター等の身近な施設において、育児・子育てに関する相談に対応する。児童虐待等の専門的な内容や困難事例については、要保護児童対策地域協議会を構成する関係機関と連携を図りながら対応する。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画） **※箇条書きで具体的に記入**

①実務者会議を開催（年6回）し、関係機関との情報共有、連携強化を図る。
②電話や窓口だけでなく、家庭内や公共施設等を活用した訪問相談を行う。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
①代表者会議 （5ヶ年で5回以上） ②実務者会議 （5ヶ年で30回以上） ③個別支援会議 （5ヶ年で250回以上）			①年1回 ②年6回 ③年50回	

DO（実施）

R1年度の実施結果 **※箇条書きで具体的に記入** （添付書類 無 ）

内容	回数	参加者数（男女別）
①代表者会議 ②実務者会議 ③個別支援会議	①1回 ②5回 ③67回	①20人（男15人、女5人） ②94人（男40人、女54人） ③543人（男175人、女368人）

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
①代表者会議 年1回 ②実務者会議 年5回 ③個別支援会議 年67回			①年1回 ②年6回 ③年52回	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
73		57	73

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 代表者会議、実務者会議、実務者会議の定期開催の他に必要に応じ個別支援会議を開催し、関係機関との連携、情報共有、並びに役割分担を決め児童虐待の対応を図った。

（課題・問題点） 実務者会議において進行管理する児童数の増加に伴い、事例検討に長時間を要すること。相談体制の充実に向けた専門的知識を持った人員の配置。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

引き続き、関係機関との連携・情報共有を密にし、児童虐待対応並びに相談業務の充実を図る。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 担当課に同じ。

（課題・問題点） 引き続き、関係機関と連携・情報共有し、相談業務の充実を図られたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	3
(d)適切な数値目標が提示されているか	3

【項目評価基準】

4…十分達成している	【90%以上】
3…概ね達成されている	【70%以上】
2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

・計画通り実施できている。
・会議を開催し、関係機関との連携、情報共有、並びに役割分担を決め、児童虐待の対応を図っている。

改善策等の提言

・相談体制の充実に向けた専門的知識を持った人員の配置が必要不可欠。人員増強を早急に図られたい。
・各関係機関とより密に連携し事業を進めてほしい。
・市公式ウェブサイトを見て、相談者が一目でどこに行けばいいか分からない。相談者の立場でホームページを見直すべき。

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	38	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進
事業名	多様な働き方を支援するための保育サービスの拡充	主要課題	Ⅳ－１ 家庭における男女共同参画
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅳ－1(2)子育て支援の充実

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定） ※H30年度報告書より再掲

・病児・病後児保育については、引き続き既存施設での事業運営と、新規事業所の増設に向けた関係各所との検討を行う。
・ファミサポについてはさらなる周知広報を行い、会員数とマッチング件数の増加を目指す。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

子育てと仕事が両立できるように延長保育事業、一時預かり事業、病児・病後児保育 事業の充実に努め、ファミリーサポートセンター の創設を視野に入れ、更なるサービスの充実に努める。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(33) 延長保育の実施時間を延長する保育所 1カ所
(34) 一時預かりを実施する保育所 1カ所
(35) 病児・病後児保育を実施する保育所の追加 1カ所

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画） **※箇条書きで具体的に記入**

・病児病後児保育・・・新規事業所開設に向けて引き続き長生病院等と具体的協議
・ファミサポ・・・おめでとう赤ちゃんセットにチラシを折り込む等し、さらなるPR・会員確保を進める

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(33) 延長保育の実施時間を延長する保育所 1カ所 (34) 一時預かりを実施する保育所 1カ所 (35) 病児・病後児保育を実施する保育所の追加 1カ所	(33)1カ所 (34)1カ所 (35)1カ所	(33)1カ所 (34)1カ所 (35)1カ所	(33)1カ所 (34)1カ所 (35)1カ所	

DO（実施）

R1年度の実施結果 **※箇条書きで具体的に記入** （添付書類 無 ）

内容	回数	参加者数（男女別）
・病児病後児保育については市外の施設と次年度の委託について協議し、市として正式に委託を開始することが決定。令和2年度からは、茂原市民の利用料も値下げされることとなった。		

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(33) 延長保育の実施時間を延長する保育所 1カ所 (34) 一時預かりを実施する保育所 1カ所 (35) 病児・病後児保育を実施する保育所の追加 0カ所	(33)1カ所 (34)2カ所 (35)1カ所	(33)1カ所 (34)3カ所 (35)1カ所	(33)1カ所 (34)4カ所 (35)0カ所	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
病：7,200 ファ：5,583		病：7,200 ファ：4,348	病：9,555 ファ：4,881

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）
☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）
☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 概ね計画どおりに各事業を実施したが病児保育については市内既存施設が撤退したため。（令和元年度限りで）

（課題・問題点） 取組の性質上、実施者が女性に偏る傾向がある。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

病児・病後児保育については、市内の施設整備のため具体的な検討を進める。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 担当課に同じ。

（課題・問題点） ファミリーサポートセンターについて、会員数とマッチング件数を示されたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	3
(d)適切な数値目標が提示されているか	3

【項目評価基準】

4…十分達成している	【90%以上】
3…概ね達成されている	【70%以上】
2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

・実施状況は概ね計画を達成している。
・延長保育、一時預かり保育、病児・病後保育の施設の数が少ない。

改善策等の提言

・ファミリーサポートセンターについて制度周知とマッチングに引き続き取り組まれたい。
・病児・病後児保育に関して、保育所に看護師、または養護教諭の配置検討を要望する。
・病児・病後児保育について、二カ所以上の委託先を確保できるよう検討されたい。
・病児・病後児保育に関して市外の施設に委託となっているが、市内で受けられるよう努力してほしい。

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	39（子）	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進
事業名	放課後等の子どもの居場所づくり	主要課題	Ⅳ－1　家庭における男女共同参画
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅳ－1(2)子育て支援の充実

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

・東部小学校区学童クラブの専用建物新設及び運営事業者の選定
・「本納小の本納中への移設」及び「二宮小と緑ヶ丘小の統合」に対応した学童施設整備に向けた準備

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

学童クラブでは、小学校に就学している児童であって、その保護者が就労等により昼間家庭にいないものに、授業の終了後等に児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る。また、夏休み子ども教室では、夏休み期間中、すべての子供を対象に、学校の余裕教室等を活用した安全・安心な居場所づくりと学習や地域住民との交流活動等の機会の提供を行う。これらの事業は、相互の連携に努めるとともに、放課後子どもプラン運営委員会で随時検証を行い、更なる充実を図る。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(36) 学童保育の開設場所　19カ所
(37) 学童保育の児童数　延べ3,075人（年615人）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

・R2年度の夏期学童拡大に向け、遊休公共施設の活用可能性の具体的検討を行う。
・「本納小の本納中への移設」及び「二宮小と緑ヶ丘小の統合」に対応した学童施設整備に向けた予算要求

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(36) 学童保育の開設場所　19カ所 (37) 学童保育の児童数　615人	(36)19カ所 (37)615人	(36)19カ所 (37)615人	(36)19カ所 (37)615人	

DO（実施）

R1年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
・東部小敷地内に専用建物の整備を進めた。（軟弱地盤の発覚により、追加工事を要することになり令和2年度へ繰越となった） ・二宮地区の小学校再編に対応した施設整備のため、次年度予算を要求し予算確保。		

	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(36) 学童保育の開設場所　19カ所 (37) 学童保育の児童数　610人	(36)19カ所 (37)558人	(36)19カ所 (37)570人	(36)19カ所 (37)612人	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
102,298		102,298	62,273

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 開設場所数、児童数ともに概ね目標を達成した。

（課題・問題点） 本納地区の学校再編に際しては、本納中敷地内での施設整備に向け具体的方針を打ち出せなかった。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

・繰越となった東部小敷地内専用施設の速やかな完成。
・本納地区の学校再編に対応した学童保育施設の具体的整備計画立案。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 数値目標は概ね達成しているが、当初の計画を達成していない事業も見受けられる。

（課題・問題点） 早めに計画を実行されたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	3
(d)適切な数値目標が提示されているか	3

【項目評価基準】

4…十分達成している	【90%以上】
3…概ね達成されている	【70%以上】
2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

・概ね目標を達成できているが、当初の計画を達成していない事業もある。

改善策等の提言

・待機児童の解消とともに老朽化した建物もあるため、学校内の移転等も検討されたい。
・次年度持ち越しになった施設整備について、計画通り実施されたい。
・With corona, after coronaのもとでより一層多様化する家庭や保護者の考え方、子供を守る危機管理の考え方に対応できる能力を持たなければいけない。

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	39（生）	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進
事業名	放課後等の子どもの居場所づくり	主要課題	Ⅳ－1 家庭における男女共同参画
課係名	生涯学習課	施策の方向	Ⅳ－1(2)子育て支援の充実

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定） ※H30年度報告書より再掲

夏休み子ども教室今年度に引き続き豊田小、緑ケ丘小、中の島小、鶴枝小、本納小、茂原小の6校で実施する。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

学童クラブでは、小学校に就学している児童であって、その保護者が就労等により昼間家庭にいないものに、授業の終了後等に児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る。また、夏休み子ども教室では、夏休み期間中、すべての子供を対象に、学校の余裕教室等を活用した安全・安心な居場所づくりと学習や地域住民との交流活動等の機会の提供を行う。これらの事業は、相互の連携に努めるとともに、放課後子どもプラン運営委員会で随時検証を行い、更なる充実を図る。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(38) 夏休み子ども教室開設場所 7カ所

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画） **※箇条書きで具体的に記入**

夏休み子ども教室を豊田小、緑ヶ丘小、鶴枝小、中の島小、茂原小、本納小の6校で実施する。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(38) 夏休み子ども教室開設場所 6カ所	(38)5カ所	(38)5カ所	(38)6カ所	

DO（実施）

R1年度の実施結果 **※箇条書きで具体的に記入** （添付書類 無 ）

内容	回数	参加者数（男女別）
①豊田小学校 7/22～7/24 9:30～11:30 ドローン・ラジコン体験、工作教室等 ②緑ケ丘小学校 7/29～7/31 9:30～11:30 紙飛行機教室、昔遊び体験等 ③中の島小学校 8/5～8/7 9:30～11:30 昔遊び、ネイチャークラフト等 ④鶴枝小学校 8/7～8/9 9:30～11:30 囲碁・英語教室、勾玉づくり体験等 ⑤本納小学校 8/19～8/21 9:30～11:30 工作教室、勾玉づくり体験等 ⑥茂原小学校 8/26～8/28 9:30～11:30 ボッチャ教室、ビルダーカード等	各会場3日間（計18日間）	①受入者数42人（申込者数73人）、延べ113名参加、②受入者数28人、延べ76名参加、③受入者数51人、延べ131名参加、④受入者数44人（申込者数60人）、延べ123名参加、⑤受入者数34人、延べ89名参加、⑥受入者数46人、延べ122名参加

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(38) 夏休み子ども教室開設場所 6カ所	(38)5カ所	(38)5カ所	(38)6カ所	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
379		303	379

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 定員（各会場40人）を大きく超える申込が6カ所中3カ所であったが、可能な限り受け入れを拡大し、245人（延べ654人）の児童を受け入れ、児童の健全育成に寄与した。

（課題・問題点） 保護者から開催時間の拡大、受入人数の増大について要望があるが、会場となる学校及び教室を運営するコーディネーターとの調整が必要。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

今年度と同じく6カ所、各3日間、計18日間実施予定。内容については各地域コーディネーターと相談し決定する。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 保護者からの要望に応えられていない部分もあるが、数値目標は達成している。

（課題・問題点） 引き続き可能な限り児童を受け入れ、児童の健全育成に努められたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	3
(d)適切な数値目標が提示されているか	3

【項目評価基準】

4…十分達成している	【90%以上】
3…概ね達成されている	【70%以上】
2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

・目標を達成できている。
・開催時間の拡大、受入れ人数の増大など、保護者からの要望に応えられていない部分もある。

改善策等の提言

・開設場所と開催日数を増やしてもらいたい。開催時間をせめて午前中(8:30−11:30)にできないか検討してもらいたい。
・コーディネーター等、人材確保に努められたい。
・地域にはいろいろな特技を持つ住民が多くいるはず。人材を引き出し活用すべき。

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	40（子）	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進
事業名	公立幼稚園・保育所における子育て支援と地域開放の充実	主要課題	Ⅳ－１ 家庭における男女共同参画
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅳ－1(2)子育て支援の充実

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定） ※H30年度報告書より再掲

各保育所において、育児・子育てに関する相談、園庭の開放及び公開保育を実施する。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

少子化への対応を進めるため、幼稚園及び保育所機能を生かした子育て支援事業を実施するとともに、家庭のあり方が変化する中での子育てと仕事の両立を支援するため、保護者の立場に立った子育て支援を行う。各幼稚園で「子育てふれあい広場」を年間を通じて実施する等、親同士の交流の場の提供、園庭開放、相談事業を実施するとともに預かり保育を実施する。各保育所において、園庭開放及び相談事業を実施する。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画） **※箇条書きで具体的に記入**

①公立保育所全園（9園）において、保育に関する相談及び園庭の開放を実施する。
保育に関する相談：随時実施
園庭開放：予約制、4月を除く平日10時～15時

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）

DO（実施）

R1年度の実施結果 **※箇条書きで具体的に記入** （添付書類 無 ）

内容	回数	参加者数（男女別）
5月～1月の園庭開放参加親子数（公立保育所9園の合計、2月以降分は未集計、また回数についても集計していない）		参加親子数：100組（性別集計せず）

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
0		0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A：十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B：ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☑ C：事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 目標としていた参加親子数100組を達成した。

（課題・問題点） 保育に関する相談については随時実施しているが、保育士は常に保護者等と相談しつつ保育を行っているため、回数をカウントするのが難しい。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

各保育所において、育児・子育てに関する相談、園庭の開放及び公開保育を実施する。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 数値目標を達成している。

（課題・問題点） 引き続き事業の充実を図られたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	3
(d)適切な数値目標が提示されているか	3

【項目評価基準】

4…十分達成している	【90%以上】
3…概ね達成されている	【70%以上】
2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

・数値目標を達成している。引き続き事業の充実を進めてほしい。
・公立保育園全園で行っており、評価できる。

改善策等の提言

・園庭解放や相談を実施していること、あまり周知されていないのではないか。父親の参加、認知度の向上に努めていただきたい。
・児童の保育と相談を両立させるため、予約制を取り入れて人数を把握するとともに、保育士の増員も検討されたい。

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	40（学）	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進
事業名	公立幼稚園・保育所における子育て支援と地域開放の充実	主要課題	Ⅳ－１ 家庭における男女共同参画
課係名	学校教育課	施策の方向	Ⅳ－1(2)子育て支援の充実

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定） ※H30年度報告書より再掲

公立幼稚園3園において、「子育てふれあい広場」、「預かり保育」等の子育て支援事業を、引き続き実施する。（中の島幼稚園が閉園のため、3園となる）

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

少子化への対応を進めるため、幼稚園及び保育所機能を生かした子育て支援事業を実施するとともに、家庭のあり方が変化する中での子育てと仕事の両立を支援するため、保護者の立場に立った子育て支援を行う。各幼稚園で「子育てふれあい広場」を年間を通じて実施する等、親同士の交流の場の提供、園庭開放、相談事業を実施するとともに預かり保育を実施する。各保育所において、園庭開放及び相談事業を実施する。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(39) 公立幼稚園における預かり保育の人数　1日6人～17人

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画） ※箇条書きで具体的に記入

①子育て支援事業「ふれあい広場」を各園で年間を通して定期的に実施。
②講演会の開催、園庭開放、相談事業の実施。
③預かり保育の実施。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(39) 公立幼稚園における預かり保育の人数　日20人	(39)1日20人	(39)1日20人	(39)1日20人	

DO（実施）

R1年度の実施結果 ※箇条書きで具体的に記入 （添付書類　無 ）

内容	回数	参加者数（男女別）
①「子育てふれあい広場」を開催 ②講演会 ③園庭開放（各園）、相談事業の実施 ④預かり保育の実施	①各園6回 ②3園で1回 ③週2～4回 ④3園実施	①417人：3園合計 ②78人：3園合計 ③53人：3園合計 ④1日2～25人：3園合計

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(39) 公立幼稚園における預かり保育の人数　1日2～25人	(39)1日16人	(39)1日20人	(39)1日19人	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
240		240	240

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 保護者や地域の様々なニーズに応えるため、各幼稚園において「子育てふれあい広場」、「預かり保育」などの子育て支援事業を実施することにより、開かれた幼稚園づくりの推進を図ることができた。

（課題・問題点）

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

公立幼稚園において、「子育てふれあい広場」、「預かり保育」などの子育て支援事業を、引き続き実施する。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 概ね計画通り進められている。

（課題・問題点） 十分な成果を上げられるように、課題・問題点を示されたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	3
(d)適切な数値目標が提示されているか	3

【項目評価基準】

4…十分達成している	【90%以上】
3…概ね達成されている	【70%以上】
2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

・概ね計画通り実施できている。
・数々の施策を並行して行うことは保護者にとってとても心強いことであり、評価できる。

改善策等の提言

・周知の徹底に努められたい。
・講演会は父親も参加できるよう工夫されたい。
・課題・問題点を記入してほしい。これからも開かれた幼稚園づくりを推進してほしい。

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	41	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進
事業名	高齢者の総合相談窓口の充実	主要課題	Ⅳ－１ 家庭における男女共同参画
課係名	高齢者支援課	施策の方向	Ⅳ－1(3)介護支援の充実

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定） ※H30年度報告書より再掲

地域包括支援センターの周知活動を継続して行い、地域包括支援センターで本人や家族からの相談に応じることで、介護支援の充実をはかり、ワークライフバランスの推進をはかる。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

高齢者にとって身近な相談窓口となる地域包括支援センターを日常生活圏域ごとに設置し、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員が中心となり、地域で暮らす高齢者を介護、福祉、健康、医療等、さまざまな面から総合的に支える。各地域住民へ、地域包括支援センターを広く周知し、相談窓口の充実に努める。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画） **※箇条書きで具体的に記入**

市内4カ所の委託型地域包括支援センターで、高齢者の総合相談を実施する。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
			5カ所	

DO（実施）

R1年度の実施結果 **※箇条書きで具体的に記入** （添付書類 無 ）

内容	回数	参加者数（男女別）
市内4カ所の委託型地域包括支援センターで高齢者や家族等からの相談に応じ、介護支援の充実、ワークライフバランスの推進をはかった。 【令和元年度延相談件数（H31.4.1～R2.1.31まで）】 ・茂原市みなみ地域包括支援センター：1,554件 ・茂原市ほんのう地域包括支援センター：730件 ・茂原市ちゅうおう地域包括支援センター1,458件 ・茂原市もばら地域包括支援センター1,117件 ・合計：4,859件		

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
			5カ所	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
91,812		91,812	92,724

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 市内4カ所の委託型地域包括支援センターで、高齢者や家族等からの相談に応じることで、介護支援の充実、ワークライフバランスの推進をはかることができた。

（課題・問題点） 地域包括支援センターという相談機関があることを知らない市民もいることから今後も周知活動を行う必要がある。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

引き続き、委託型地域包括支援センターで適切に高齢者や家族等からの相談に応じるとともに、自治会回覧等を通じて、地域包括支援センターの周知をはかることとしたい。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 昨年度より多くの相談を受けることで、ワーク・ライフ・バランスの推進を図ることができた。

（課題・問題点） 担当課も指摘の通り、地域包括支援センターの周知について今後も尽力されたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	3
(d)適切な数値目標が提示されているか	1

【項目評価基準】

4…十分達成している	【90%以上】
3…概ね達成されている	【70%以上】
2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

・数値目標は達成している。
・相談件数が増加しており、周知度が高まり、ワーク・ライフ・バランスの推進につながったと思われる。

改善策等の提言

・センターの人員を増やすことで、相談窓口の充実を図られたい。
・各地区の地域包括支援センターの周知は大切。これからもいろいろな手段で広めてほしい。
・アンケート等、受益者の声をシートに載せてほしい。
・各センターの前を通っても暗く、空き家にしか見えない。建物の周りに花などを植えるなど、明るいイメージにしてほしい。
・今後も要介護者とともに家族介護者に対する相談支援の強化に努められたい。
・相談件数の増加に対応できるよう、体制の検討も必要。

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	42	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進
事業名	認知症高齢者と家族等への支援の充実	主要課題	Ⅳ－1 家庭における男女共同参画
課係名	高齢者支援課	施策の方向	Ⅳ－1(3)介護支援の充実

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定） ※H30年度報告書より再掲

認知症サポーター養成講座の周知を徹底し、今まであまり関心のなかった年齢層に広げていく。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

認知症の方とその家族が住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援する「認知症サポーター」の養成を図ると同時に、サポーターとしての支援活動に賛同した方を「ほっとみまもり隊」に登録し、「ほっとみまもり運動」を実施していく。また、サポーター養成講座の講師になれる認知症キャラバン・メイトを増やし、地域での活動を広げる。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(40) 認知症サポーター養成講座受講者数　延べ2,000人以上（年400人以上）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画） **※箇条書きで具体的に記入**

①認知症サポーター養成講座の周知活動を行う。
②認知症サポーター養成講座の開催について、小学校へ依頼を行う。
③市内4つの日常生活圏域で認知症サポーター養成講座を開催する。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(40) 認知症サポーター養成講座受講者数　目標：年間400人	(40)400人	(40)400人	(40)400人	

DO（実施）

R1年度の実施結果 **※箇条書きで具体的に記入** （添付書類　無 ）

内容	回数	参加者数（男女別）
①認知症サポーター養成講座について広報やチラシを通じて周知活動を実施した。 ②認知症サポーター養成講座の開催について、小・中学校の校長会へ開催依頼を行い、2つの小学校で認知症サポーター養成講座を開催した。 ③市内4つの日常生活圏域で認知症サポーター養成講座を実施した。	②③11回	②③224人（男100人、女124人）

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(40) 認知症サポーター養成講座受講者数　224人	(40)568人	(40)226人	(40)242人	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
245		134	169

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 災害等の影響により中止となった講座もあり、数値目標の達成には至らなかったが、周知活動等の活動は計画どおり実施することができた。

（課題・問題点） 小・中学校での認知症サポーター養成講座の開催回数が少ないため今後も周知活動を行っていく必要がある。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

引き続き、認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して生活できるよう認知症サポーターの養成を幅広い年代で促していく。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 災害等の影響により中止となった講座もあり、数値目標の達成にはいたらなかったが、周知活動等の活動は計画どおり実施することができた。

（課題・問題点） 小・中学校での認知症サポーター養成講座の開催回数が少ないため今後も周知活動を行っていく必要がある。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	3
(d)適切な数値目標が提示されているか	3

【項目評価基準】

4…十分達成している	【90%以上】
3…概ね達成されている	【70%以上】
2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

・数値目標は達成できなかったが、小学校(2校)で講座を開催できたことを評価したい。
・認知症サポーター養成講座について、男性の参加者数と女性の参加者数に大きな差が無いことは良い。

改善策等の提言

・地域ごとに開催できるよう、地域包括支援センターとの連携も検討されたい。
・数値目標を、達成できる数値に見直す必要がある。
・認知症サポーターは、対象者の身近にいることが必要と思う。サポーター講座を各福祉センターで開催する方がよいのではないか。
・コロナ禍における養成講座の実施方法を検討されたい。

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	43	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進
事業名	市民へのワーク・ライフ・バランスの推進	主要課題	Ⅳ－２ 労働の場における男女共同参画
課係名	企画政策課	施策の方向	Ⅳ－2(1)ワーク・ライフ・バランス意識の浸透

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定） ※H30年度報告書より再掲

市公式ウェブサイトへの情報掲載やリーフレットの配布について、随時積極的に行う。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

関係機関と連携しワーク・ライフ・バランスについて、講演会や講座のテーマに取り入れ市民への意識啓発を図るとともに、広報・市公式ウェブサイト等を活用し、市民一人ひとりが人生の各段階に応じて多様な働き方の選択ができるよう情報提供を行う。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画） **※箇条書きで具体的に記入**

関係機関と連携しワーク・ライフ・バランスについて、講演会や講座のテーマに取り入れる。広報・市公式ウェブサイト等を活用し、ワーク・ライフ・バランスについて情報提供する。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
①ワーク・ライフ・バランスをテーマとした市民向けの講演会等の開催 年1回 ②広報・市公式ウェブサイト等を活用した情報提供 年1回			①年1回以上 ②年1回以上	

DO（実施）

R1年度の実施結果 **※箇条書きで具体的に記入** （添付書類 無 ）

内容	回数	参加者数（男女別）
①市民向けの講演会や講座については開催していない。 ②市公式ウェブサイトに「ワーク・ライフ・バランス」や「働き方改革」についての情報を掲載し、内容を更新している（企画政策課・商工観光課）	①0回 ②年1回	①0人 ②－

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
①ワーク・ライフ・バランスをテーマとした市民向けの講演会等の開催 年0回 ②広報・市公式ウェブサイト等を活用した情報提供 年1回			①年0回 ②年5回以上（随時）	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
0		0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

- ☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）
- ☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）
- ☑ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 数値目標を達成していない。

（課題・問題点） 講演会や講座については、ワーク・ライフ・バランスをテーマとした講演会単独の予算がなく、茂原市ハートフルフェスタ実行委員会が自由に企画するものであるため、毎年の開催は難しい。ワーク・ライフ・バランスについて市民の間で意識が高まっていることは今年度実施の意識調査からもうかがえるが、実現できるかどうかは職場の制度・雰囲気によるもの、また社会全体の意識・制度の問題でもあるので難しい。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

昨年度茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会から提言された、商工観光課や商工会議所と合同での講演会開催については、それぞれ市民向け、事業所向けと対象が異なるので実現は困難だが、それぞれが開催している講演会や講座については引き続き情報共有・周知や集客の協力をする。公共事業の入札時に企業の条件として労働環境を入れることについては管財課に提案する。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☑ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） ワーク・ライフ・バランスについての講演会や講座の開催がなく、数値目標を達成していない。

（課題・問題点） 問題点は、ワーク・ライフ・バランスについての講演会や講座を開催するための単独予算がないこと。予算のかからない開催方法など、工夫されたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	3
(d)適切な数値目標が提示されているか	2

【項目評価基準】

4…十分達成している	【90%以上】
3…概ね達成されている	【70%以上】
2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☑ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

・ワーク・ライフ・バランスをテーマとした市民向けの講演会や講座の開催がなく、数値目標を達成していない。

改善策等の提言

・開催に向けての検討は担当課だけでなく関係する課との連携を図り取り組まれたい。
・「ワーク・ライフ・バランス」や「働き方改革」について広報紙で情報提供するとともに、実際成果をあげている企業の紹介や表彰を行い、啓発を図られたい。
・予算がない中で、講演会開催を目標に取り入れるのは困難。適当なレベルの目標にする必要がある。

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	44	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進
事業名	事業所へのワーク･ライフ･バランスの推進	主要課題	Ⅳ－２ 労働の場における男女共同参画
課係名	商工観光課	施策の方向	Ⅳ－2(1)ワーク・ライフ・バランス意識の浸透

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定） ※H30年度報告書より再掲

「働き方改革」が重点施策となっていることから情報発信をさらに強化する。また、千葉県が取り組む「千葉働き方改革推進支援センター」や「社員いきいき！元気な会社宣言企業」（市内9社が登録）等の情報発信を強化する。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

関係機関と連携しワーク･ライフ･バランスについての意識啓発に努めるとともに、広報や市公式ウェブサイト等を活用し「県男女共同参画推進事業所表彰制度」の周知を行い、企業等の積極的な取り組みを促進する。
また、各事業所において長時間労働の是正や育児・介護休業取得率向上等の両立支援の取り組みが促進するよう啓発を実施する。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画） **※箇条書きで具体的に記入**

①千葉労働局等と連携し、ワークライフバランスや働き方改革等のセミナー開催等の情報やそれに取り組む企業の情報発信を市公式ウェブサイトや市及び商工会議所等関係団体の発行する広報誌への掲載及びパンフレット等の配付により、周知に努める。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）

DO（実施）

R1年度の実施結果 **※箇条書きで具体的に記入** （添付書類 無 ）

内容	回数	参加者数（男女別）
①市公式ウェブサイトに「働き方改革」や「ワークライフバランス」へのリンクの掲載、パンフレットの配架による情報発信を行った。		

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
0		0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

- ☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）
- ☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）
- ☑ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 国や県の施策の周知を市公式ウェブサイトにおいて、一元的に掲載した。

（課題・問題点） 国・県等の情報提供のみとなっている。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

「働き方改革」等国・県等の施策を市公式ウェブサイトを活用による情報提供や、市内の「社員いきいき！元気な会社宣言企業」（市内10社が登録）等の情報発信に努める。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☑ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 国や県の情報について、リンクを掲載するような情報発信の方法にとどまっている。

（課題・問題点） 市独自の施策や情報発信の方法等、工夫されたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	2
(d)適切な数値目標が提示されているか	－

【項目評価基準】

4…十分達成している	【90%以上】
3…概ね達成されている	【70%以上】
2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☑ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

・国・県等の情報の発信のみとなっており、市独自の施策がない。
・情報発信に工夫がない。

改善策等の提言

・市内に「社員いきいき！元気な会社宣言企業」が増えるよう、登録のメリットについてはロゴマークの活用だけでなく金利や保証割引なども市公式ウェブサイトに掲載されたい。
・市内でワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組んでいる企業を紹介したり、市独自の表彰制度等により意識を高められたい。
・数値目標を定める必要がある。

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	45	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進
事業名	市職員へのワーク･ライフ･バランスの推進	主要課題	Ⅳ－２ 労働の場における男女共同参画
課係名	職員課	施策の方向	Ⅳ－2(1)ワーク・ライフ・バランス意識の浸透

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定） ※H30年度報告書より再掲

平成30年7月公布の「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」により事業主は従業員に対して、時間外労働の上限規制を行うことになったことにより、職員の超過勤務及び在庁の状況並びに健康状態の把握に努める。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

市職員自らワーク･ライフ･バランスを実践できるよう、意識啓発を行うとともに、各種休暇・休業制度及び育児・介護休業制度が男女ともに偏りなく活用できるよう情報提供を行う。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画） **※箇条書きで具体的に記入**

①茂原市における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画に基づき、超過勤務の縮減を推進することで、職員一人ひとりが意欲的に仕事に取り組みながら、健康で豊かな生活のための時間を確保し、健康管理と公務能率の維持向上を図る。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
特定事業主行動計画の実施状況の公表 年1回			年1回以上	

DO（実施）

R1年度の実施結果 **※箇条書きで具体的に記入** （添付書類 無 ）

内容	回数	参加者数（男女別）
①特定事業主行動計画に基づき、女性活躍推進法に基づく女性の職業選択に資する情報及び実施状況を市公式ウェブサイトで公表した。 ②「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」で事業主は従業員に対して、時間外労働の上限規制を行うことになったことにより、職員の超過勤務及び健康状態の把握のために産業医等との面談を実施し、職員及び所属長に対して適切な指導をした。 ③各種休暇・休業制度及び育児・介護休業制度が男女ともに偏りなく活用できるよう情報提供を行うために、「茂原市職員子育てハンドブック」を作成し、必要な職員がいつでも閲覧できるように庁内システム電子書庫に掲載した。	①年1回	

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
特定事業主行動計画の実施状況の公表 年1回			年1回	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
0		0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

- ☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）
- ☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）
- ☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 男性職員の育児休業・部分休業への関心が高まり、休業制度等の周知のためにハンドブックを作成した。特定事業主行動計画の数値公表と併せ、性差なく仕事と子育ての両立ができるよう意識改革に努めた。

（課題・問題点） 「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」により超過勤務の多い職員に産業医等が面談を実施し、必要な指導をしているが、災害対応のため想定以上の超過勤務があった。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

ワーク･ライフ･バランスの実現にむけて、超過勤務時間の改善への意識改革が必要である。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）「茂原市職員子育てハンドブック」の作成は評価できるが、十分な周知が図られていないのでは。

（課題・問題点）「働き方改革」の実現には、意識改革だけでなく、十分な人員確保と適切な人員配置が必要。職員一人ひとりに超過勤務時間改善や育児休業・部分休業取得の意識はあっても、仕事量が多く結局自分自身にしわ寄せがきてしまうので、実現に至らない状況がある。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	3
(d)適切な数値目標が提示されているか	3

【項目評価基準】

4…十分達成している	【90%以上】
3…概ね達成されている	【70%以上】
2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

・「茂原市職員子育てハンドブック」の作成は評価できるが、十分な周知が図られていない。

改善策等の提言

・男性職員が育休を取得しやすい環境づくりにも取り組まれたい。
・計画には「ワーク・ライフ・バランス」の実践が含まれているため、それが反映されるような数値目標を考える必要がある。
・アンケートの実施や職員組合との協議を行い、提案を求めることが大切。
・市職員の年間休暇取得率や時間外労働時間について記載し、どの程度の改革ができているのか分かるようにしてほしい。

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	46	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進
事業名	農業における女性グループ活動の支援と女性起業の育成	主要課題	Ⅳ－２ 労働の場における男女共同参画
課係名	農政課	施策の方向	Ⅳ－2(4)農業・自営業等における男女共同参画の促進

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定） ※H30年度報告書より再掲

県や麦の会と連携をとり、女性農業者や女性起業者の育成を推進していく。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

女性農業者グループ「麦の会」が郷土料理や地元農産物をPRすることにより、地産地消や食育への取組みを促進する。女性農業者に県主催の起業講座や研修会を通して知識や技術を向上してもらい女性起業者を育成するとともに、6次産業の補助金制度等の情報提供により女性の起業を推進する。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(41) 女性の農業起業者数 5人以上

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画） **※箇条書きで具体的に記入**

①「もばらふるさと塾」において市内で活躍している農業者や「麦の会」と交流したり直売所に行くことで農業や企業に対する意識を高める。
②市内の女性農業者に各種講座や研修会に参加してもらうことで知識や技術の向上を図る。
③起業を目指す女性に対し6次産業の補助制度等の情報提供を行う。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(41) 女性の農業起業者数 年1人	(41)年1人	(41)年1人	(41)年1人	

DO（実施）

R1年度の実施結果 **※箇条書きで具体的に記入** （添付書類 無 ）

内容	回数	参加者数（男女別）
・「もばらふるさと塾」が、台風被害の影響により中止（10月上旬予定） ・「もばらふるさと塾」が、新型コロナウイルスの影響により中止（3月下旬予定）	0	男0 女0

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(41) 女性の農業起業者数 0人	(41)年1人	(41)年1人	(41)年1人	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
110		0	6

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☑ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 災害や新型コロナウイルスの影響により、事業がすべて中止になってしまった。

（課題・問題点） 女性農業者の活躍の必要性は理解されつつあるが、起業や6次産業化に関心のある女性人材の掘り起こしが難しい。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

県や麦の会と連携をとり、女性農業者や女性起業者の育成を推進していく。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☑ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 数値目標を達成していない。

（課題・問題点） 人材の掘り起こしや周知の方法の見直しをされたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	2
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	2
(d)適切な数値目標が提示されているか	2

【項目評価基準】

4…十分達成している	【90%以上】
3…概ね達成されている	【70%以上】
2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☑ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

・令和元年度は災害のため、数値目標を達成していない。

改善策等の提言

・農業に興味がある人もいるため、女性農業者や女性起業者の講演、話を聞く会を開催してみてはどうか。
・外部要因に左右されないようなプロモーションの方法を今後は含める必要がある。
・県が行う講座や補助金制度等の情報提供の場を市公式ウェブサイトや広報紙に掲載して、掘り起こしに前向きになってほしい。

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	47	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進
事業名	農業における家族経営協定締結の促進	主要課題	Ⅳ－２ 労働の場における男女共同参画
課係名	農政課	施策の方向	Ⅳ－2(4)農業・自営業等における男女共同参画の促進

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定） ※H30年度報告書より再掲

相談者とともに他の家族経営への説明を行う。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

農業経営について、特に夫婦の場合女性の役割や労働時間、労働報酬等の就業条件が曖昧になりやすいことから、経営方針や役割分担、働きやすい就業環境などについて家族間合意の上「家族経営協定」の締結を促進し、それぞれが主体的に経営に参画できる環境の整備及び農業経営の改善につなげていく。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(42) 家族経営協定の新規締結数 5件以上

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画） **※箇条書きで具体的に記入**

県と協力し認定農業者の更新時や新規就農者の認定時を中心に説明することで家族経営協定を推進する。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(42) 家族経営協定の新規締結数 年1件	(42)年1件	(42)年1件	(42)年1件	

DO（実施）

R1年度の実施結果 **※箇条書きで具体的に記入** （添付書類 無 ）

内容	回数	参加者数（男女別）
相談者がなかったため取り組めていない。	0	男0 女0

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(42) 家族経営協定の新規締結数 0件	(42)年1件	(42)年2件	(42)年0件	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
0		0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☑ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 対象家族の把握が難しく説明の機会をもてない。

（課題・問題点） 農家が協定の必要性・合理性を感じていない。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

相談者とともに他の家族経営への説明を行う。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☑ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 相談者がいたら受ける、のような受け身な取り組みにとどまり、説明や周知に関して積極的な取り組みができていない。

（課題・問題点） 家族経営協定の内容やメリットについて、より積極的に周知されたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	2
(d)適切な数値目標が提示されているか	2

【項目評価基準】

4…十分達成している	【90%以上】
3…概ね達成されている	【70%以上】
2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☑ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

・積極的な取り組みができていない。

改善策等の提言

・市公式ウェブサイトに家族経営協定のメリット等を掲載されたい。
・家族経営協定の内容やメリットについて、勧奨の機会をつくるなどの工夫をされたい。
・農家組合を通して必要性を調査してはどうか。
・JA長生の女性部に男女共同参画部会があるので、意見を聞いてみてはどうか。

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	48	基本目標	Ⅴ　男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	高齢者の自主活動への支援	主要課題	Ⅴ－1　安心して活動できる環境の整備
課係名	高齢者支援課	施策の方向	Ⅴ－1(1)高齢者・障害者施策の充実

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

・高齢者が増加するなか、会員数も増加するよう積極的な勧誘に努め、活発な活動を展開する。
・引き続き、市バスの予約を行い、送迎手段の確保に努める。
・各種行事を市公式ウェブサイトで紹介したり、積極的な取り組みを行う単位クラブを広報誌で紹介する等、新たな仲間づくりと各地域での活動の活発化を図る。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

各種スポーツや文化活動、友愛活動、社会奉仕等を通し、仲間づくりの中で、男女がともに楽しく健康に過ごし、社会に貢献することを目的とする長寿クラブ等の自主活動に対し支援を行い、活動の活性化を図る。また、地域で自主的に行われている健康づくり活動等と連携し、運動教室や介護予防教室等を開催することで、支援の一層の充実を図る。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(43) 茂原市長寿クラブ連合会の会員数　3,000人以上

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　※箇条書きで具体的に記入

定期総会（年1回）、幹部会及び運営委員会会議（毎月1回）、輪投げ大会（年2回）、文化芸能等の各種大会（年3回）、女性委員会及び若手委員会会議（月1回）、ペタンク・グラウンドゴルフのスポーツ活動（ほぼ毎月）、 市内12施設への友愛訪問（4月～6月）、長生地区総会（年1回）、長生地区会長会議（年2回）、長生地区運営委員会会議（年3回）、長生地区スポーツ実行委員会会議（年1回）、長生地区での各種大会等（年11回）、長生地区若手委員会会議（月1回）、県大会への参加（年5回）、市公式ウェブサイトに活動紹介や会員募集の掲載、広報紙の作成

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(43) 茂原市長寿クラブ連合会の会員数　目標　3,000人以上	(43) 年89人増	(43) 年86人増	(43) 年79人増	

DO（実施）

R1年度の実施結果　※箇条書きで具体的に記入　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①総会、②運営幹部会、③運営委員会、 ④輪投げ大会、⑤文化芸能等の各種大会、 ⑥女性委員会、⑦若手委員会、 ⑧ペタンク活動、⑨グラウンドゴルフ活動、 ⑩市内12老人福祉施設への友愛訪問（4月～6月）、 ⑪長生地区総会、⑫長生地区会長会議、⑬長生地区運営委員会、 ⑭長生地区スポーツ実行委員会会議、⑮長生地区各種大会、 ⑯長生地区若手委員会、⑰県大会への参加、 ⑱HPへの活動紹介や会員募集の掲載、会員募集のリーフレット作成配布	①1回、②12回、③11回、④2回、⑤3回、⑥11回、⑦11回、⑧8回、⑨8回、⑩11回、⑪1回、⑫1回、⑬3回、⑭1回、⑮5回、⑯8回、⑰3回	①68人（男51人、女17人）、②216人（男156人、女60人）、③561人（男330人、女231人）、④305人（男151人、女154人）、⑤1,092人、⑥女165人、⑦99人（男66人、女33人）、⑧480人（男240人、女240人）、⑨1,720人（男880人、女840人）、⑩340人

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(43) 茂原市長寿クラブ連合会の会員数　目標3,000人以上 成果　1,843人（4/1現在　1,871人　11/30時点　1,843人）	(43) 2,254人	(43) 2,201人	(43) 2,008人	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
2,031		2,031	2,113

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 各種活動が継続的に実施されている。

（課題・問題点） 会員数の減少が続いている。会員募集の取り組みの強化及び役員の後継者の育成が課題である。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

市バスの予約等により、活動支援を行う。
各種行事を市公式ウェブサイトや広報等で周知し、新たな仲間づくりと地域での活動の活発化を図る。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 担当課と同じ。

（課題・問題点） 各行事のさらなる周知に努められたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	49	基本目標	Ⅴ　男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	障害者（児）の地域生活支援の充実	主要課題	Ⅴ－１　安心して活動できる環境の整備
課係名	障害福祉課	施策の方向	Ⅴ－1(1)高齢者・障害者施策の充実

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

平成30年度と同様に取り組む。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

障害のある人もない人も共に暮らせる地域づくりという考えのもとに、障害者と介護者のための障害福祉サービスや地域生活支援事業を充実し、「介護は女性の役割」という社会通念を是正し、社会で支える介護の推進を図る。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

居宅介護、短期入所、同行援護、児童発達支援、放課後等デイサービス、日中一時支援、移動支援等の障害者総合支援法及び児童福祉法によるサービスを提供する。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）

DO（実施）

R1年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
H31年4月からR2年3月までの各サービスの総延利用者数　3,525人 〈内訳〉　（H30実績 2,719人） サービス名　延利用者数　実利用者数(実人/月) 居宅介護　770人　69実人/月（H30実績 787人、74実人/月） 短期入所　327人　31実人/月（H30実績 343人、33実人/月） 同行援護　106人　10実人/月（H30実績 88人、10実人/月） 児童発達支援　527人　50実人/月（H30実績 48実人/月） 放課後等ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ　1,155人　104実人/月（H30実績 1,043人、95実人/月） 日中一時支援　512人　40実人/月（H30実績 330人、31実人/月） 移動支援　128人　11実人/月（H30実績 128人、11実人/月）		

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
341,526		356,666	383,676

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

- ☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）
- ☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）
- ☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 個々のケースに応じて障害福祉サービス及び地域生活支援事業により適正な支援を実施することで支援体制を整え、社会で支えていくための介護の推進を図ることができた。

（課題・問題点）

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

令和元年度と同様に取り組む。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 担当課と同じ。

（課題・問題点） 引き続き、サービス情報の周知に努められたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	50	基本目標	Ⅴ　男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	障害者（児）の相談事業の充実および社会復帰の促進	主要課題	Ⅴ－１　安心して活動できる環境の整備
課係名	障害福祉課	施策の方向	Ⅴ－1(1)高齢者・障害者施策の充実

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

平成30年度と同様に取り組む。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

障害福祉サービスの利用に必要な情報の提供や助言、支援を行うとともに、地域生活支援センターと連携し、身体障害者相談員、知的障害者相談員および保健師等による全ての障害に対する相談支援体制の充実、社会復帰に向けての支援の促進を図る。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①障害者(児)の日常生活等の相談、各種福祉サービスの提供。
②長生地域生活支援センター、生活支援センターつくも、長生夷隅地域のくらしを支える会、障害者相談員、保健師等により、全ての障害(身体・知的・精神・児童)に対する電話・窓口相談や家庭訪問等の支援を実施。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）

DO（実施）

R1年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
平成31年4月から令和2年2月までの延相談件数 4,868人 （H30実績 4,734人） 〈内訳〉 長生地域生活支援センター　3,866人（H30実績 3,498人） 生活支援センターつくも　200人（H30実績 581人） 障害者相談員　248人（H30実績 420人） 保健師　554人（H30実績 605人）		

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
13,730		14,113	14,163

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）全ての障害に対する相談支援体制の充実を図るとともに、障害者(児)の家族等が抱えている悩みや問題を相談事業により整理することで、障害福祉サービス等の利用につなげ、社会全体で支える介護の推進を図ることができた。

（課題・問題点）

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

令和元年度と同様に取り組む。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 昨年度より多くの相談を受け、支援サービスを提供している。

（課題・問題点） 相談体制の周知や情報提供に努められたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	51	基本目標	Ⅴ　男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	精神保健相談の実施および社会復帰の支援	主要課題	Ⅴ－１　安心して活動できる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	Ⅴ－1(1)高齢者・障害者施策の充実

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

全庁的に自殺対策に取り組めるよう、ゲートキーパー養成講座の継続はもとより、自殺対策計画の見直しを行い、職員の理解や他機関との連携を深める。
ママのメンタルヘルス相談をこころの健康相談と統合し、全年齢層を対象に毎月相談日を設定する。（3月、8月、9月は強化月間として回数を増やす）

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

保健師による「健康相談」や各種健（検）診を通じて、精神疾患を持つ方をはじめとした自殺予防等のための相談を充実させるとともに、精神科病院・保健所等の各相談専門機関や専門家等との連携をはかり、こころの健康づくりの支援に努める。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　※箇条書きで具体的に記入

①職員向けゲートキーパー養成講座を実施し、様々な悩みを抱える市民へ適切に対応できるよう人材育成を行う。
②出前講座や、健康教室にてゲートキーパーやメンタルヘルスに関する健康教育を実施し、意識啓発を図る。
③精神保健福祉士による個別相談「こころの健康相談」を実施し、不安の軽減や適切な医療機関につなげる。
④乳幼児家庭訪問事業にて、産後うつに関するチラシ配布と保健指導を行い、知識の普及と早期対応を図る。
⑤職員健診、思春期健康教室においてメンタルヘルスに関するチラシを配布し、意識啓発を図る。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
①職員向けゲートキーパー養成講座　1回、50人 ②ゲートキーパーに関する出前講座、健康教室　2回 ③こころの健康相談　16回　64人 ④乳幼児家庭訪問事業にて、産後うつに関するチラシ配布と保健指導　500件 ⑤職員健診でのチラシ配布　650人、思春期健康教室でのチラシ配布　780人	①100人 ②5回	①50人×2回 ②7回	①50人 ②1回 ③6回24人 ④12回24人 ⑤550件 ⑥700人	

DO（実施）

R1年度の実施結果　※箇条書きで具体的に記入　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①職員向けゲートキーパー養成講座を実施し、悩むを抱えた住民や同僚へ適切な対応ができるよう人材育成した。 ②メンタルヘルスに関する健康教育を実施した。（住民向け健康教室、新人職員向け研修） ③精神保健福祉士等による「こころの健康相談」を実施し、様々な悩みの軽減のための助言・情報提供、医療機関等への受診勧奨、関係機関との連携を図り、適切な支援に繋げた。 ④乳幼児家庭訪問事業にて、産後うつに関するチラシ配布と保健指導を行った。489件 ⑤職員健診でのチラシ配布（468人）、思春期健康教室でのチラシ配布（271人）によりメンタ	①1回 ②2回 ③16回	①36人（男22人、女14人） ②56人（男13人、女43人） ③見込56人（男9人、女47人）

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
①職員向けゲートキーパー養成講座　36人 ②メンタルヘルスに関する出前講座　2回56人 ③こころの健康相談　16回56人（見込） ④乳幼児家庭訪問事業にて、産後うつに関するチラシ配布と保健指導　489人 ⑤職員健診におけるメンタルヘルスに関するチラシ配布　468人、思春期教室でのチラシ配布　271人	①45人 ②2回	①53人 ②0回	①36人 ②1回22人 ③8回10人 ④5回5人 ⑤396件 ⑥556人	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
433		375	480

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）　各事業について、滞りなく概ね実施できた。特に前年度参加者数が少なかった「こころの健康相談」については、参加者数が増え、不安を抱えた住民の支援に繋げられた。しかし、市内の自殺者数は依然と多く（平成31年暫定19名）、事業の見直しの必要性がある。
（課題・問題点）　こころの健康相談を継続するだけでなく、地域で活動する相談員の質の向上により、自殺危機にある人に寄り添える個別支援が必要である。さらに若い世代からのメンタルヘルスに関する啓発活動の強化や、より自殺リスクの高い生活困窮者に向けた健康相談も必要であるといえる。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

「こころの健康相談」を継続すると共に、思春期事業と連携し、学校と協働しながらメンタルヘルスに関する啓発活動を強化する。また、生活困窮者については、生活保護受給者を対象とした「自立支援者栄養健康相談」を通して、個別支援を行う。そして、相談事業にかかわる職員に対し、より専門的なゲートキーパー講習を行い、質の向上を図る。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 講座の開催回数や参加人数、相談人数等の数値成果が増加している。

（課題・問題点） 相談に行きやすい相談体制の整備及び周知に努められたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	52	基本目標	Ⅴ　男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	男女共同参画の視点を取り入れた防災対策の充実	主要課題	Ⅴ－１　安心して活動できる環境の整備
課係名	防災対策課	施策の方向	Ⅴ－1(2)防災・防犯における男女共同参画の促進

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

・地域防災訓練において、引き続き女性の参加を促す。
・市民への防災情報の提供について、防災マップと洪水ハザードマップの内容を統合し作成を行う。
・指定緊急避難場所・指定避難所の標識案内看板について引続き改修を行う。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

災害時の避難所における男女のニーズの違いを考慮し、女性や要配慮者に配慮した取り組みを進め、地域防災力の向上に努める。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　※箇条書きで具体的に記入

①地域防災訓練において、避難所の運営について啓発する。
②備蓄品の更新・拡充において要配慮者に必要な物品を考慮する。
③防災マップ及びハザードマップを統合し、わかりやすい情報提供を行う。
④災害時の円滑な避難のため、指定避難所・指定緊急避難場所の標識案内看板を改修する。（平成30・令和元年度）

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）

DO（実施）

R1年度の実施結果　※箇条書きで具体的に記入　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①地域防災訓練を開催した。 ②災害対応において、段ボールベッドやパーティションを活用した。 ③防災マップ及び洪水ハザードマップを千葉県が示す新たな洪水浸水想定区域と10月25日の大雨による浸水被害を掲載し内容を統合した。 ④市内19カ所の標識案内看板を夜間でも視認可能な蓄光看板に改修した。	①1回	①計228人（男128人、女81人、未記入19人）

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
12,563		17,124	10,722

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 地域防災訓練を開催し、多くの方の参加をいただいた。また、一連の災害において避難所等の対応を行った。

（課題・問題点） 一連の災害を受け、地域防災計画等の大幅な見直しが必要となった。また、避難所等の対応において、職員だけでは対応しきれないため、地域住民への協力を求めていくことが必要不可欠である。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

引き続き、住民参加型の地域防災訓練を開催し、地域防災力の向上に努める。また、女性用の要配慮者に対応した備蓄品の購入を行う。
あわせて、避難所の運営においても、女性の意見を取り入れることができるように体制づくりを行う。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 担当課と同じ。地域防災訓練を開催し、多くの方に参加してもらっている。

（課題・問題点） 避難所の運営等について、女性の参画が増えるよう、女性の視点の必要性等の周知に努められたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	53	基本目標	Ⅴ　男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	自主防災組織の育成	主要課題	Ⅴ－１　安心して活動できる環境の整備
課係名	防災対策課　※R1総務課より移管	施策の方向	Ⅴ－1(2)防災・防犯における男女共同参画の促進

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

災害時の避難所運営に女性の視点が重要であることを地域防災訓練や出前講座等のあらゆる場で引続き周知し、自主防災組織への女性の参画を促す。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

平常時および災害発生時に住民自らが被害を防止・軽減するために、地域全体の安全を守る活動を行う自主防災組織について、既存の自治会単位での設立を推進する中で、男性だけでなく女性の参画も促し、育成を図ります。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(44) 自主防災組織の新規設立 36団体以上

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①自主防災リーダー育成の研修会を開催する。
②既存の自主防災組織に対する資機材補助にあたり、女性の意見を取り入れるように促す。
③出前講座時に自主防災組織への女性の参加を促す。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(44) 自主防災組織の新規設立　5団体	(44)9団体	(44)9団体	(44)5団体	

DO（実施）

R1年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①リーダー研修会を開催した。 ②自主防災組織への資機材購入補助及び倉庫設置補助を行った。 ③出前講座への女性の参加を促した。	①1回 ②計13団体 ③申込16団体、実施8団体	①28人（全て男性） ③参加者合計600人（予定を含む）

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(44) 自主防災組織の新規設立　　1団体	(44)1団体	(44)7団体	(44)4団体	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
3,749		2,262	3,773

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 設立については1団体にとどまったものの、資機材の補助については13団体の申込があった。自主防災組織の情報交換を目的とした連絡会議や、リーダー育成研修会を開催し、地域防災力の向上に繋がった。

（課題・問題点） 自主防災組織の活動について、活動が行えていない組織の活性化が必要である。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

引き続き、自主防災組織の設立や活動の支援を行うとともに、女性が参画できるように出前講座等の機会を活用し周知していく。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） リーダー研修会の実施はしているが、結果として女性の参加がまだ少ない。

（課題・問題点） 女性が参加しやすい講座等の企画や、女性の視点の必要性の周知に努められたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	54（生）	基本目標	Ⅴ　男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	地域防犯体制の充実	主要課題	Ⅴ－1　安心して活動できる環境の整備
課係名	生活課	施策の方向	Ⅴ－1(2)防災・防犯における男女共同参画の促進

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

地域の防犯活動を男女が共に担い、参加を図るために、防犯組合、自治会と協力し、また広報や市公式ウェブサイト等で、より身近な防犯組織としての自主防犯団体の育成と結成を促進する。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

住民自らが「自分たちの住む地域の安全は自分たちで守る」という強い連帯意識で実施している地域防犯活動について支援を行い、男女がともに担うことにより、地域防犯力の向上を図る。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①自主防犯団体を育成し、活動の助成を行う。
②防犯組合、自治会等と協力し、自主防犯団体の結成を促進する。
③防犯パトロールを実施する。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）

DO（実施）

R1年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①自主防犯団体の活動把握、団体へ物資等の支給（35団体1,026人の活動保険加入、35団体（県補助対象）に物資（腕章、防犯キャップ）を支給した。 ②茂原市防犯組合へ補助金を交付し、活動の推進を図った。 ③防犯パトロールについても男女平等に機会を与え、参加を促した。	①支給物資：腕章92枚、キャップ93個、活動日（35団体）4,323日／年 ②210千円 ③135日／年	①1,026人（男747人、女279人） ③119人（男118人、女1人）

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
616		592	616

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）　市の犯罪認知件数は、昨年(673件)に比べ184件、約27%の減であった。活動時間の制約があり、犯罪認知件数の増減から効果を評価することは難しいが、各地域で各団体が活発な活動をしており、効果があったと考えられる。

（課題・問題点）　防犯活動という性格上、活動の中心が男性であるため、幅広い年代の男女の参画を促すことが課題である。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

地域の防犯活動を男女がともに担い参加を図るために、防犯組合、自治会と協力し、また広報や市公式ウェブサイト等で、より身近な防犯組織としての自主防犯団体の育成と結成を促進する。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 担当課と同じ。男女を問わず多くの市民の協力を得て、見守り活動等の実施ができている。

（課題・問題点） 女性も参加できる・しやすいよう、防犯活動の内容を工夫し、周知にも努められたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	54（学）	基本目標	Ⅴ　男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	地域防犯体制の充実	主要課題	Ⅴ－１　安心して活動できる環境の整備
課係名	学校教育課	施策の方向	Ⅴ－1(2)防災・防犯における男女共同参画の促進

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

H31年度においても、継続して同様の取り組みを実施する。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

住民自らが「自分たちの住む地域の安全は自分たちで守る」という強い連帯意識で実施している地域防犯活動について支援を行い、男女がともに担うことにより、地域防犯力の向上を図る。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①下校時間に地域で児童生徒を見守る「わん！だふるタイム」を周知。
②学校ボランティアに登録した方に対し、不測の事態に備え、学校支援ボランティア保険の加入。
③学校、家庭、地域連携により子どもの安全を守る。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）

DO（実施）

R1年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①月・金曜日の午後3時に防災無線での呼びかけ。（小中学校の休業期間を除く） ②市公式ウェブサイトでの啓発。 ③広報等での周知。		

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
158		158	130

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 男女を問わず、多くの市民の協力を得て、子どもたちの見守り活動が実施されている。犯罪の防止、抑止に有効な活動であると考えており、今後も継続して実施する。

（課題・問題点）「わん！だふるタイム」の放送時間帯以外でも、幅広い世帯の方々の参加が必要と考える。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

R2年度においても、継続して同様の取り組みを実施する。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 担当課と同じ。男女を問わず多くの市民の協力を得て、実施できている。

（課題・問題点） 色々な時間帯に実施し、より幅広い世代の方々に協力・参加してもらえるよう工夫されたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	55	基本目標	Ⅴ　男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	自らの健康を自ら管理する意識づくりについての啓発	主要課題	Ⅴ－２　健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	Ⅴ－2(1)生涯を通じた健康支援

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

各種検診について、市公式ウェブサイトや広報の他、自治会を通じて「各種検診のお知らせ」を毎戸配布する等周知に努めるとともに検診会場・市民健康講座・出前講座等においてのPR等、あらゆる機会を活用し健康についての意識啓発及び受診勧奨に取り組む。また、同時受診の拡充による利便性の向上及び未受診者への個別勧奨・再勧奨等により受診率の向上を図る。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

疾病の早期発見を目的とした各種検（健）診の受診勧奨と健康相談、健康教育等疾病予防に向けた保健事業を推進する。また、女性特有のがんの早期発見及び受診率が低い男性への啓発を図ることで、男女ともに生涯健康でいられる社会づくりに努める。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(45)がん検診の受診率　50%（国の目標）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　※箇条書きで具体的に記入

①肺がん検診　：45～69歳の前年未受診者で、過去5年以内に受診歴のある方に個別勧奨を実施。
②胃がん検診　：　〃
③大腸がん検診：　〃
④子宮がん検診：新規20歳及び25・30・32・34・36・38歳に無料クーポン券を配布。
25～50歳の29年未受診者で、27・25年に受診歴のある方に個別勧奨を実施。
未受診者への再勧奨を実施。
⑤乳がん検診　：新規40歳及び45・50・55・60歳に無料クーポン券を配布。
35～69歳の30年未受診者で、過去5年以内に受診歴のある方に個別勧奨を実施。
未受診者への再勧奨を実施。
⑥前立腺検診　：新規50歳の国保未加入者及び55～79歳の前年未受診者で、過去5年以内に受診歴のある方に個別勧奨を実施。
⑦肝炎ｳｲﾙｽ検診：対象者の年齢制限を撤廃。
国保未加入者で、40歳から75歳の5歳刻みの方を対象に個別勧奨を実施。
⑧骨粗鬆症検診：閉経時期を迎える40・45・50・55歳の方に個別勧奨を実施。
⑨特定健診及びがん検診会場にて、がん検診受診の受診勧奨及び申し込みブースを設置。
⑩「各種検診のお知らせ」の毎戸配布及び広報・Facebookでの周知。
⑪出前講座等を活用した普及啓発活動の実施。
⑫健康意識の向上を図るため、他課と連携した普及啓発活動を実施。
⑬国の推奨するリーフレットを活用した個別勧奨の実施。
⑭新たながん検診を追加（口腔がん検診）

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(45)がん検診の受診率　50%（国の目標）	(45)50%	(45)50%	(45)50%	

DO（実施）

R1年度の実施結果　※箇条書きで具体的に記入　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
上記取り組み計画のとおり実施		

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(45)がん検診の受診率　12.2% 肺がん　11.5%、胃がん　4.8%、大腸がん　9.5%、 子宮がん　14.4%、乳がん　20.6%	(45)10.3% 肺8.9% 胃5.2% 大腸10.1% 子宮6.6% 乳20.6%	(45)10.5% 肺10.1% 胃5.1% 大腸9.9% 子宮7.2% 乳20.4%	(45)11.0% 肺11.8% 胃5.2% 大腸10.2% 子宮7.4% 乳20.4%	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
98,980		97,889	97,113

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）　様々な機会・方法を活用して勧奨を実施し、各種検診に対する意識啓発及び受診勧奨に努めた。
（課題・問題点）　継続した受診に結びつけることが重要になる。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

各種検診について、市公式ウェブサイトや広報の他、自治会を通じて「各種検診のお知らせ」を毎戸配布する等周知に努めるとともに検診会場・市民健康講座・出前講座等においてのPR等、あらゆる機会を活用し健康についての意識啓発及び受診勧奨に取り組む。また、同時受診の拡充による利便性の向上及び未受診者への個別勧奨・再勧奨等により受診率の向上を図る。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 各種検診に対する意識啓発や受診の勧奨は行ったとあるが、受診率の上昇はあまり見られず、数値目標の達には至っていない。

（課題・問題点） 引き続き、受診の必要性の周知・啓発に努め、継続受診に結びつくよう努められたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	56	基本目標	Ⅴ　男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	人生の各段階に応じた健康相談と家庭訪問の実施	主要課題	Ⅴ－２　健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	Ⅴ－2(1)生涯を通じた健康支援

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

・育児パパおとこ塾は、夫の参加が多い、ママ・パパ教室に組み込み、多くの男性に受講してもらえるようにしていく。
・健幸フライデーは複数会場での実施や、若い人向けの企画、PR方法の検討を実施する。
・いきいきサロンについては、健康相談の充実をはかり、高齢者支援課と相談者の情報共有、支援へと繋げる。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

生涯健康に関して安心して過ごせるよう、妊娠期から高齢期の各々の状態に応じた健康相談や家庭訪問を行う。困難事例に対しては、他団体・他機関と連携をとり、支援する。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　※箇条書きで具体的に記入

①妊娠～出産までの一貫した母子保健サービスを助産師と連携し、妊娠中の保健指導、産婦の健康教育を行う。
②生涯を通じ、自己の健康を適切に管理・改善するために保健師、栄養士、歯科衛生士による健康教育・健康相談を行い、成人・高齢者の健康支援をしていく。
③電話・面接・家庭訪問を通じてあらゆる世代の人々の健康支援を行っていく。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）

DO（実施）

R1年度の実施結果　※箇条書きで具体的に記入　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①妊娠期から3歳児健診までは、地区担当保健師が一貫した支援が行えるように健診事業に加え訪問等で支援を行った。また、必要時関係機関と連携し、助産師との同行訪問も行った。 ②(1)助産師相談(2)ままのわ、ままのわミニセミナー(3)出前講座(4)いきいきサロン(5)健幸フライデー(6)思春期教室(7)定例栄養相談(8)定例歯科相談　以上の事業を実施し、各ライフステージに応じた専門職による健康支援を行った。 ③電話延1,350人（母子680、成人670）、面接延783人（母子494、成人289）、訪問延1,232人（母子850、成人382）実施。	②(1)年20回　(2)年15回　(3)17回　(4)年28回　(5)10回　(6)年7回　(7)年12回　(8)年12回	②(1)96人（全員女）　(2)280人（男15人女265人）　(3)508人　(4)643人　(5)延べ329人（男43人・女286人）　(6)708人　(7)179人　(8)52人

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
1,365	193	1,345	932

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 妊娠期から出産1年未満については各種相談事業や教室、訪問指導等を通してきめ細やかな支援ができた。思春期教室においては、今年度から小学校が1校増え、教育現場での性教育への関心の高さが伺うことができ、心身の安全と健康について意識付けができた。成人・高齢者については健幸フライデーで、ご当地体操や健康に関するミニ講話を実施し参加者数が増加している。いきいきサロンでは健康寿命の延伸のためフレイル予防の周知に力を入れ、必要に応じて訪問指導も実施した。
（課題・問題点） 妊娠期から子育て期にかけては、夫の育児参加を促進するため夫婦で参加できるセミナーを年2回開催しているが受講者数が伸び悩んでいるため、周知方法及び内容の工夫が必要である。健幸フライデーは参加メンバーが固定され新規メンバーが少ない傾向にあり、より多くの人に運動習慣の普及をするための工夫が必要である。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

・夫婦で参加できるセミナーについては企画及び周知方法の検討し実施する。
・思春期保健教室では、一貫した思春期教室の実施と、実施校を増やし、生徒たちへの相談先の周知を図る。
・健幸フライデーでは参加者が固定化しているため、参加者を入れ替え制にすることでより多くの人が参加できるようにし、地域での運動習慣普及に繋げる。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 多くの事業を実施し、ある程度の参加者数もある。

（課題・問題点） 男性や若者も参加しやすい事業内容の企画及び周知に努められたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	57	基本目標	Ⅴ　男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	市民参加の健康づくりの推進	主要課題	Ⅴ－２　健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	Ⅴ－2(1)生涯を通じた健康支援

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

3年任期の最終年度となるので、今までの活動の中で得た知識を市民により広く普及が行われるように支援していく。また、健康生活推進員がやりがいを見い出し、普及活動が自主的に実施できるように支援する。研修会年10回、普及活動22回を予定。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

市民が自主的に健康管理に努め、市民参加型の健康づくりを推進するため、地区組織である健康生活推進員の育成に努める。
健康生活推進員により、乳児から高齢者まで様々なライフステージを対象とした健康づくり料理教室、食育教室、運動教室、ウォーキング教室等を開催し、正しい健康知識の普及活動を積極的に行う。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(46) 健康教室等の開催回数　550回以上（年110回以上）
(47) 健康教室等の参加者数　延べ5,500人以上（年1,100人以上）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　※箇条書きで具体的に記入

①グー・パー食生活と運動習慣の定着で健康づくりを目標に研修会を実施し、健康生活推進員として必要な知識を身につける。（年10回）
（備考：健康生活推進員35人うち男性6人）
②中央研修会で学んだことをウォーキング教室等運動教室、各種料理教室で普及活動として行っていく。
③塩分測定家庭訪問等対話・訪問活動を積極的に行っていく。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(46) 健康教室等の開催回数　550回以上（年110回以上） (47) 健康教室等の参加者数　延べ5,500人以上（年1,100人以上）	(46) 年110回以上 (47) 年1,100人以上	(46) 年110回以上 (47) 年1,100人以上	(46) 年110回以上 (47) 年1,100人以上	

DO（実施）

R1年度の実施結果　※箇条書きで具体的に記入　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①市民がより健康で元気になるために生活習慣病の予防　～グー・パー食生活と運動習慣の定着で健康づくり～を目標に研修会を実施し、健康生活推進員としての知識を身につける研修会を実施。 ②普及活動としてウォーキング教室等運動教室および料理教室等料理教室を開催。 ③塩分測定家庭訪問等対話・訪問活動を実施し、健康に関する情報提供を幅広く行った。	①8回 ②20回 ③226回	①244人（男41人、女203人） ②308人（男77人、女231人） ③1446人（男399人、女1047人）

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(46) 健康教室等の開催回数　254回 (47) 健康教室等の参加者数　1,998人	(46)未回答 (47)未回答	(46)年141回 (47)年1,352人	(46)年151回 (47)年1,166人	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
630		630	630

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）　年間を通して積極的に健康づくりに関する知識の普及に取り組んだ。また、今年度は料理教室とウォーキング教室を3回1コースで行なう試みを実施し、食生活改善と運動習慣の定着の取り組みを一体的に行うことができた。

（課題・問題点）　若者や働き世代に働きかけができていないので、若者や働き世代にどのように働きかけをしていくかが課題である。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

3年任期の初年度なので、健康生活推進員活動に必要な知識と技術の習得ができるよう支援していく。また、健康生活推進員の活動意義を見い出せるよう、健康生活推進員相互の親睦を図りながら、健康生活推進員活動が自主性をもって積極的に行われるよう支援をしていく。研修会10回、普及活動22回を予定。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 開催回数と参加者数が増加している。

（課題・問題点） より幅広い世代が参加してくれるよう、事業内容の工夫や、参加が少ない世代への周知に努められたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	58	基本目標	Ⅴ　男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	スポーツを通じての健康増進	主要課題	Ⅴ－２　健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	体育課　体育振興係	施策の方向	Ⅴ－2(1)生涯を通じた健康支援

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

H30度に引続き市民のニーズに沿うような各種スポーツ教室・市民体育祭やみんなでラジオ体操会＆ファミリースポーツまつり、タッチバレーボール大会等を開催する。なお、幅広い年齢層の男女に均等に参加していただけるよう、主催教室の選定や市民体育祭等は各種団体と連携を図り、情報提供に努めたい。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

生涯スポーツの観点に立ち、市民誰もが参加できるスポーツ・レクリエーションの普及に努める。また、市民がスポーツによる楽しさや爽快感と市民相互の連帯感の醸成等の精神的充足感を得ることができるよう、事業の充実に努める。開催にあたっては、土日や夜間に開催する等、男女がともに参加する機会の確保に努める。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(48) スポーツ・レクリエーション教室等の開催回数　700回以上（年140回以上）
(49) スポーツ・レクリエーション教室等の参加者数　延40,000人以上（年8,000人以上）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　※箇条書きで具体的に記入

①各種スポーツイベントを開催し、年齢・性別を問わず誰もが気軽にスポーツに触れる機会を提供する。また、広報・市公式ウェブサイト・Facebook・民間情報誌等を活用し、より多くの市民に情報提供を行う。
②スポーツ推進計画に基づき、関係部署と綿密な連携を図り市民1人1スポーツを目指す。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(48) スポーツ・レクリエーション教室等の開催回数 140回以上 (49) スポーツ・レクリエーション教室等の参加者数 8,000人以上	(48) 140回以上 (49) 8,000人以上	(48) 140回以上 (49) 8,000人以上	(48) 140回以上 (49) 8,000人以上	

DO（実施）

R1年度の実施結果　※箇条書きで具体的に記入　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①各種スポーツ教室：ジュニアバレーボール教室（12月15日（日）142人（男1人、女141人）、太極拳教室（火曜日：前期8回・後期5回）417人（男11、女60）、ヨーガ教室（金曜日：前後期各8回）1,736人（男15人、女202人）、美と健康づくり体操教室（木曜日：前後期各8回）304人（男0人、女38人）、エアロビクスダンス教室（月曜日：計8回）136人（男0人、女17人）、健康トレーニング教室（金曜日：計5回）60人（男0人、女12人）、エンジョイスポーツ（日曜夜間：計11回）762人（男328人、女434人）、市民体育祭（8月19日～11月30日）23競技、実施3,268人（男女参加比：およそ6対4）、みんなでラジオ体操会＆ファミリースポーツまつり（6月16日（日））284人、（男女参加比：およそ4対6） ②スポーツもばら(広報もばら内）年2回掲載。各種事業の開催・中止に際しては、市公式ウェブサイトまた民間情報誌等を活用し、より多くの市民に情報提供した。また、スポーツ情報掲示板の市民体育館および市役所への設置により、茂原市のスポーツ情報を発信した。		

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(48) スポーツ・レクリエーション教室等の開催回数　94回 (49) スポーツ・レクリエーション教室等の参加者数　7,109人	(48)128回 (49)9,679人	(48)120回 (49)10,686人	(48)115回 (49)10,339人	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
8,568		7,761	7,306

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠）　開催日を土日や夜間にすることで参加者が増加したことについて、評価できる。

（課題・問題点）　子育て中の男女ともに気軽に参加でき、家族で楽しめるイベント・教室の開催が課題である。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

実施拠点である市民体育館が大規模改修工事による閉館に伴う事業の一部に中止もあるが、屋外や代替会場での開催等を検討し、次期続き事業促進を図っていく。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☑ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） H29より予算が削減され、事業の実施回数は減ってしまったが、限られた予算の中で多くの事業を開催している。

（課題・問題点） 担当課と同じ。男女ともに気軽に参加でき、家族で楽しめるイベントの企画・周知に努められたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	59	基本目標	Ⅴ　男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	勤労妊婦の母性健康管理対策の推進	主要課題	Ⅴ－２　健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	Ⅴ－2⑵安心して妊娠・出産できる環境づくり

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

平成30年度と同様に母子健康手帳発行時に保健師が面接し、健康状態や就労状況等を確認しながら、妊娠・出産による不利益な扱いを受けることがないように支援していく。また、ママ・パパ教室等を通して、妊婦だけでなく家族にも勤労女性の権利について講話し、産後も働きながら子育てしやすい環境づくりに取り組む。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

妊娠、出産を理由とする不利益取り扱いを受けることのないよう、妊娠届出時、ママ・パパ教室、家庭訪問等においてリーフレットの配布と説明、相談先の周知をはかる。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

(50) 母性健康管理指導事項連絡カードの対象妊婦への認知率　100%

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①妊娠届出時で就労妊婦に対し、「母性健康管理指導事項連絡カード」の説明及び「働きながら安心して妊娠・出産を迎えるために」のリーフレットを配布する。
②各種事業（ままのわ、助産師相談、ママ・パパ教室、家庭訪問等）において相談先の周知をはかる。

R1年度の数値目標	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(50) 母性健康管理指導事項連絡カードの対象妊婦への認知率 100%	認知率 100%	認知率 100%	認知率 100%	

DO（実施）

R1年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①妊娠届出時面接にて、「母性健康管理指導事項連絡カード」の利用について説明、「働きながら安心して妊娠・出産を迎えるために」のリーフレットを配布した。 ②各種事業（助産師相談、ママ・パパ教室、家庭訪問等）において相談先の周知を行った。		3月末予定460人（母子健康手帳発行数参考）

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
(50) 母性健康管理指導事項連絡カードの対象妊婦への認知率：100%	認知率 100%	認知率 100%	認知率 100%	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
0		0	0

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 母子健康手帳発行時の面接では、妊婦に母性健康管理指導事項カードの紹介や母体保護法等の説明を行った。また、相談者に合わせた相談を行うことが出来た。

（課題・問題点） 平成30年度からの母子健康手帳には母性健康管理指導カードが掲載されておらず、別途リーフレットにて周知を図った。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

令和元年度同様に、母子健康手帳発行時に保健師・助産師が面接し、健康状態や就労状況等を確認しながら、妊娠・出産による不利益な扱いを受けることがないように支援していく。また、ママ・パパ教室を通して、妊婦だけでなく家族にも勤労女性の権利について講話し、産後も働きながら子育てしやすい環境づくりに取り組む。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 数値目標を達成している。

（課題・問題点） 母性健康管理指導事項連絡カードの妊婦への周知以外にも、職場や家族への理解促進等、職場で働き続けることができる環境づくりへの働きかけを工夫されたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言

茂原市男女共同参画計画（第3次）に係る事業評価シート

事業No.	60	基本目標	Ⅴ　男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	安心して妊娠・出産するための支援	主要課題	Ⅴ－２　健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	Ⅴ－2⑵安心して妊娠・出産できる環境づくり

ACT（改善）

H30年度末における次年度における取り組み（予定）　※H30年度報告書より再掲

引き続き助成対象となる夫婦に対して正確な情報を提供することに努める。

PLAN（計画）

第3次計画に定められた具体的取り組み計画

子どもを産み育てたいという希望を持ちながら子どもが出来ない夫婦に対し、特定不妊治療等に要する費用の一部を助成することにより当該夫婦の経済的負担軽減を図り、安心して妊娠・出産ができるよう支援する。

第3次計画に定められた数値目標（第3次計画実施期間5ヶ年（H28年度～R2年度）における目標）

R1年度の具体的取り組み計画（年度当初計画）　**※箇条書きで具体的に記入**

①特定不妊治療費から「千葉県特定不妊治療費助成事業による助成額」を差し引いた金額について、10万円を上限として助成する。
②男性不妊治療（精巣内精子回収術等）を必要とする方について、治療費から「千葉県特定不妊治療費助成事業による助成額」を差し引いた金額について、10万円を上限として助成する。
③男性不妊検査に係る費用を1万円を上限として助成する。

R1年度の数値目標		H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
①特定不妊治療費助成決定件数	25件	①40件	①30件	①30件	
②男性不妊治療（精巣内精子回収術等）助成決定件数	2件	②2件	②1件	②1件	
③男性不妊検査助成決定件数	1件	③5件	③2件	③2件	

DO（実施）

R1年度の実施結果　**※箇条書きで具体的に記入**　（添付書類　無　）

内容	回数	参加者数（男女別）
①特定不妊治療費助成：30件(令和2年2月末助成決定件数) ②男性不妊治療助成（精巣内精子回収術等）：0件（令和2年2月末助成決定件数） ③男性不妊検査助成：6件(令和2年2月末助成決定件数) ④広報もばら、市公式ウェブサイトにて制度の周知を行った。また、県の助成窓口である長生健康福祉センター（保健所）にチラシの設置を依頼した。		

R1年度の数値成果	H28（参考）	H29（参考）	H30（参考）	R2（参考）
①特定不妊治療費助成決定件数　30件	①30件	①31件	①28件	
②男性不妊治療（精巣内精子回収術等）助成決定件数　0件	②0件	②0件	②0件	
③男性不妊検査助成決定件数　6件	③2件	③4件	③2件	

R1予算額（千円）	R1予算額（再掲の場合）	R1決算見込額	R2予算額
2,620		3,057	2,620

CHECK（評価）

【1次評価】 担当課による自己評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）　☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）　☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 特定不妊治療費助成については、概ね数値目標を達成した。男性不妊検査費助成については、数値目標どおりの助成決定を行った。なお、男性不妊治療費助成については、申請がなかった。

（課題・問題点） 不妊に悩む夫婦が経済的な理由で子どもを持つことを諦めることがないよう、引き続き制度の周知を行う。

ACT（改善）

担当課による、次年度における取り組み予定

引き続き、助成対象となる夫婦に対して正確な情報を提供することに努める。

CHECK（評価）

【2次評価】 推進委員会による評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点、改善策等

☑ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

（評価の根拠） 担当課と同じ。①③については数値目標を達成している。

（課題・問題点） 引き続き制度の周知に努められたい。

重点評価事業

【3次評価】 推進協議会による第三者評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか		4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか		3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか		2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価とその判定理由

☐ A:十分な成果を上げた（達成度8割以上）	☐ B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	☐ C:事業の対象の見直しが必要（達成度3割以下）

改善策等の提言